

TONDABAYASHI

富田林市総合ビジョンおよび総合基本計画

第1期実施計画

2018年度

2020年度

 富田林市

平成30年3月

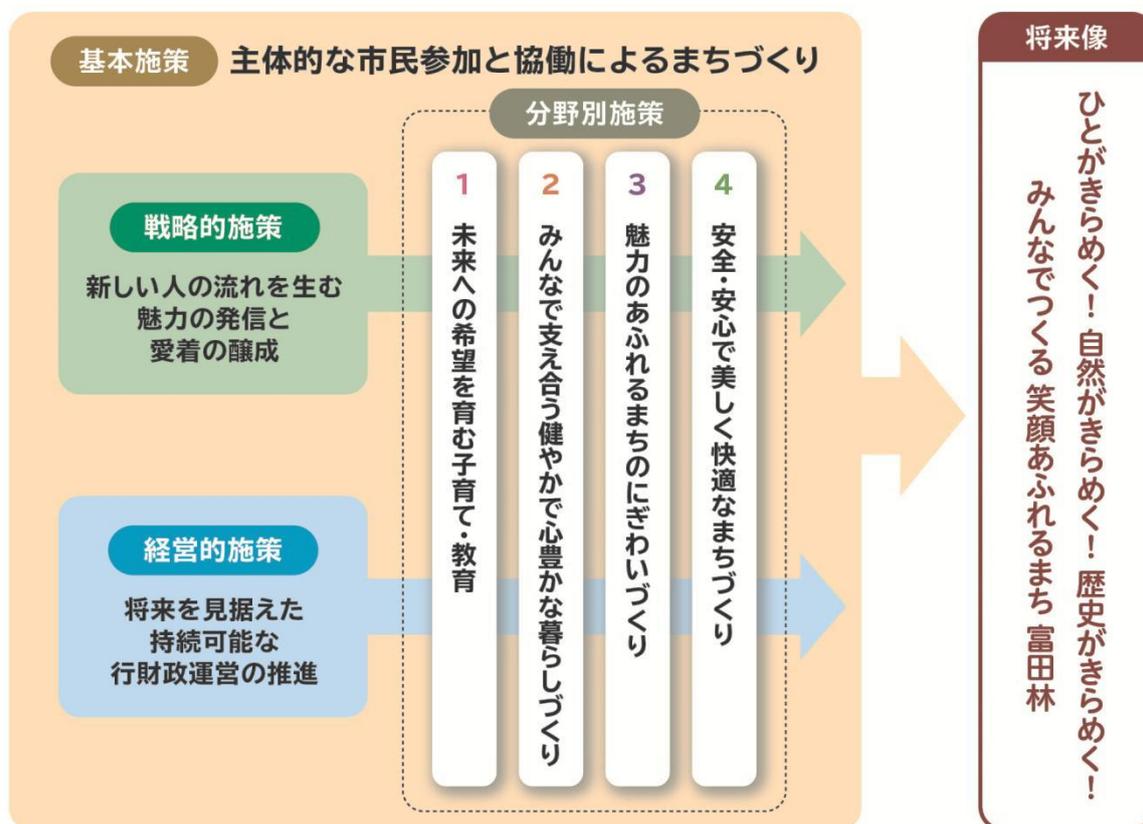


目次

I	総合ビジョンおよび総合基本計画の概要	1
1.	総合ビジョンおよび総合基本計画	1
2.	まちの将来像	1
3.	まちづくりの大綱	2
4.	施策体系	3
II	実施計画	4
1.	実施計画の役割	4
2.	第1期実施計画の期間	4
3.	実施計画によるPDCAサイクル	5
4.	計画書の掲載事業	5
5.	計画書の見方	6
	基本施策 主体的な市民参加と協働によるまちづくり（基本施策1～2）	8
	戦略的施策 新しい人の流れを生む魅力の発信と愛着の醸成（戦略的施策1）	12
	分野別施策1 未来への希望を育む子育て・教育（個別施策1～6）	14
	分野別施策2 みんなで支え合う健やかで心豊かな暮らしづくり（個別施策7～15）	29
	分野別施策3 魅力があふれるまちのにぎわいづくり（個別施策16～20）	50
	分野別施策4 安全・安心で美しく快適なまちづくり（個別施策21～29）	60
	経営的施策 将来を見据えた持続可能な行財政運営の推進（経営的施策1～3）	81
	<資料>	
	本市の現況	88
1.	人口の状況	88
2.	財政の状況	90

3. まちづくりの大綱

めざすべきまちの将来像の実現に向けて、基本施策、戦略的施策、4つの分野別施策、経営的施策からなるまちづくりの大綱を設定し、体系的に取組を進めます。



【基本施策】

市民参加と協働によるまちづくりを、すべての施策を推進するうえの基本的な考え方とし、必要な取組を示す施策

【戦略的施策】

定住人口や交流人口の増加に向け、本市の魅力を高め、効果的に発信していく取組を、分野横断的な展開により、戦略的に推進するための施策

【分野別施策】

まちづくりの各分野別に、今後必要な取組を示す施策

【経営的施策】

人口減少や少子高齢化が進行する中で、まちづくりを円滑に進めていくため、将来を見据えた持続可能な行財政運営を推進するために必要な取組を示す施策

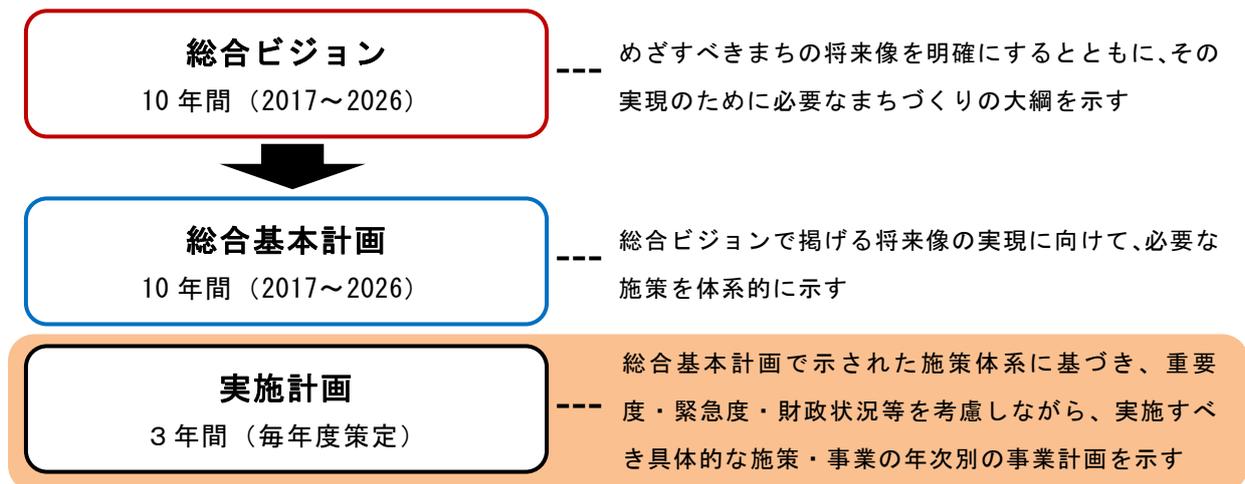
4. 施策体系

施策体系			
基本施策 主体的な市民参加と協働によるまちづくり			
	基本施策1 参加と協働のためのしくみづくり		
	基本施策2 参加と協働によるまちづくり		
戦略的施策 新しい人の流れを生む魅力の発信と愛着の醸成			
分野別施策1 未来への希望を育む子育て・教育	(1) 親と子を支える子育て環境づくり	個別施策1 結婚・妊娠・出産の支援	
		個別施策2 子ども・子育て支援の充実	
	(2) 未来の担い手を育む教育	個別施策3 学校園における教育の充実	
		個別施策4 未来の担い手の育成	
	(3) 学び続けるための環境づくり	個別施策5 生涯を通じた学びの推進	
		個別施策6 市民文化・スポーツの推進	
分野別施策2 みんなで支え合う健やかで心豊かな暮らしづくり	(1) 健やかに暮らすための健康づくり・医療	個別施策7 主体的な健康づくりの推進	
		個別施策8 医療体制の充実	
	(2) 支え合いを育む福祉コミュニティづくり	個別施策9 地域福祉の推進	
		個別施策10 高齢者福祉の推進	
		個別施策11 障がい者福祉の推進	
		個別施策12 生活の自立に向けた支援	
	(3) 多様性の尊重による共生社会の形成	個別施策13 人権の尊重と平和の希求	
		個別施策14 男女共同参画と女性の活躍の推進	
		個別施策15 多文化共生と国際交流のまちづくり	
	分野別施策3 魅力のあふれるまちなぎわいづくり	(1) 産業活性化によるにぎわいの創出	個別施策16 雇用の促進
			個別施策17 商工業の活性化
			個別施策18 農業の活性化
		(2) 多くの人を訪れるにぎわいの創出	個別施策19 地域資源を活かした観光の振興
			個別施策20 人が集まる機会の創出
分野別施策4 安全・安心で美しく快適なまちづくり	(1) 安全・安心な暮らしの確保	個別施策21 防災対策の推進	
		個別施策22 防犯対策の推進	
		個別施策23 消防・救急体制の強化	
	(2) 快適に暮らせる環境づくり	個別施策24 快適な都市空間づくり	
		個別施策25 暮らしを支える都市基盤の整備	
		個別施策26 住宅政策の推進	
		個別施策27 交通政策の推進	
	(3) 環境にやさしく美しい地域づくり	個別施策28 低炭素社会の構築	
		個別施策29 自然・歴史環境の保全	
経営的施策 将来を見据えた持続可能な行財政運営の推進			
	経営的施策1 効率的・効果的な行財政運営		
	経営的施策2 計画的な財産管理		
	経営的施策3 明日を担う職員の育成		

II 実施計画

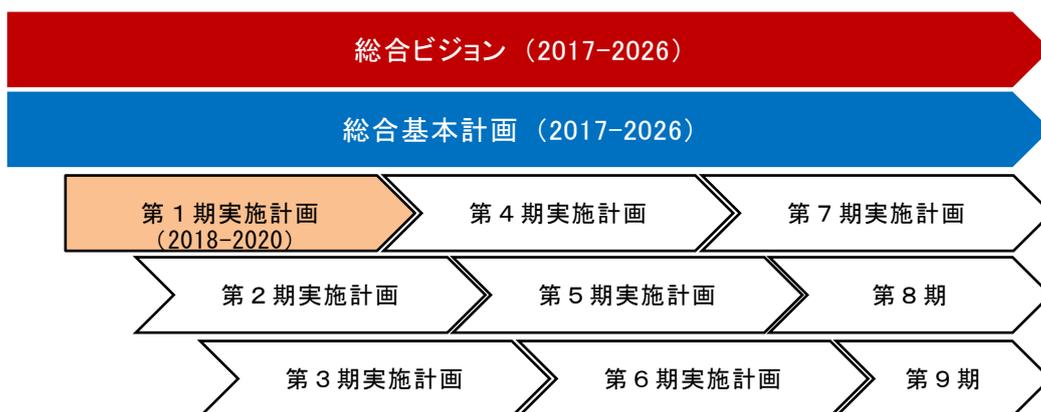
1. 実施計画の役割

実施計画は、総合基本計画で示された施策体系に基づき、重要度・緊急度・財政状況等を勘案しながら効果的に選択し、毎年度ローリング方式により、計画期間（3年間）に実施すべき具体的な施策・事業を事業計画としてとりまとめたものです。



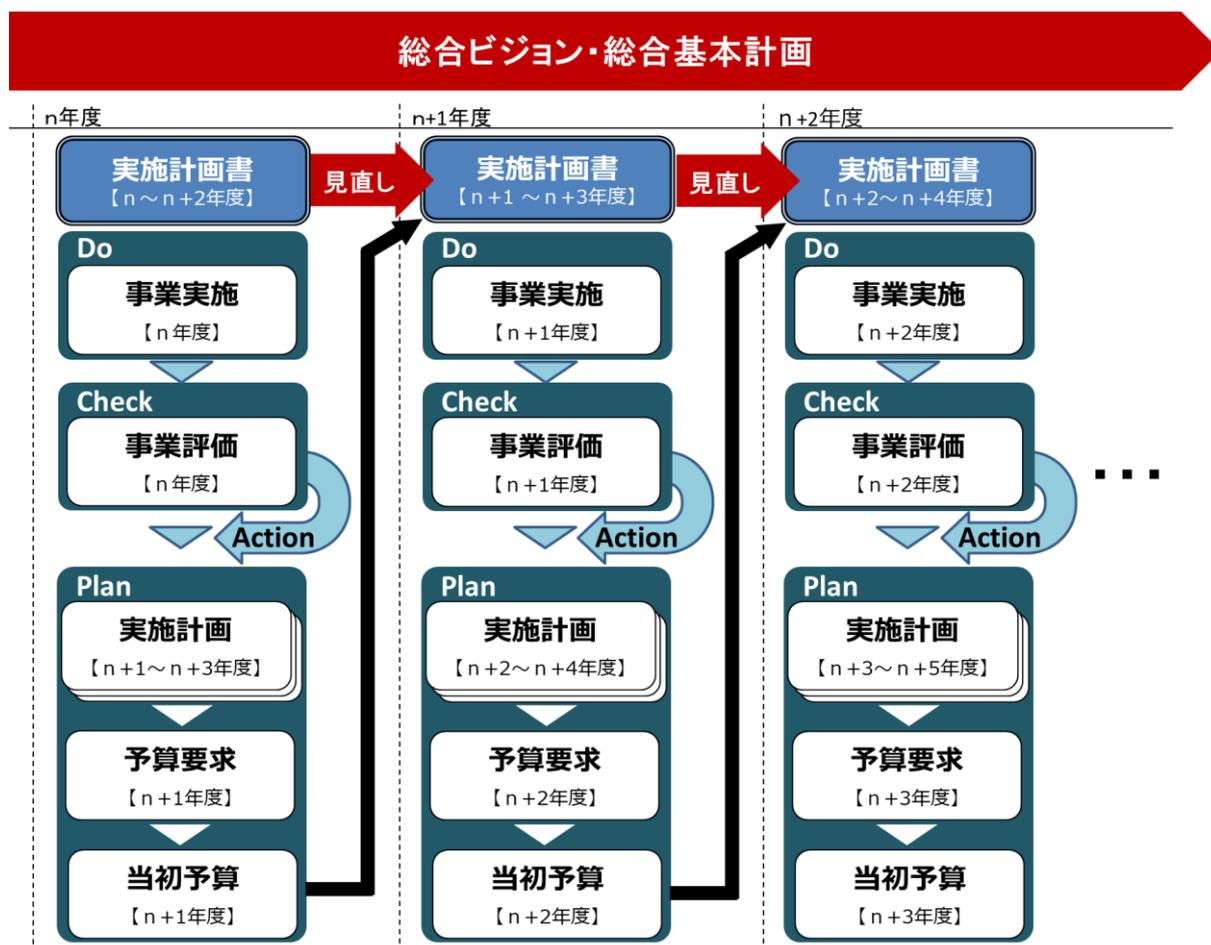
2. 第1期実施計画の期間

第1期実施計画の期間は、2018（平成30）年度から2020年度までの3年間とします。



3. 実施計画による PDCA サイクル

総合基本計画の着実な推進に向けては、社会情勢の変化等を踏まえながら、毎年度向こう3年間の実施計画を作成(Plan)するとともに、事業実施(Do)、事業評価(Check)、改善(Action)までの一連の流れを不断のサイクルとして繰り返すことで、業務を継続的に改善しながら、めざすべきまちの将来像の実現につなげていきます。



4. 計画書の掲載事業

実施計画書では、各施策の展開がより明確になるよう、施策を構成する事業のうち、新たに取り組む事業（新規事業）や内容を充実して取り組む事業（拡充事業）、内容を見直して取り組む事業（見直し事業）のほか、主な継続事業について掲載することとしています。

5. 実施計画書の見方

基本施策 主体的な市民参加と協働によるまちづくり

基本施策

参加と協働のためのしくみづくり

総合基本計画策定時（2016年度）に設定した、各施策の進め方や目的など、基本的な方向性を記載しています。

基本的な方向

環境づくりや、適切な情報公開・発信を推進するとともに、まちづくりの担い手となる主体によるネットワークの充実を図ります。

めざすべき姿

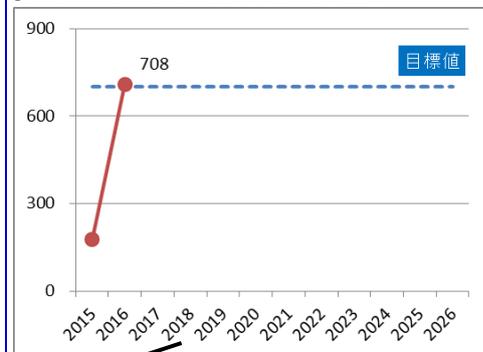
まちづくりについて話し合う場が身近にあり、一人ひとりが地域の抱える課題の解決に向けて考えることで、市民の想いがまちづくりに活かされています。また、必要とする情報を知ることができる環境が整い、話し合いや交流を促す人材として、地域の中で活躍しています。

総合基本計画策定時（2016年度）に設定した、各施策の推進によりめざすべきまちな姿を記載しています。

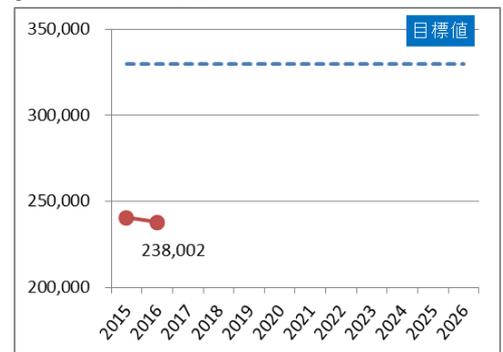
施策に関する指標

	単位	現状値	目標値
参加者数	人	708 (2016年度)	700 (2026年度)
② 市ウェブサイトの閲覧件数	件	238,002 (2016年度)	330,000 (2026年度)

①まちづくりについて考える機会への参加者数



②市ウェブサイトの閲覧件数



総合基本計画策定時（2016年度）に設定した、各施策の成果を評価するための主な指標を記載しています。

また、直近の現状値を記載するとともに、指標の推移をグラフで表しています。

目標実現のための主な施策・事業						
事業名	担当課	計画期間における事業の方向性				
1 総務	担当課	事業の予算を所管する担当課を記載しています。事業の中には、複数の課が連携して取り組むものもあります。				
	計画期間における事業の方向性	計画期間（3年間）における取組内容や事業の方向性を記載しています。				
	情報公開課	デザインを一新した市ウェブサイトにおいて、多様な行政情報を迅速に発信します。また、Facebookやメール配信サービス等を活用し、本市の魅力や情報を効果的に発信します。				
	2018予算(千円)	26,644				
2 広報事務	区分(対前年度)	成果指標	単位	2020年度	目標値	276,000
	拡充	市ウェブサイトの閲覧件数	件	2017年度	目標値	249,000
				実績値		

区分（対前年度）
前年度と比較した事業の方向性について、次のいずれかを記載しています。

- ・ 新規…新たに取り組む事業
- ・ 拡充…内容を充実して取り組む事業
- ・ 見直し…内容を見直して取り組む事業
- ・ 継続…引き続き取り組む事業

成果指標
総合基本計画策定後（2017年度）に設定した、事業の成果を評価するための主な指標を記載しています。直近の現状値（目標値・実績値）を記載するとともに、計画期間における目標値を示しています。

実施計画の計画期間に取り組む主な事業を、事業番号順に掲載しています。

基本施策

1

参加と協働のためのしくみづくり

基本的な方向

市民がまちづくりに参加しやすい環境づくりや、適切な情報公開・発信を推進するとともに、まちづくりの担い手となる地域人材の育成や、さまざまな主体によるネットワークの充実を図ります。

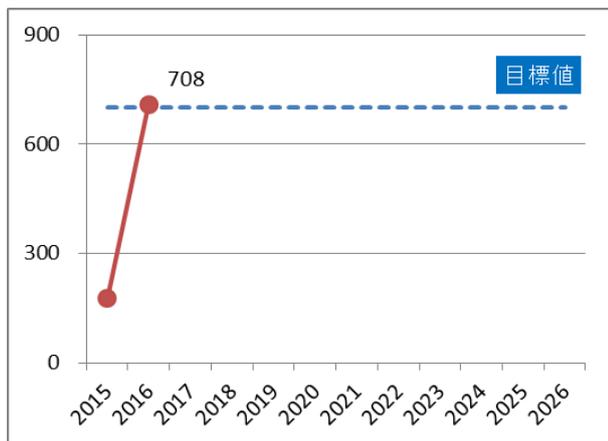
めざすべき姿

まちづくりについて話し合う場が身近にあり、一人ひとりが地域の抱える課題の解決に向けて考えることで、市民の想いがまちづくりに活かされています。また、必要とする情報を知ることができる環境が整い、話し合いや交流、学習の場に参加した市民が、まちづくりを進める人材として、地域の中で活躍しています。

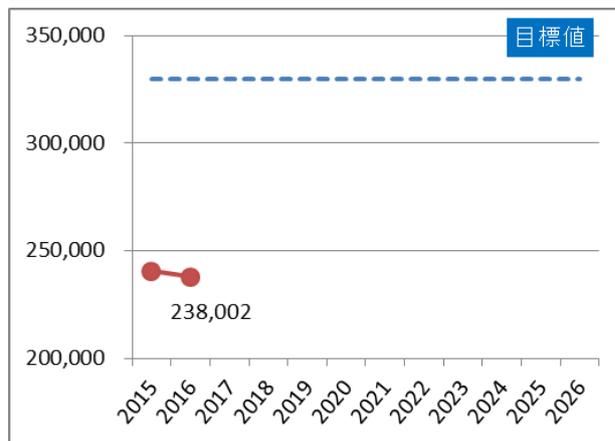
施策に関する指標

指標名	単位	現状値	目標値
① まちづくりについて考える機会への参加者数	人	708 (2016年度)	700 (2026年度)
② 市ウェブサイトの閲覧件数	件	238,002 (2016年度)	330,000 (2026年度)

①まちづくりについて考える機会への参加者数



②市ウェブサイトの閲覧件数



目標実現のための主な施策・事業

事業名		担当課	計画期間における事業の方向性				
1	総合ビジョン実施 事務	政策推進課	総合ビジョン及び総合基本計画に掲げる「主体的な市民参加と協働によるまちづくり」の推進に向け、市民会議“Mira-ton”を引き続き実施し、地域人材の育成や、地域の課題解決に向けた市民主体の取組の実現につなげます。				
		2018予算(千円)					
		1,734					
		区分(対前年度)	成果指標	単位	2020年度	目標値	700
		継続	まちづくりについて考える機会への参加者数	人	2017年度	目標値	700
				実績値	-		
事業名		担当課	計画期間における事業の方向性				
2	広報事務	情報公開課	デザインを一新した市ウェブサイトにおいて、多様な行政情報を迅速に発信します。また、Facebookやメール配信サービス等を活用し、本市の魅力や情報を効果的に発信します。				
		2018予算(千円)					
		26,644					
		区分(対前年度)	成果指標	単位	2020年度	目標値	276,000
		拡充	市ウェブサイトの閲覧件数	件	2017年度	目標値	249,000
				実績値	-		

基本施策

2

参加と協働によるまちづくり

基本的な方向

市民公益活動や地域コミュニティ活動の活性化に向けた支援を行うとともに、地域課題の解決に向けた多様な主体との連携・協働を推進し、参加と協働を基本としたまちづくりをあらゆる分野で進めます。

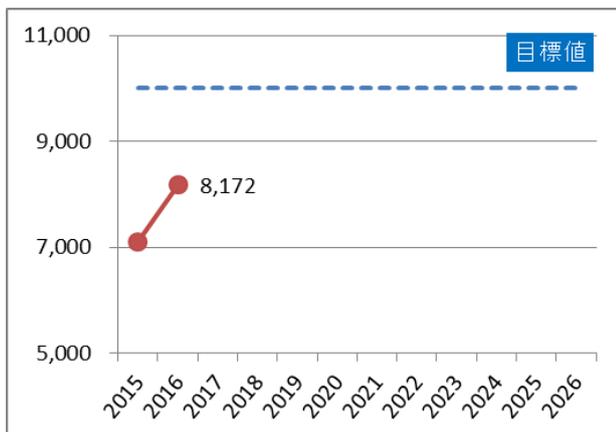
めざすべき姿

多くの市民が地域の課題解決に向けた活動や町会・自治会の活動に参加することで、地域の絆が強くなり、「自分たちのまちは自分たちで良くする」という考えを持った人たちがまちづくりを進めています。また、NPOや地域の団体、大学や企業などが得意分野を活かしながら、市民とともに活動することで、地域づくりのための多くの交流やアイデアが生まれるまちとなっています。

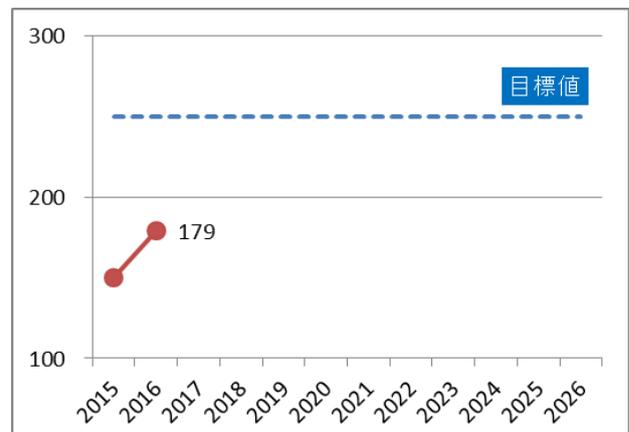
施策に関する指標

指標名	単位	現状値	目標値
① 市民公益活動支援センター利用者数	人	8,172 (2016年度)	10,000 (2026年度)
② 市民公益活動支援センター登録団体数	団体	179 (2016年度)	250 (2026年度)

①市民公益活動支援センター利用者数



②市民公益活動支援センター登録団体数



目標実現のための主な施策・事業

事業名		担当課	計画期間における事業の方向性					
1	市民公益活動推進事務	市民協働課	市民公益活動推進指針第3期実施計画を策定します。また、より多くの公益活動団体を支援するため、「元気なまちづくりモデル事業（市民提案型協働事業）」を引き続き実施するとともに、多様な団体との連携・協働を推進します。さらに、行政提案型の協働事業や学生のまちづくりに対する助成金制度を創設します。					
		2018予算(千円)						
		1,930	区分(対前年度)	成果指標	単位	2020年度	目標値	40
		拡充	市内NPO団体数	団体	2017年度	目標値	35	
						実績値	37	
事業名		担当課	計画期間における事業の方向性					
2	市民公益活動支援センター管理運営事務	市民協働課	市民公益活動支援センターによる相談支援等を通じて、市民団体やNPO等による公益活動の活性化を図るとともに、さらなる市民協働の推進に向けた事業のあり方について検討を進めます。					
		2018予算(千円)						
		6,923	区分(対前年度)	成果指標	単位	2020年度	目標値	10,000
		継続	市民公益活動支援センター利用者数	人	2017年度	目標値	8,500	
						実績値	-	

戦略的施策

1

都市魅力の創生と効果的な情報発信

基本的な方向

産官学金労言（産業・行政・教育・金融・労働・メディア）の各分野が相互に連携・協力し、市民とともに暮らしやすさや子育てのしやすさ、訪れる楽しみ等、本市の魅力の発掘と磨き上げを行い、その魅力を都市ブランドとして市内外に効果的に発信するとともに、市民のふるさと富田林に対する愛着を醸成する取組を分野横断的に推進します。

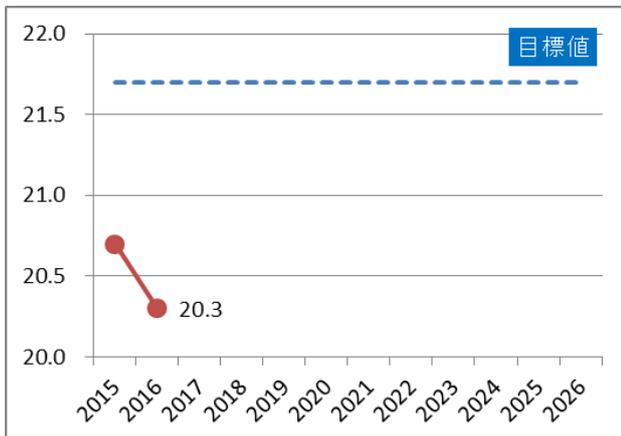
めざすべき姿

多くの人々が、暮らしやすさや子育てのしやすさに魅力を感じ、新たに移り住んできています。また、観光客にとって訪れる楽しみがたくさんあり、訪れてみたい、住んでみたい魅力的なまちに、市民にとって誇りに思えるふるさととして、住み続けたいまちとなっています。

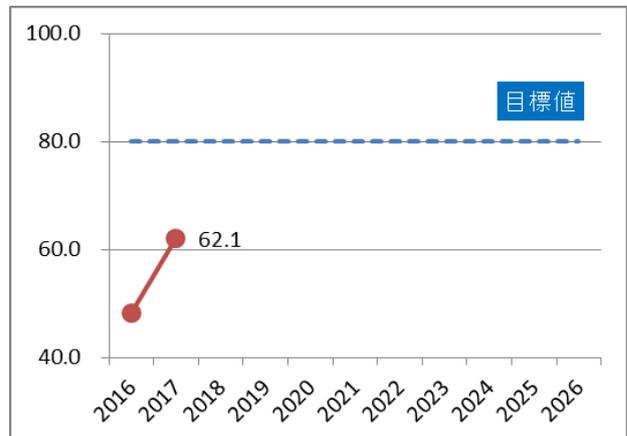
施策に関する指標

指標名	単位	現状値	目標値
① 20・30代人口比率	%	20.3 (2016年度)	21.7 (2026年度)
② 富田林市のことを好きと思う市民の割合	%	62.1 (2017年度)	80.0 (2026年度)

①20・30代人口比率



②富田林市のことを好きと思う市民の割合



目標実現のための主な施策・事業

事業名		担当課	計画期間における事業の方向性					
1	シティセールス事業	都市魅力創生課	本市の知名度向上や都市ブランド醸成に向けたシティセールスに取り組みます。また、民間企業等との協働による情報発信や市民主体のシティセールスを促進するための担い手発掘・育成に取り組み、官民協働による効果的な本市の魅力発信や、郷土愛を基礎とした市民主体の都市魅力の掘り起し・磨き上げ・情報発信等を促進します。					
		2018予算(千円)						
		4,991	区分(対前年度)	成果指標	単位	2020年度	目標値	21.6
		拡充	20・30代人口比率	%	2017年度	目標値	21.2	
						実績値	-	
事業名		担当課	計画期間における事業の方向性					
2	広報事務(再掲)	情報公開課	デザインを一新した市ウェブサイトにおいて、多様な行政情報を迅速に発信します。また、Facebookやメール配信サービス等を活用し、本市の魅力や情報を効果的に発信します。					
		2018予算(千円)						
		26,644	区分(対前年度)	成果指標	単位	2020年度	目標値	276,000
		拡充	市ウェブサイトの閲覧件数	件	2017年度	目標値	249,000	
						実績値	-	

分野別施策1 未来への希望を育む子育て・教育

(1) 親と子を支える子育て環境づくり

個別施策

1

結婚・妊娠・出産の支援

基本的な方向

若い世代に子どもを産み育てる地として選ばれるまちとなるよう、結婚から妊娠、出産までを切れ目なく支援し、若い世代の「子どもを持ちたい」という希望をかなえます。

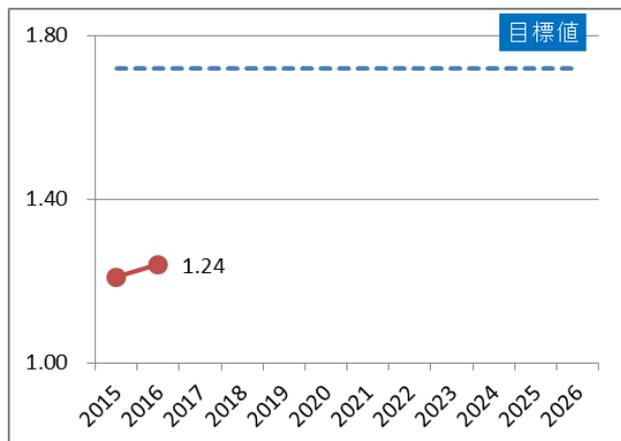
めざすべき姿

多くの若い世代が、結婚に対して希望を持ち、富田林市を縁にたくさんの新しい家庭が生まれています。また、妊娠・出産についてのさまざまな支援を受けることで、子どもを持ちたいと願う誰もが安心して出産できるまちとなっています。

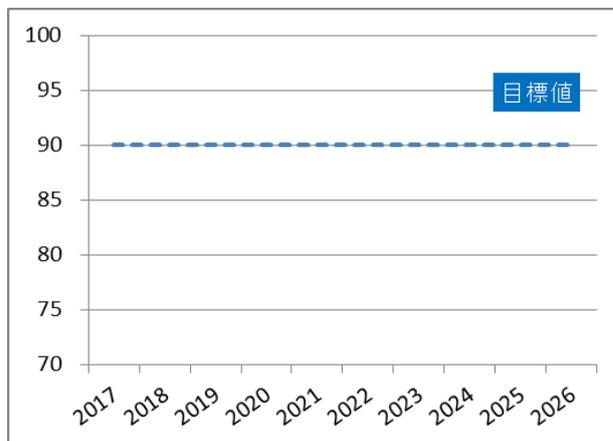
施策に関する指標

指標名	単位	現状値	目標値
① 合計特殊出生率	-	1.24 (2016年度)	1.72 (2026年度)
② 不妊・不育症治療費助成件数	件	-	90 (2026年度)

①合計特殊出生率



②不妊・不育症治療費助成件数



目標実現のための主な施策・事業

事業名		担当課	計画期間における事業の方向性				
1	若者の出会いの場創出事業	都市魅力創生課	結婚を真剣に考える若者に対して出会いの場を提供するとともに、観光資源等を活用した開催により、参加者への本市の魅力の訴求を図ります。				
		2018予算(千円)					
		1,515					
		区分(対前年度)	成果指標	単位	2020年度	目標値	40
		継続	婚活イベントカップル成立率	%	2017年度	目標値	40
				実績値	-		
事業名		担当課	計画期間における事業の方向性				
2	プレママ・ハッピーライフサポート事業	都市魅力創生課	妊娠から出産・子育てまでの切れ目のない支援として、本市で妊娠の届出をされた方にお祝い品を支給します。				
		2018予算(千円)					
		22,183					
		区分(対前年度)	成果指標	単位	2020年度	目標値	1.54
		継続	合計特殊出生率		2017年度	目標値	1.33
				実績値	-		
事業名		担当課	計画期間における事業の方向性				
3	母子保健事業	健康づくり推進課	妊娠届出時の面談や広報等を通じて、子育て世代包括支援センター（ゆにぞん）の周知を図るとともに、事業の参加率の向上をめざします。また、不妊・不育症治療への助成を行うとともに、産後間もない時期（産後2週間および産後1か月）の産婦健康診査を新たに公費負担し、受診しやすい環境をつくることで、産後うつ予防など、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援体制の強化を図ります。				
		2018予算(千円)					
		121,554					
		区分(対前年度)	成果指標	単位	2020年度	目標値	97
		拡充	こんにちは赤ちゃん訪問実施率	%	2017年度	目標値	97
				実績値	-		

分野別施策1 未来への希望を育む子育て・教育

(1) 親と子を支える子育て環境づくり

個別施策

2

子ども・子育て支援の充実

基本的な方向

本市がこれまで積極的に進めてきた子育て支援施策のさらなる充実や、子育て・定住の地としての魅力を高める多様なニーズに応じた保育サービスの提供、子育て家庭に対する包括的な支援体制づくりを行うとともに、地域で子育てを支える取組の充実を図ります。

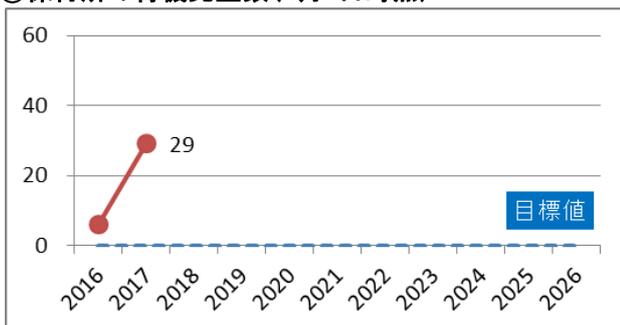
めざすべき姿

子育て家庭が安心して子どもを預けられる場所があることで、希望する子育てや働き方が可能となっています。また、子育て家庭への支援が行き届き、すべての子どもが健やかに成長しています。さらに、多くの方が子育て支援や交流の場に協力・参加することで、地域ぐるみで子育てを応援するまちとなっています。

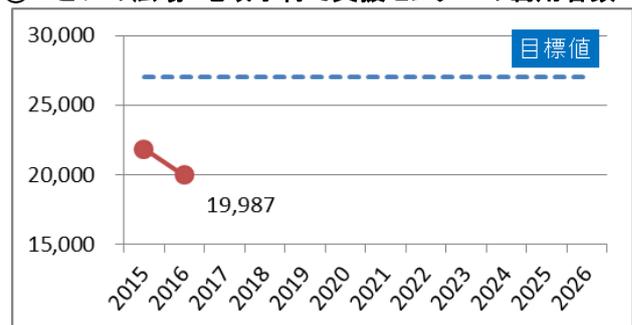
施策に関する指標

指標名	単位	現状値	目標値
① 保育所の待機児童数(4月1日時点)	人	29 (2017年度)	0 (2026年度)
② つどいの広場・地域子育て支援センターの利用者数	人	19,987 (2016年度)	27,000 (2026年度)
③ 利用者支援事業の実施箇所数	箇所	2 (2017年度)	3 (2026年度)

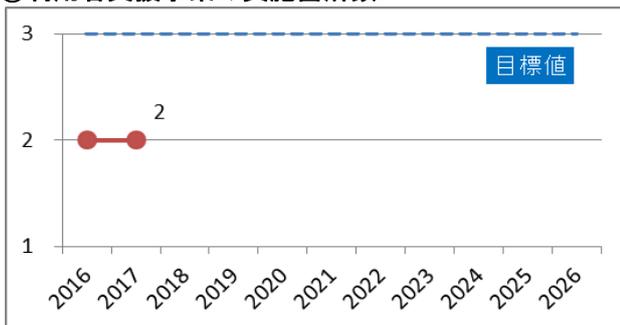
①保育所の待機児童数(4月1日時点)



②つどいの広場・地域子育て支援センターの利用者数



③利用者支援事業の実施箇所数



目標実現のための主な施策・事業

事業名	担当課	計画期間における事業の方向性				
1 民間保育所等運営費補助事業	こども未来室	民間保育所における保育内容の充実を図るため、補助金を引き続き交付するとともに、障がい児保育に係る人件費補助を拡充します。				
	2018予算(千円)					
	182,403					
	区分(対前年度)	成果指標	単位	2020年度	目標値	13,572
	拡充	市内民間保育所延べ入所児童数	人	2017年度	目標値	12,357
				実績値	-	
2 児童家庭相談事務	こども未来室	児童を養育する保護者から、育児に関する様々な相談が増加していることから、専門職員が知識と相談技術を深めながら、適切な相談対応を実施することにより、児童の健全な育成を図ります。				
	2018予算(千円)					
	7,348					
	区分(対前年度)	成果指標	単位	2020年度	目標値	3,400
	継続	相談延べ件数	件	2017年度	目標値	3,200
				実績値	-	
3 病児保育事業	こども未来室	富田林病院事業所内保育施設(なでしこ)における病児対応型病児保育事業の利便性向上に向け、2018年1月から試行実施している当日利用受付や受付・利用時間の拡大を2018年4月から本格実施します。また、在園児対象の体調不良児対応型病児保育事業を引き続き実施します。				
	2018予算(千円)					
	19,728					
	区分(対前年度)	成果指標	単位	2020年度	目標値	150
	拡充	病児対応型病児保育事業年間延べ利用数	人	2017年度	目標値	150
				実績値	-	
4 地域子育て支援拠点事業	こども未来室	つどいの広場・地域子育て支援センターの事業者間の連携を強化し、効果的な事業展開を図ります。				
	2018予算(千円)					
	62,024					
	区分(対前年度)	成果指標	単位	2020年度	目標値	25,070
	継続	つどいの広場・地域子育て支援センターの利用者数	人	2017年度	目標値	23,796
				実績値	-	
5 要保護児童対策地域協議会事業	こども未来室	要保護児童対策地域協議会を中心とした関係機関による連携により、児童虐待の予防、早期発見に努めるとともに、適切な支援を実施します。また、近年急増している児童虐待・DV等への対応に向け、相談支援体制の強化を図ります。				
	2018予算(千円)					
	3,881					
	区分(対前年度)	成果指標	単位	2020年度	目標値	-
	拡充	-	-	2017年度	目標値	-
				実績値	-	

目標実現のための主な施策・事業

事業名	担当課	計画期間における事業の方向性				
6 ひとり親家庭自立支援対策事業	こども未来室	母子・父子自立支援員を配置し、ひとり親家庭の自立に向けた総合的な支援を行うとともに、離婚に伴う子どもの不安軽減を図るため、子どもの年齢に応じた関わり方や、ひとり親家庭に対する資格等取得などの支援制度及び相談機関を案内するパンフレットを新たに作成します。				
	2018予算(千円)					
	31,097					
	区分(対前年度)	成果指標	単位	2020年度	目標値	11
	継続	資格等取得者数	人	2017年度	目標値	3
				実績値	-	
7 学童クラブ事業	こども未来室	学童クラブについて、基準条例に基づき年次的にクラスの分割と運営体制の整備を図るとともに、今後も児童数の推移を見ながら、計画的に運営体制を構築します。また、2018年度については、喜志西学童クラブと藤沢台学童クラブを分割します。				
	2018予算(千円)					
	228,236					
	区分(対前年度)	成果指標	単位	2020年度	目標値	1,098
	拡充	学童クラブ利用児童数	人	2017年度	目標値	1,051
				実績値	1,028	
8 育児支援家庭訪問事業	こども未来室	支援を必要としながら困難な状況にある家庭への訪問による育児支援・養育相談等を行うとともに、育児ヘルパー事業については、より多くの方に利用いただけるよう、2018年度から利用期間・回数拡充を行います。				
	2018予算(千円)					
	3,235					
	区分(対前年度)	成果指標	単位	2020年度	目標値	70
	拡充	育児ヘルパー利用家庭数	件	2017年度	目標値	70
				実績値	-	
9 市立保育所民間活力導入事業	こども未来室	市立幼稚園と市立保育所の今後のあり方を引き続き検討し、市の方針策定に取り組むとともに、待機児童の解消に向けた民間保育所の整備に取り組み、2019年度の開設をめざします。				
	2018予算(千円)					
	230,725					
	区分(対前年度)	成果指標	単位	2020年度	目標値	1,131
	拡充	民間保育施設定員	人	2017年度	目標値	1,031
				実績値	1,026	
10 子育て支援ネットワーク事業	こども未来室	保育士を中心とした未就園児・妊婦に対する訪問事業や園庭開放等を実施するとともに、子育て世代包括支援センター(ゆにぞん)の機能を活用の上、保健センター等関係機関との連携・ネットワークを強化し、妊娠・出産から子育てまでの切れ目ない支援を行います。				
	2018予算(千円)					
	687					
	区分(対前年度)	成果指標	単位	2020年度	目標値	10,000
	拡充	園庭開放延べ利用者数	人	2017年度	目標値	10,000
				実績値	-	

目標実現のための主な施策・事業

事業名	担当課	計画期間における事業の方向性				
11 保育所整備事業	こども未来室	市立保育所の施設・備品の経年劣化や故障等に対応するため、施設改修や備品購入等を計画的に実施します。2018年度においては金剛東保育園のテラス改修工事を実施するとともに、調理機器・エアコンについても年次的な更新を行います。				
	2018予算(千円)					
	8,197					
	区分(対前年度)	成果指標	単位	2020年度	目標値	-
	拡充	-	-	2017年度	目標値	-
				実績値	-	
事業名	担当課	計画期間における事業の方向性				
12 学童クラブ施設整備事業	こども未来室	学童クラブについて、基準条例に基づく必要な施設の整備を経過措置期間中(2019年度末まで)に実施するため、2018年度については向陽台・寺池台学童クラブで整備を行います。また、老朽化した施設・備品についても計画的に整備を実施します。				
	2018予算(千円)					
	41,204					
	区分(対前年度)	成果指標	単位	2020年度	目標値	29
	拡充	学童クラブのクラス数	クラス	2017年度	目標値	24
				実績値	24	
事業名	担当課	計画期間における事業の方向性				
13 親子ふれあい事業	児童館	科学や芸術、スポーツ等をテーマに、参加者の交流や子どもの健全育成を目的として、親子参加型の講座を引き続き実施します。				
	2018予算(千円)					
	1,249					
	区分(対前年度)	成果指標	単位	2020年度	目標値	2,000
	継続	親子ふれあい事業の延べ参加人数	人	2017年度	目標値	2,000
				実績値	-	
事業名	担当課	計画期間における事業の方向性				
14 乳幼児クラブ事業	児童館	乳幼児と保護者の集いの場を提供し、保護者同士の交流を進めます。				
	2018予算(千円)					
	2,064					
	区分(対前年度)	成果指標	単位	2020年度	目標値	100
	継続	乳幼児クラブに参加した保護者の満足度	%	2017年度	目標値	100
				実績値	-	
事業名	担当課	計画期間における事業の方向性				
15 放課後子ども教室推進事業	生涯学習課	全市立小学校において、地域ボランティア指導員の協力を得ながら、放課後・週末等におけるスポーツ・文化活動や交流活動などを実施します。				
	2018予算(千円)					
	3,856					
	区分(対前年度)	成果指標	単位	2020年度	目標値	12,000
	継続	放課後子ども教室参加児童数	人	2017年度	目標値	12,000
				実績値	-	

分野別施策1 未来への希望を育む子育て・教育

(2) 未来の担い手を育む教育

個別施策

3

学校園における教育の充実

基本的な方向

学校園において、子どもたちが「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」を身につけ、自らの可能性を広く伸ばすことができるよう、主体的に学び、活かしていくことができる知識や技能を身につける教育を推進します。

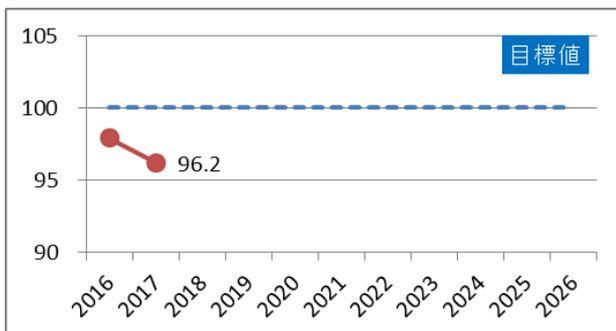
めざすべき姿

子どもが安全・安心で、快適な環境で教育を受けることで、子どもの元気な笑顔がまちじゅうにあふれています。また、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」を育み、子どもが自ら考え、行動に移すことができる能力を身につけることで、子どもたちの未来への可能性が広がり、夢の実現を後押しするまちとなっています。

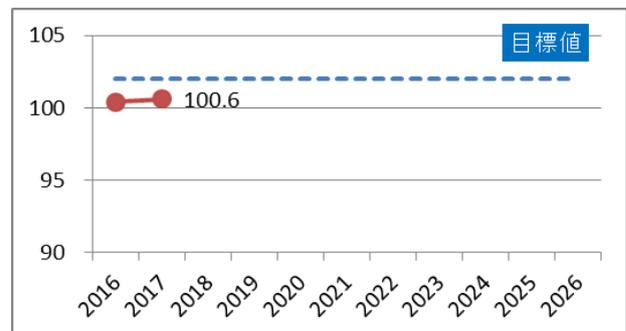
施策に関する指標

指標名	単位	現状値	目標値
① 全国学力・学習状況調査成績全国比	%	小6:96.2 中3:100.6 (2017年度)	小6:100以上 中3:102以上 (2026年度)
② 学校に行くのが楽しいと思う児童・生徒の割合	%	小6:88.3 中3:78.1 (2017年度)	小6:90以上 中3:85以上 (2026年度)

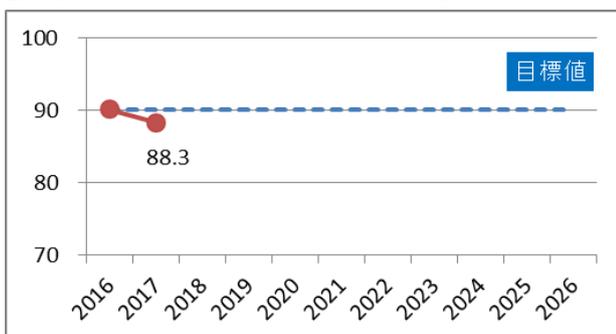
①全国学力・学習状況調査成績全国比(小6)



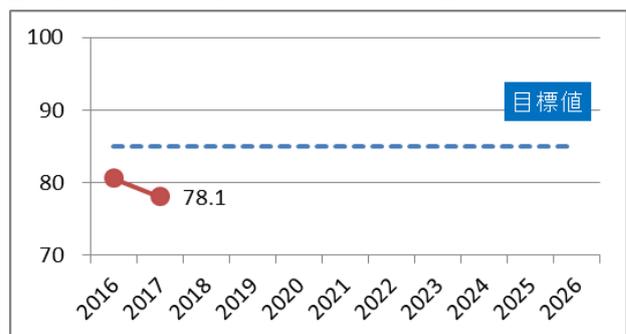
①全国学力・学習状況調査成績全国比(中3)



②学校に行くのが楽しいと思う児童・生徒の割合(小6)



②学校に行くのが楽しいと思う児童・生徒の割合(中3)



目標実現のための主な施策・事業

事業名		担当課	計画期間における事業の方向性				
1	生徒指導事業	教育指導室	市立小中学校において、学習サポーター等のボランティアを活用し、学習面での支援や活動のサポートを行います。また、スクールソーシャルワーカーの活用により、引き続き生徒指導機能の充実に努めます。				
		2018予算(千円)					
		38,518					
		区分(対前年度)	成果指標	単位	2020年度	目標値	90
		継続	学校の規則を守っていると思う児童・生徒の割合(小6・中3)	%	2017年度	目標値	90
				実績値	94.3		
事業名		担当課	計画期間における事業の方向性				
2	英語教育推進事業	教育指導室	市立小学校では、2020年度から全面実施となる新学習指導要領において、外国語活動及び外国語教育の充実が予定されている中、グローバル社会において活躍できる人材育成を図るため、外国人英語指導助手(ALT)の配置体制のさらなる充実を図ります。				
		2018予算(千円)					
		35,444					
		区分(対前年度)	成果指標	単位	2020年度	目標値	43
		拡充	中学3年生段階で英検3級程度の英語力を有している生徒の割合	%	2017年度	目標値	37
				実績値	40.1		
事業名		担当課	計画期間における事業の方向性				
3	きめ細かな指導推進事業	教育指導室	市立小中学校におけるきめ細かな指導を推進するため、引き続き小学6年生、中学3年生で、本市独自の教員加配による少人数学級指導に取り組むとともに、加配教員の資質向上や人材確保に努め、義務教育終了段階での「生きる力」の定着を図ります。				
		2018予算(千円)					
		40,933					
		区分(対前年度)	成果指標	単位	2020年度	目標値	83
		継続	学校に行くのが楽しいと思う児童・生徒の割合(小6・中3)	%	2017年度	目標値	81
				実績値	83.2		
事業名		担当課	計画期間における事業の方向性				
4	児童就学援助事業	教育指導室	就学援助を必要とする家庭への支援を早期に行うことができるよう、支給時期の見直しを行うとともに、新入学児童に対する学用品の入学前支給に取り組みます。				
		2018予算(千円)					
		98,724					
		区分(対前年度)	成果指標	単位	2020年度	目標値	-
		拡充	-	-	2017年度	目標値	-
				実績値	-		
事業名		担当課	計画期間における事業の方向性				
5	生徒就学援助事業	教育指導室	就学援助を必要とする家庭への支援を早期に行うことができるよう、支給時期の見直しを行うとともに、新入学生徒に対する学用品の入学前支給に取り組みます。				
		2018予算(千円)					
		55,647					
		区分(対前年度)	成果指標	単位	2020年度	目標値	-
		拡充	-	-	2017年度	目標値	-
				実績値	-		

目標実現のための主な施策・事業

事業名	担当課	計画期間における事業の方向性				
6 学校給食管理運営事業	学校給食課	小学校給食において、2018年度から新学校給食センターで調理を開始するとともに、アレルギー対応食の調理開始に向けた検討を進めるなど、引き続き安全・安心な給食の提供に努めます。また、給食事務のさらなる効率化に向け、システムの入替を行います。				
	2018予算(千円)					
	623,074					
	区分(対前年度)	成果指標	単位	2020年度	目標値	3
	拡充	給食の残渣率(牛乳以外)	%	2017年度	目標値	3
				実績値	-	
事業名	担当課	計画期間における事業の方向性				
7 中学校給食事業	学校給食課	安定的な中学校給食事業の運営に取り組むとともに、利用者のさらなる利便性向上や、それに伴う喫食率の向上に向け、申込手続きの簡略化などの検討を進めます。				
	2018予算(千円)					
	185,136					
	区分(対前年度)	成果指標	単位	2020年度	目標値	48.5
	継続	給食喫食率	%	2017年度	目標値	47.7
				実績値	-	
事業名	担当課	計画期間における事業の方向性				
8 中学校空調設備整備事業	教育総務課	中学1年生の普通教室への空調設備の設置を行い、全市立中学校の普通・少人数教室への設置を完了させます。				
	2018予算(千円)					
	94,100					
	区分(対前年度)	成果指標	単位	2020年度	目標値	100
	継続	空調設備整備率	%	2017年度	目標値	68.4
				実績値	68.4	

分野別施策1 未来への希望を育む子育て・教育

(2) 未来の担い手を育む教育

個別施策

4

未来の担い手の育成

基本的な方向

子ども・若者が心身ともに健やかに成長し、社会の一員として活躍できるよう、家庭・地域・学校・行政等の連携を深め、子ども・若者の居場所づくりや主体的な活動の促進を図ります。

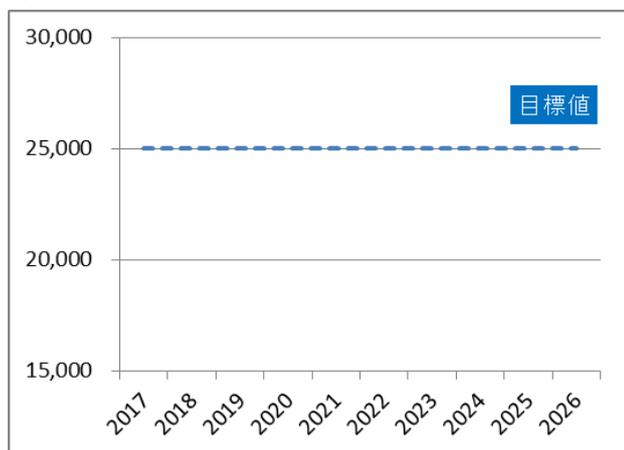
めざすべき姿

若者が地域でのさまざまな体験・交流の場へ参加することで、豊かな心や夢と希望を持ち、地域を支える新たな担い手やリーダーとなって活躍しています。また、ひきこもりやニートなど困難を抱える子ども・若者が、地域で気軽に相談でき、支援を受けることができる場所があり、自立に向けた道が開かれたまちとなっています。

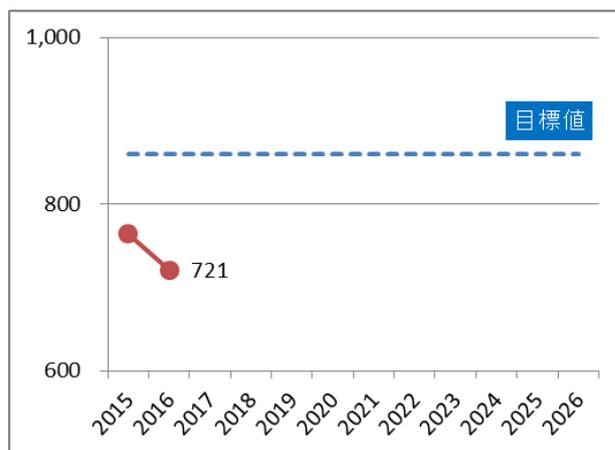
施策に関する指標

指標名	単位	現状値	目標値
① きらめき創造館の利用者数	人	-	25,000 (2026年度)
② 青少年活動リーダー養成事業参加者数	人	721 (2016年度)	860 (2026年度)

①きらめき創造館の利用者数



②青少年活動リーダー養成事業参加者数



目標実現のための主な施策・事業

事業名	担当課	計画期間における事業の方向性				
1 小学生育成事業	児童館	小学生の放課後等における生活と安全を守り、生活習慣の確立を図るための学習、スポーツ、創作活動、友達づくりなどの場を提供します。	単位	2020年度	目標値	40
	2018予算(千円)					
	5,331					
	区分(対前年度)	成果指標	単位	2020年度	目標値	40
	継続	来館児童のスポーツ活動参加率	%	2017年度	目標値	40
				実績値	-	
事業名	担当課	計画期間における事業の方向性				
2 中学生育成事業	児童館	中学生の仲間づくりを進めるとともに、多様な学習の場を提供し、青少年相互の交流を図ります。	単位	2020年度	目標値	900
	2018予算(千円)					
	285					
	区分(対前年度)	成果指標	単位	2020年度	目標値	900
	継続	中学生活動参加者延べ人数	人	2017年度	目標値	900
				実績値	-	
事業名	担当課	計画期間における事業の方向性				
3 青少年対策管理事務	生涯学習課	青少年の健全育成を支援するため、「愛の一声運動」などの啓発活動や地域の巡回指導を実施するとともに、ひきこもり相談やひきこもり支援のためのシンポジウム等を開催します。また、すばるキッズフェスティバルへの参加協力や、学校や団体との連携によるもちつき大会・たこあげ大会等を開催します。	単位	2020年度	目標値	3,100
	2018予算(千円)					
	2,580					
	区分(対前年度)	成果指標	単位	2020年度	目標値	3,100
	継続	青少年事業の参加者数	人	2017年度	目標値	3,100
				実績値	-	
事業名	担当課	計画期間における事業の方向性				
4 生涯学習施設管理運営事業	生涯学習課	きらめき創造館における若者の居場所づくりや相談機能を充実するとともに、多彩な講座やイベントの開催等により、次代を担う青少年の育成を図ります。また、多世代向けの「学びのきっかけ」や「学び直しのきっかけ」となる事業を展開し、市民の新たな生涯学習拠点としての充実をめざします。	単位	2020年度	目標値	25,000
	2018予算(千円)					
	29,150					
	区分(対前年度)	成果指標	単位	2020年度	目標値	25,000
	拡充	きらめき創造館の利用者数	人	2017年度	目標値	18,000
				実績値	-	

分野別施策1 未来への希望を育む子育て・教育

(3) 学び続けるための環境づくり

個別施策

5

生涯を通じた学びの推進

基本的な方向

市民の多様な学びに対するニーズに対応するとともに、指導者の育成や関係機関とのネットワークの充実により、誰もが学び、活かすことができる生涯学習環境づくりを推進します。

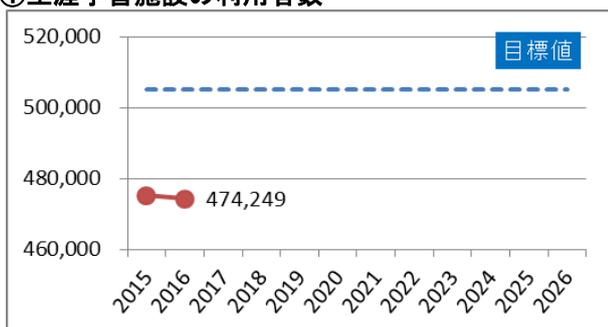
めざすべき姿

市民が興味・関心のあるさまざまな分野で、活動や仲間づくりの場が提供されていることで、生涯を通じて楽しみながら学び続けています。また、学びを通じて得た知識や能力を活かし、市民が元気にさまざまな場面で活躍できるまちとなっています。

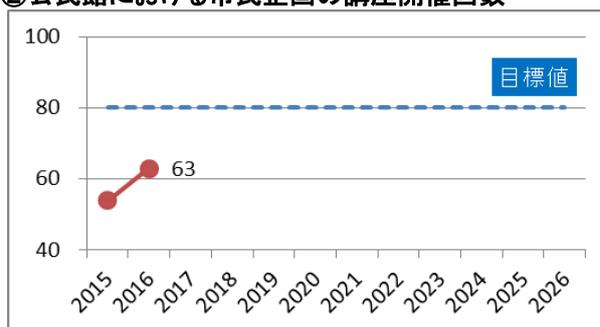
施策に関する指標

指標名	単位	現状値	目標値
① 生涯学習施設の利用者数	人	474,249 (2016年度)	505,000 (2026年度)
② 公民館における市民企画の講座開催回数	回	63 (2016年度)	80 (2026年度)
③ 図書館資料の貸出数	件	756,303 (2016年度)	822,000 (2026年度)

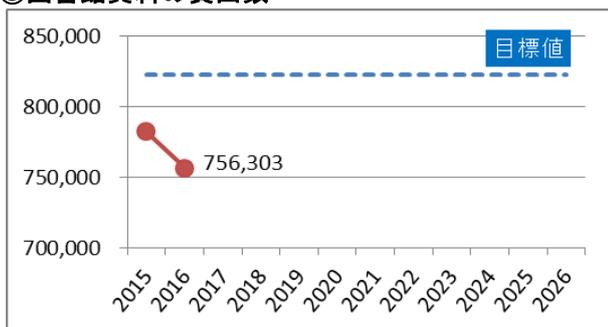
①生涯学習施設の利用者数



②公民館における市民企画の講座開催回数



③図書館資料の貸出数



目標実現のための主な施策・事業

事業名	担当課	計画期間における事業の方向性				
1 中央図書館事業	中央図書館	子どもの読書環境のさらなる充実に向け、学童クラブへの配本便を増便します。また、自動車文庫「つつじ号」を小型車両に買い替え、団体貸出等の利用促進につなげます。				
	2018予算(千円)					
	33,695					
	区分(対前年度)	成果指標	単位	2020年度	目標値	7.3
	拡充	市民一人当たりの貸出冊数	冊	2017年度	目標値	7.0
				実績値	-	
2 ブックスタート事業	中央図書館	第2次子ども読書活動推進計画に基づき、4か月児健診時における絵本配布の取組に加え、妊娠期の親に向けた絵本等の紹介リーフレットの配布を実施します。また、図書館でのフォローアップ事業「あかちゃんのおはなし会」については、2歳児クラスも開始し、成長段階にあわせた乳幼児サービスを進めます。				
	2018予算(千円)					
	612					
	区分(対前年度)	成果指標	単位	2020年度	目標値	41.7
	拡充	0歳児一人当たりの小さい絵本(乳幼児向け)の貸出冊数	冊	2017年度	目標値	39.5
				実績値	-	
3 金剛図書館事業	金剛図書館	第2次子ども読書活動推進計画に基づき、市民や関連部署と連携しながら、子どもの読書環境の充実に取り組みます。また、様々な利用者の方が快適に過ごせるよう、図書館資料の充実や、閲覧室ダウンライトのLED化等、適切な施設改修に取り組みます。				
	2018予算(千円)					
	28,062					
	区分(対前年度)	成果指標	単位	2020年度	目標値	7.3
	拡充	市民一人当たりの貸出冊数	冊	2017年度	目標値	7.0
				実績値	-	
4 生涯学習施設管理運営事業(再掲)	生涯学習課	きらめき創造館における若者の居場所づくりや相談機能を充実するとともに、多彩な講座やイベントの開催等により、次代を担う青少年の育成を図ります。また、多世代向けの「学びのきっかけ」や「学び直しのきっかけ」となる事業を展開し、市民の新たな生涯学習拠点としての充実をめざします。				
	2018予算(千円)					
	29,150					
	区分(対前年度)	成果指標	単位	2020年度	目標値	25,000
	拡充	きらめき創造館の利用者数	人	2017年度	目標値	18,000
				実績値	-	
5 中央公民館事業 金剛公民館事業 東公民館事業	中央公民館	地域に根ざした生涯学習施設として、適切な施設管理や計画的な修繕・更新を行います。また、社会教育事業においては、クラブ連絡会と連携・協力し、市民企画講座の開催など、学習を通じた地域社会の人的交流を促進することで、豊かな社会環境の醸成に努めます。				
	2018予算(千円)					
	44,528					
	区分(対前年度)	成果指標	単位	2020年度	目標値	69
	継続	公民館における市民企画の講座開催回数	回	2017年度	目標値	60
				実績値	-	

分野別施策1 未来への希望を育む子育て・教育

(3) 学び続けるための環境づくり

個別施策

6

市民文化・スポーツの推進

基本的な方向

市民一人ひとりが、健康で充実した生活を送ることができるよう、文化・芸術にふれる機会やスポーツを楽しむ機会の充実を図るとともに、地域における文化・芸術活動やスポーツ活動を推進します。

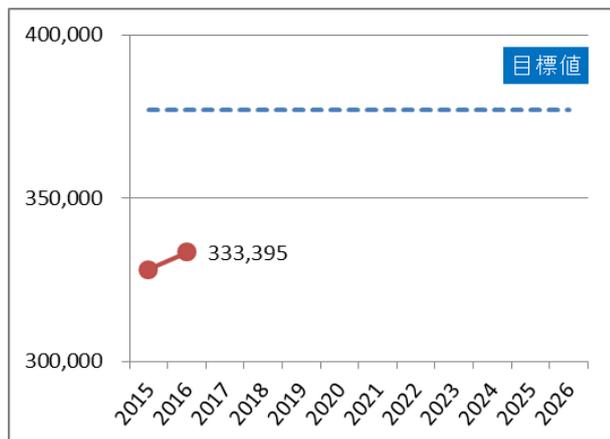
めざすべき姿

市民が日常の中で文化・芸術にふれる場があり、文化・芸術活動を通じた体験や交流に参加することで、心豊かで文化的な、質の高い生活を送っています。また、スポーツを通じて、人々との交流が深まり、市民がいきいきと暮らすことができるまちとなっています。

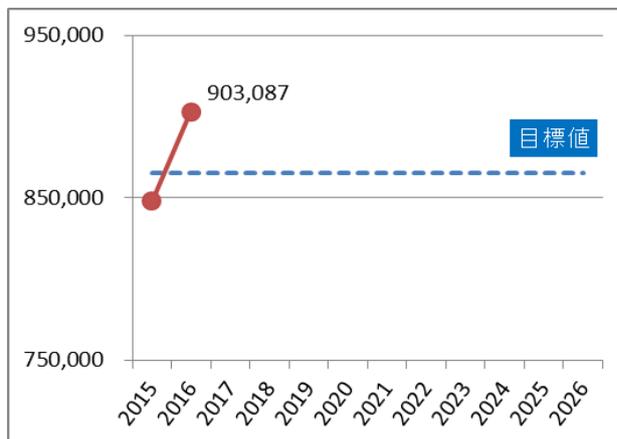
施策に関する指標

指標名	単位	現状値	目標値
① すばるホール・市民会館の利用者数	人	333,395 (2016年度)	377,000 (2026年度)
② スポーツ施設の利用者数	人	903,087 (2016年度)	865,000 (2026年度)

①すばるホール・市民会館の利用者数



②スポーツ施設の利用者数



目標実現のための主な施策・事業

事業名		担当課	計画期間における事業の方向性				
1	市民スポーツ活動推進事業	生涯学習課	市民体育大会や市民マラソン大会等、多くの市民が幅広く参加できる事業を引き続き実施するとともに、「富田林ドリームフェスティバル」を近隣市町村との広域連携により開催し、市民のスポーツに対する関心を高め、スポーツによる地域活性化とスポーツを楽しむことができる環境づくり・地域づくりを進めます。				
		2018予算(千円)					
		4,983					
		区分(対前年度)	成果指標	単位	2020年度	目標値	14,600
		継続	スポーツ事業参加者数	人	2017年度	目標値	14,000
				実績値	-		
事業名		担当課	計画期間における事業の方向性				
2	プール開放事業	生涯学習課	利用者が安全・快適に利用できるよう、市民プールの運営や環境整備に取り組めます。				
		2018予算(千円)					
		17,422					
		区分(対前年度)	成果指標	単位	2020年度	目標値	27,000
		継続	市民プール入場者数	人	2017年度	目標値	21,000
				実績値	26,363		

分野別施策2 みんなで支え合う健やかで心豊かな暮らしづくり

(1) 健やかに暮らすための健康づくり・医療

個別施策

7

主体的な健康づくりの推進

基本的な方向

市民一人ひとりの主体的な健康づくりの促進や、生活習慣病等の予防に向けた指導の充実を図るとともに、社会保障制度の安定的な運営を推進します。

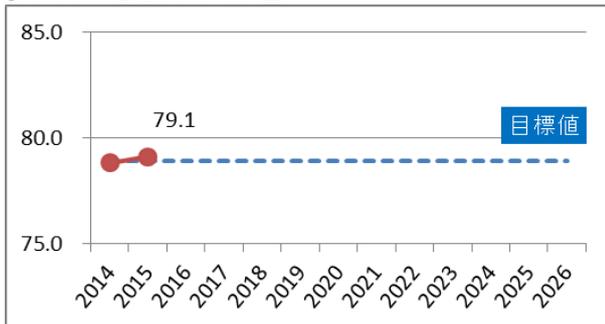
めざすべき姿

市民が運動や食事など、健康的な生活習慣を身につけ、健康診断などを定期的に受診するなど、多くの人が「自分の健康は自分で守る」意識を持って生活しています。また、予防接種やがん検診の受診など、病気の予防や早期発見により、誰もが健康で、長生きできるまちとなっています。

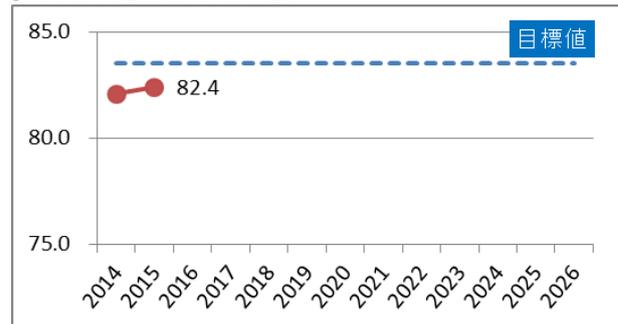
施策に関する指標

指標名	単位	現状値	目標値
① 市民の健康寿命	歳	男性: 79.1 女性: 82.4 (2015年)	男性: 78.9以上 女性: 83.5以上 (2026年)
② がん検診受診率	%	10.5 (2016年度)	17.0 (2026年度)
③ 特定健診受診率	%	37.9 (2016年度)	60.0 (2026年度)

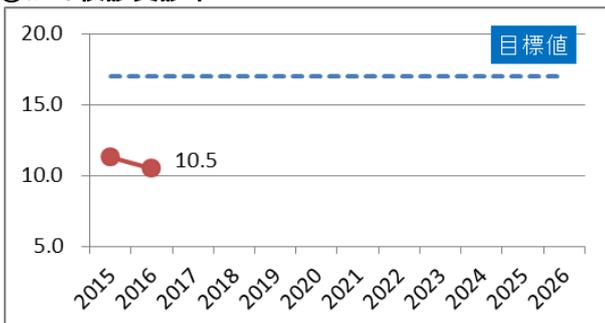
①市民の健康寿命(男性)



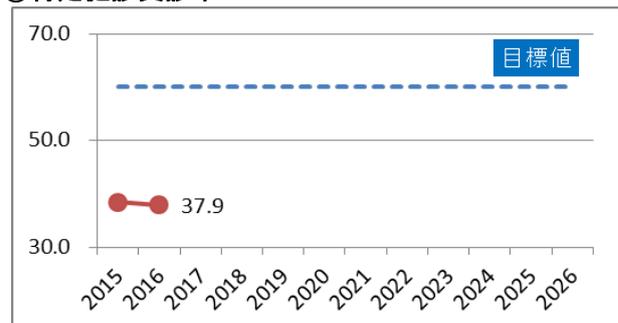
①市民の健康寿命(女性)



②がん検診受診率



③特定健診受診率



目標実現のための主な施策・事業

事業名	担当課	計画期間における事業の方向性				
1 予防接種事業	健康づくり推進課	小児がんの治療として骨髄移植を行い、定期接種の再接種が必要になった人への助成を新たに実施するとともに、成人用肺炎球菌予防接種について、さらなる制度周知を図ります。				
	2018予算(千円)					
	245,844					
	区分(対前年度)	成果指標	単位	2020年度	目標値	40
	拡充	成人用肺炎球菌の接種率(65歳)	%	2017年度	目標値	16
				実績値	-	
事業名	担当課	計画期間における事業の方向性				
2 母子保健事業(再掲)	健康づくり推進課	妊娠届出時の面談や広報等を通じて、子育て世代包括支援センター(ゆにぞん)の周知を図るとともに、事業の参加率の向上をめざします。また、不妊・不育症治療への助成を行うとともに、産後間もない時期(産後2週間および産後1か月)の産婦健康診査を新たに公費負担し、受診しやすい環境をつくることで、産後うつ予防など、妊娠期から子育て期にわたる切れ目ない支援体制の強化を図ります。				
	2018予算(千円)					
	121,554					
	区分(対前年度)	成果指標	単位	2020年度	目標値	97
	拡充	妊娠早期の届出者の割合	%	2017年度	目標値	97
				実績値	-	
事業名	担当課	計画期間における事業の方向性				
3 市民検診事業	健康づくり推進課	がん検診の受診率向上に向けた普及・啓発に努めるとともに、特定保健指導の利用率向上を図ります。また、胃がん検診において50歳以上の方を対象に、胃内視鏡検診を2年に1回選択できるようにします。				
	2018予算(千円)					
	133,741					
	区分(対前年度)	成果指標	単位	2020年度	目標値	14.3
	拡充	がん検診受診率	%	2017年度	目標値	12.8
				実績値	-	
事業名	担当課	計画期間における事業の方向性				
4 健康指導事業	健康づくり推進課	生活習慣病等を予防し、健康寿命の延伸を図るため、健康教育や相談事業を充実し、運動習慣の定着をめざします。また、自殺予防を図るため、自殺対策計画を策定するとともに、庁内外の相談窓口職員や教職員を対象としたゲートキーパー養成等の研修を開催します。				
	2018予算(千円)					
	1,039					
	区分(対前年度)	成果指標	単位	2020年度	目標値	4,410
	拡充	健康教育の参加者数	人	2017年度	目標値	4,300
				実績値	-	
事業名	担当課	計画期間における事業の方向性				
5 国民健康保険管理事務	保険年金課	広域化された国民健康保険事業について、府内市町村と連携の上、医療費適正化に努めながら、被保険者への迅速かつ丁寧なサービスを提供するとともに、将来にわたって安定した財政運営や効率的な事業の確保に努めます。				
	2018予算(千円)					
	46,734					
	区分(対前年度)	成果指標	単位	2020年度	目標値	0
	継続	実質収支金額	千円	2017年度	目標値	0
				実績値	-	

目標実現のための主な施策・事業

事業名		担当課	計画期間における事業の方向性				
6	特定健康診査等事業	保険年金課	特定健康診査等実施計画（第3期）に基づき、メタボリックシンドロームに着目した特定健康診査を実施するとともに、特定保健指導該当者に対して、一人ひとりに合った生活習慣の改善支援に取り組みます。また、特定健康診査の受診率向上や、特定保健指導の実施率向上に努めます。				
		2018予算(千円)					
		86,354					
		区分(対前年度)	成果指標	単位	2020年度	目標値	22
		継続	特定保健指導対象者割合の減少率	%	2017年度	目標値	19
				実績値	-		
事業名		担当課	計画期間における事業の方向性				
7	その他保健事業	保険年金課	被保険者の健康寿命の延伸、医療費の適正化をめざし策定した国民健康保険第2期データヘルス計画に基づき、特定健康診査の受診結果やレセプト情報を活用した、健康づくり、疾病予防、重症化予防などの対策を実施します。また、後発医薬品（ジェネリック医薬品）の使用を促進するため、該当者へ差額通知を送付します。				
		2018予算(千円)					
		1,041					
		区分(対前年度)	成果指標	単位	2020年度	目標値	80
		継続	後発医薬品利用率	%	2017年度	目標値	60
				実績値	-		

分野別施策2 みんなで支え合う健やかで心豊かな暮らしづくり

(1) 健やかに暮らすための健康づくり・医療

個別施策

8

医療体制の充実

基本的な方向

医師会・歯科医師会・薬剤師会や大阪府、周辺自治体との連携強化を図りながら、富田林病院を中核とした地域完結型の医療を提供するとともに、救急医療体制の充実を含め、市民が安心できる医療体制の充実に向けた取組を推進します。

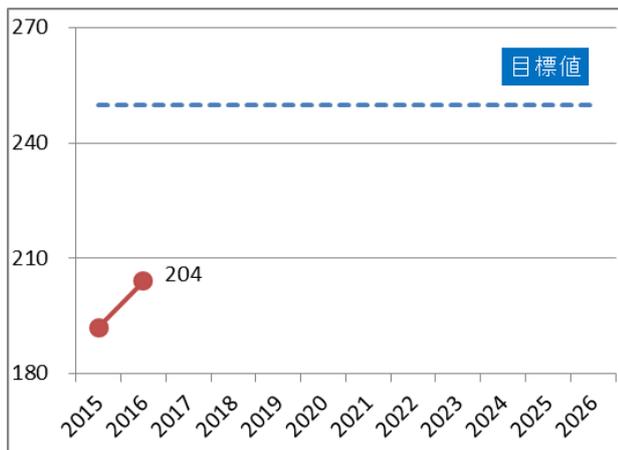
めざすべき姿

地域で良質な医療サービスが提供され、また、市民一人ひとりがかかりつけ医を持ち、身近で適切な医療を受けることができ、休日や夜間、子どもの急病などの緊急時にも対応できる医療の体制が整っていることで、誰もが安心して暮らすことのできるまちとなっています。

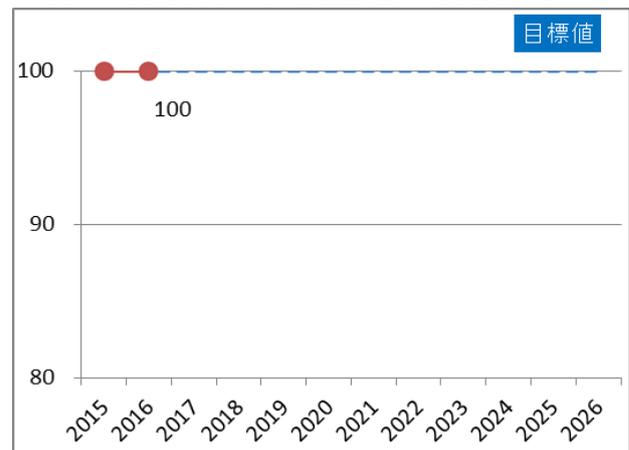
施策に関する指標

指標名	単位	現状値	目標値
① 富田林病院と連携する医療機関数	箇所	204 (2016年度)	250 (2026年度)
② 二次救急・準夜初期救急医療および南河内南部広域小児急病診療の年間稼働率	%	100 (2016年度)	100 (2026年度)

①富田林病院と連携する医療機関数



② 二次救急・準夜初期救急医療および南河内南部広域小児急病診療の年間稼働率



目標実現のための主な施策・事業

事業名	担当課	計画期間における事業の方向性				
1 病院事業	健康づくり推進課	「富田林病院の譲渡等に関する基本協定書」に基づき、貸付、救急診療・患者送迎バス運行の補助等を引き続き実施します。				
	2018予算(千円)					
	1,162,275					
	区分(対前年度)	成果指標	単位	2020年度	目標値	-
	継続	年間入院患者数(実績のみ把握)	人	2017年度	目標値	-
				実績値	-	
事業名	担当課	計画期間における事業の方向性				
2 休日診療所事業	健康づくり推進課	日曜、祝日及び年末年始における急病人の応急的な医療を提供するため、引き続き休日診療体制の確保に努めます。				
	2018予算(千円)					
	46,847					
	区分(対前年度)	成果指標	単位	2020年度	目標値	2,000
	継続	休日診療所年間患者数	人	2017年度	目標値	2,000
				実績値	-	
事業名	担当課	計画期間における事業の方向性				
3 小児救急医療事業	健康づくり推進課	小児救急医療体制の継続的な確保に努めます。				
	2018予算(千円)					
	81,505					
	区分(対前年度)	成果指標	単位	2020年度	目標値	2,900
	継続	小児救急年間患者数(富田林市民分)	人	2017年度	目標値	2,900
				実績値	-	
事業名	担当課	計画期間における事業の方向性				
4 二次救急医療体制整備補助事業	健康づくり推進課	二次救急医療体制の継続的な確保に努めます。				
	2018予算(千円)					
	42,051					
	区分(対前年度)	成果指標	単位	2020年度	目標値	53,000
	継続	二次救急年間受入れ患者数(19病院)	人	2017年度	目標値	53,000
				実績値	-	
事業名	担当課	計画期間における事業の方向性				
5 富田林病院建替事業	健康づくり推進課	「富田林病院の譲渡等に関する基本協定書」に基づき、南河内地域の中核医療機関として、適切な医療サービスが提供されるよう、富田林病院建替えの補助を行い、2021年秋のオープンをめざします。				
	2018予算(千円)					
	829,910					
	区分(対前年度)	成果指標	単位	2020年度	目標値	-
	継続	-	-	2017年度	目標値	-
				実績値	-	

分野別施策2 みんなで支え合う健やかで心豊かな暮らしづくり

(2) 支え合いを育む福祉コミュニティづくり

個別施策

9

地域福祉の推進

基本的な方向

誰もが支え合いと助け合いのしくみの中で活躍できる地域づくりに向けたネットワークの強化や、地域福祉に関する市民の活動の場やきっかけづくりを進めるなど、「増進型の地域福祉」を推進します。

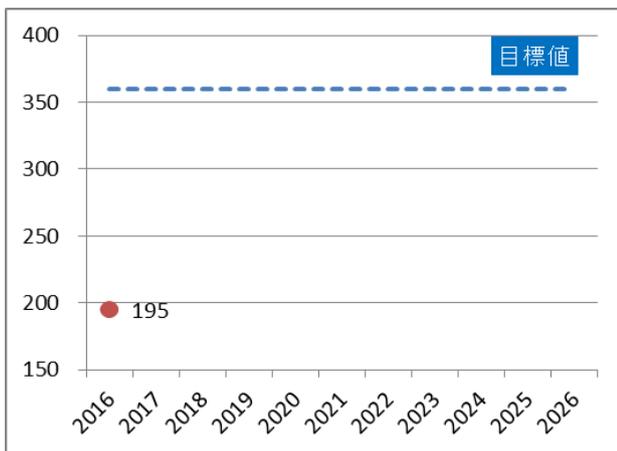
めざすべき姿

市民が地域のさまざまな活動を通じて交流することでつながりが生まれ、隣近所で見守りや支え合いが自然に行われる関係ができています。また、地域コミュニティ組織や関係団体、民生委員・児童委員などの活動、市民によるボランティア活動が活発に行われることで、地域の中で支援が必要な人に、必要な支援が行き届く、支え合い、助け合えるまちとなっています。

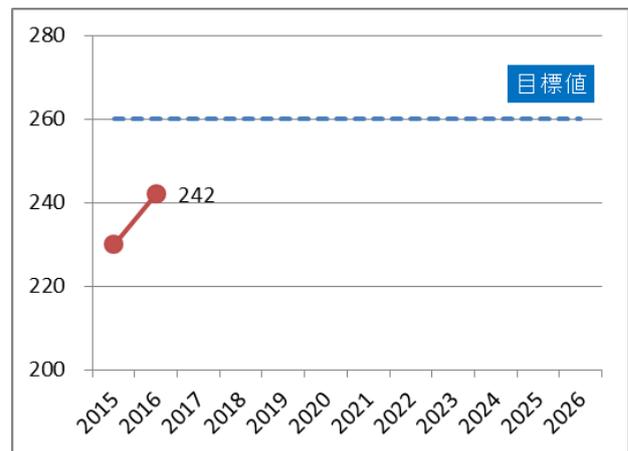
施策に関する指標

指標名	単位	現状値	目標値
① 校区交流会議への参加者数	人	195 (2016年度)	360 (2026年度)
② CSWIによる住民活動コーディネート件数	件	242 (2016年度)	260 (2026年度)

①校区交流会議への参加者数



②CSWIによる住民活動コーディネート件数



目標実現のための主な施策・事業

事業名		担当課	計画期間における事業の方向性				
1	福祉コミュニティ推進事業	地域福祉課	コミュニティソーシャルワーカー（CSW）を配置し、地域における高齢者、障がい者、ひとり親家庭等に対する見守り及び相談・支援に取り組むとともに、小地域ネットワーク等と連携を図りながら、地域におけるセーフティネット体制づくりを行います。				
		2018予算(千円)					
		33,645					
		区分(対前年度)	成果指標	単位	2020年度	目標値	242
		継続	CSWによる住民活動コーディネート件数	件	2017年度	目標値	233
				実績値	-		
事業名		担当課	計画期間における事業の方向性				
2	地域福祉管理事務	地域福祉課	第3期地域福祉計画を推進し、「増進型地域福祉づくり・一人ひとりがその人らしい生き方を実現することのできる富田林」をめざします。また、校区交流会議を継続して開催し、自分たちの地域の理想実現に向け、市民が助け合い、主体性を育みながら取り組んでいけるよう支援します。				
		2018予算(千円)					
		2,757					
		区分(対前年度)	成果指標	単位	2020年度	目標値	259
		継続	校区交流会議参加者数	人	2017年度	目標値	211
				実績値	-		

分野別施策2 みんなで支え合う健やかで心豊かな暮らしづくり

(2) 支え合いを育む福祉コミュニティづくり

個別施策

10

高齢者福祉の推進

基本的な方向

地域の実情に即した地域包括ケアシステムを推進することにより、高齢者が安心して住み続けることができる環境づくりを進めるとともに、介護予防や生きがいつくりの取組を通じて、元気な高齢者が地域の担い手として参加できるしくみづくりを推進します。

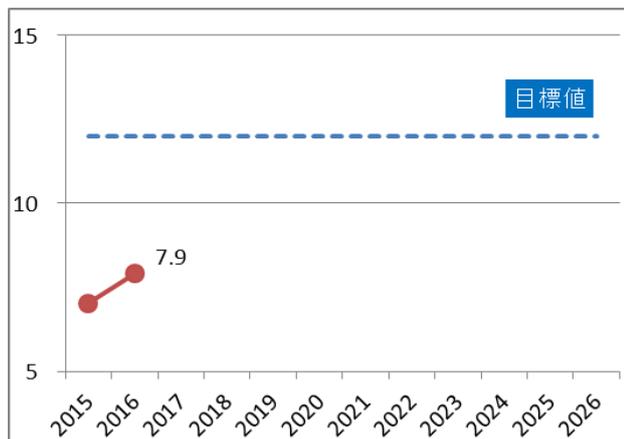
めざすべき姿

要介護状態や認知症になっても、医療・介護サービスや生活の手助けなど必要な支援を受けながら、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができています。また、高齢者の知識や経験を活かせる場があることで、まちづくりの担い手として活躍でき、本人のいきがいと健康にもつながっています。

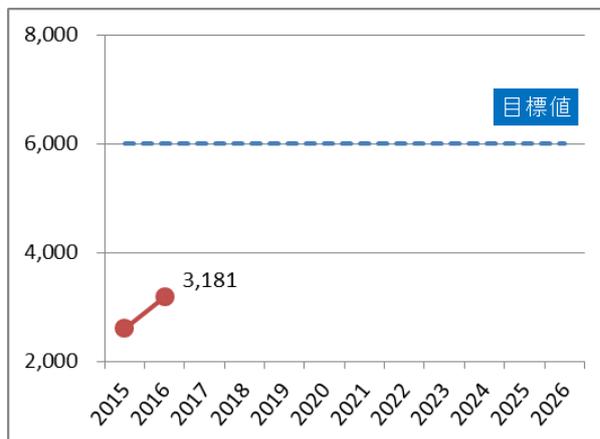
施策に関する指標

指標名	単位	現状値	目標値
① 認知症サポーターの市民の割合	%	7.9 (2016年度)	12 (2026年度)
② 地域介護予防教室の参加者数	人	3,181 (2016年度)	6,000 (2026年度)

①認知症サポーターの市民の割合



②地域介護予防教室の参加者数



目標実現のための主な施策・事業

事業名	担当課	計画期間における事業の方向性				
1 包括的支援事業	高齡介護課	地域包括支援センター（ほんわかセンター）の機能を高め、「地域ケア会議」を推進するとともに、医療・介護連携の推進や、地域における日常生活支援体制の整備を図ります。				
	2018予算(千円)					
	103,728					
	区分(対前年度)	成果指標	単位	2020年度	目標値	12,188
	継続	地域包括支援センター相談対応件数	件	2017年度	目標値	12,188
				実績値	-	
事業名	担当課	計画期間における事業の方向性				
2 介護相談員派遣事業	高齡介護課	介護保険サービス利用における苦情や、事故を未然に防止する介護相談員を引き続き派遣するとともに、派遣体制の確保に向けた、計画的な相談員の養成に取り組みます。				
	2018予算(千円)					
	2,388					
	区分(対前年度)	成果指標	単位	2020年度	目標値	4
	継続	ぴあ介護相談員新規養成人数	人	2017年度	目標値	3
				実績値	-	
事業名	担当課	計画期間における事業の方向性				
3 認知症サポーター等養成事業	高齡介護課	認知症サポーターを引き続き養成するとともに、サポーターが地域で活躍できる場の創出に取り組みます。				
	2018予算(千円)					
	120					
	区分(対前年度)	成果指標	単位	2020年度	目標値	750
	継続	認知症サポーター養成数	人	2017年度	目標値	825
				実績値	-	
事業名	担当課	計画期間における事業の方向性				
4 生活支援体制整備事業	高齡介護課	地域で行われている活動等の地域資源の把握・発掘に努めるとともに、住民主体の自主活動として行う生活援助や通いの場の創設に向けた検討を進めます。				
	2018予算(千円)					
	2,811					
	区分(対前年度)	成果指標	単位	2020年度	目標値	6
	継続	地域活動の立ち上げ及び継続支援を行った団体数	団体	2017年度	目標値	3
				実績値	-	
事業名	担当課	計画期間における事業の方向性				
5 介護予防普及啓発事業	高齡介護課	運動機能向上や栄養改善、口腔機能向上に係る健康づくり教室や、認知症予防等に関する教室を開催するなど、介護予防の普及啓発を図ります。				
	2018予算(千円)					
	12,240					
	区分(対前年度)	成果指標	単位	2020年度	目標値	1,755
	継続	健康づくり教室への延べ参加者数	人	2017年度	目標値	1,755
				実績値	-	

目標実現のための主な施策・事業

事業名		担当課	計画期間における事業の方向性				
6	地域介護予防活動支援事業	高齢介護課	住民による主体的・継続的な介護予防教室である「笑顔はつらつ教室」の普及・啓発に努めるとともに、市内全域に展開されるよう支援します。				
		2018予算(千円)					
		4,212					
		区分(対前年度)	成果指標	単位	2020年度	目標値	29
		継続	笑顔はつらつ教室の開催箇所数	箇所	2017年度	目標値	23
				実績値	-		

分野別施策2 みんなで支え合う健やかで心豊かな暮らしづくり

(2) 支え合いを育む福祉コミュニティづくり

個別施策

11

障がい者福祉の推進

基本的な方向

障がい児者の特性に応じた自立と社会参加を促進するとともに、障がい児者に対する地域の理解促進に向けた取組を推進します。

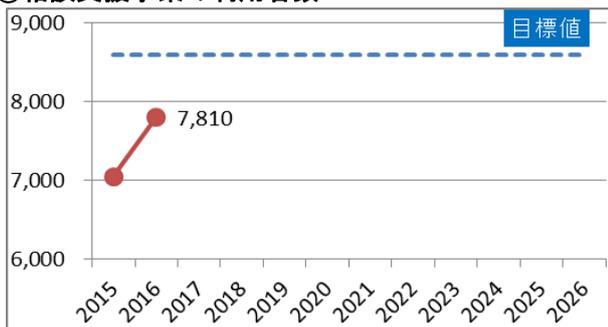
めざすべき姿

障がいのある人やその家族が、地域の中で相談支援や必要なサービスを利用して、仕事や生きがいを持つことができ、充実した暮らしを送っています。また、障がいのある人とない人が、同じまちに暮らす住民として理解し合うまちとなっています。

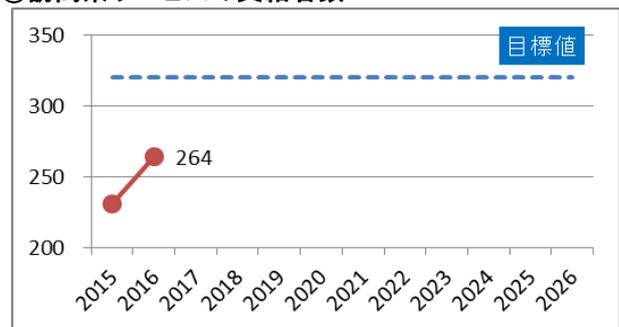
施策に関する指標

指標名	単位	現状値	目標値
① 相談支援事業の利用者数	人	7,810 (2016年度)	8,600 (2026年度)
② 訪問系サービスの支給者数	人	264 (2016年度)	320 (2026年度)
③ 福祉サービスを利用した就労者数	人	13 (2016年度)	22以上 (2026年度)

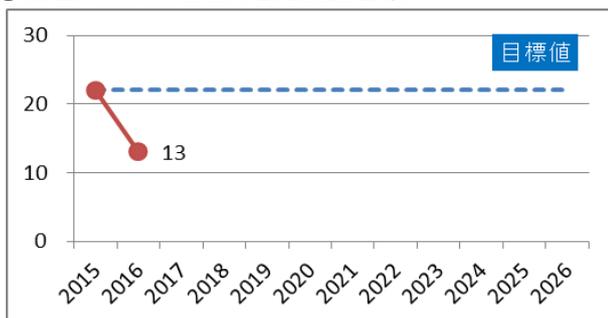
①相談支援事業の利用者数



②訪問系サービスの支給者数



③福祉サービスを利用した就労者数



目標実現のための主な施策・事業

事業名	担当課	計画期間における事業の方向性				
1 障害者虐待防止 対策支援事業	障がい福祉課	障がい者虐待防止センターを中心として、関係機関とも連携をしながら、引き続き障がい者虐待の防止と、緊急時を含めた虐待事案に対する適切な支援に取り組みます。				
	2018予算(千円)					
	2,583					
	区分(対前年度)	成果指標	単位	2020年度	目標値	-
	継続	-	-	2017年度	目標値	-
				実績値	-	
2 意思疎通支援事 業	障がい福祉課	ろう者があらゆる場面で手話による意思疎通ができ、自立した日常生活や地域における社会参加を保障するためのしくみづくりを進めるとともに、要約筆記者の確保に向けた広域的な養成に取り組みます。				
	2018予算(千円)					
	2,907					
	区分(対前年度)	成果指標	単位	2020年度	目標値	520
	拡充	手話・要約筆記派遣決定件数	件	2017年度	目標値	469
				実績値	-	
3 地域生活拠点等 事業	障がい福祉課	障がい者の高齢化や親亡き後を見据え、自立した生活の場としてのグループホームへの移行を支援するため、広域的な体験の場の提供に引き続き取り組みます。				
	2018予算(千円)					
	5,984					
	区分(対前年度)	成果指標	単位	2020年度	目標値	2
	継続	在宅からグループホームへの移行者数	人	2017年度	目標値	1
				実績値	-	
4 介護・訓練等給 付費事業	障がい福祉課	障がいのある人が、住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、介護給付費等の障がい福祉サービスを提供します。				
	2018予算(千円)					
	1,935,924					
	区分(対前年度)	成果指標	単位	2020年度	目標値	2,200
	継続	訪問系サービス延べ利用者数	人	2017年度	目標値	2,136
				実績値	-	
5 障がい児通所支 援給付費事業	障がい福祉課	障がい児の健やかな育成を支援するため、障がい児とその家族に対し、通所支援や相談支援を提供します。				
	2018予算(千円)					
	449,045					
	区分(対前年度)	成果指標	単位	2020年度	目標値	3,000
	継続	障がい児通所支援給付費延べ利用者数	人	2017年度	目標値	2,808
				実績値	-	

目標実現のための主な施策・事業

事業名		担当課	計画期間における事業の方向性				
6	地域生活支援事業	障がい福祉課	障がいのある人が、地域で自分らしく暮らし続けることができるよう、気軽に相談できる場の確保等、地域実情に応じた障がい福祉サービスを提供するとともに、障がいに対する理解促進に努めます。				
		2018予算(千円)					
		173,190					
		区分(対前年度)	成果指標	単位	2020年度	目標値	8,000
		継続	相談支援事業の利用者数	人	2017年度	目標値	8,000
				実績値	-		
事業名		担当課	計画期間における事業の方向性				
7	発達障がい児等療育支援事業	こども未来室	発達障がいのある子どもたちが自尊心をもって自立した生活ができるよう、拠点施設（こども発達支援センターSun）において、個別プログラムに基づく療育を実施し、子どもとその保護者を支援します。また、支援が必要な子どもが進学・進級時等に継続的な支援を受けることができるよう、「つながるファイル」を作成します。				
		2018予算(千円)					
		5,616					
		区分(対前年度)	成果指標	単位	2020年度	目標値	380
		継続	つながるファイル管理数	冊	2017年度	目標値	380
				実績値	-		

分野別施策2 みんなで支え合う健やかで心豊かな暮らしづくり

(2) 支え合いを育む福祉コミュニティづくり

個別施策

12

生活の自立に向けた支援

基本的な方向

関係機関や地域とのネットワークを強化し、生活に困難を抱える人の、生活保護に至る前の段階からの早期把握・対応を図るとともに、一人ひとりの状況に応じた相談支援・就労支援等、自立に向けた個別的・包括的な支援体制づくりを推進します。

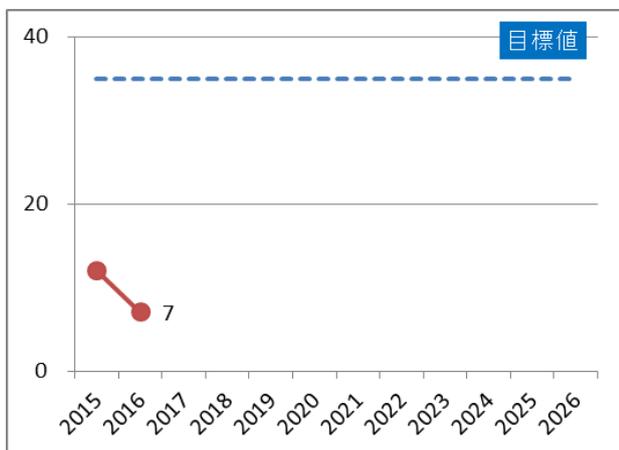
めざすべき姿

生活にさまざまな困難を抱える人が、一人ひとりの状況に応じた、きめ細やかな相談や就労の支援を受けることで、安定的で自立した生活を送ることができています。

施策に関する指標

指標名	単位	現状値	目標値
① 就労支援による就労・増収者数(生活困窮者自立支援事業)	人	7 (2016年度)	35 (2026年度)

①就労支援による就労・増収者数



目標実現のための主な施策・事業

事業名		担当課	計画期間における事業の方向性				
1	生活困窮者自立支援事業	地域福祉課	生活困窮者の自立促進に向け、具体的な支援プランによる包括的な支援を行います。また、生活困窮世帯の子どもを対象とした学習支援事業においては、家庭訪問によるアウトリーチの取組を新たに実施し、親への支援も含め、将来的な子どもの自立につなげます。				
		2018予算(千円)					
		44,221					
		区分(対前年度)	成果指標	単位	2020年度	目標値	250
		拡充	自立相談支援事業新規相談者数	人	2017年度	目標値	180
				実績値	-		
事業名		担当課	計画期間における事業の方向性				
2	生活保護事業	生活支援課	生活保護制度の適正な実施に努めるとともに、就労が可能な人の生活の自立に向けた就労支援に取り組みます。				
		2018予算(千円)					
		4,069,251					
		区分(対前年度)	成果指標	単位	2020年度	目標値	85
		継続	就労支援による就労者数(就労支援事業)	人	2017年度	目標値	70
				実績値	-		

分野別施策2 みんなで支え合う健やかで心豊かな暮らしづくり

(3) 多様性の尊重による共生社会の形成

個別施策

13

人権の尊重と平和の希求

基本的な方向

人権に関する相談体制の充実や、関係団体等との連携による人権教育・啓発活動を進め、多様な人権課題に対応するとともに、戦争の悲惨さを風化させず、平和の大切さを次の世代に語り継ぐ取組を推進します。

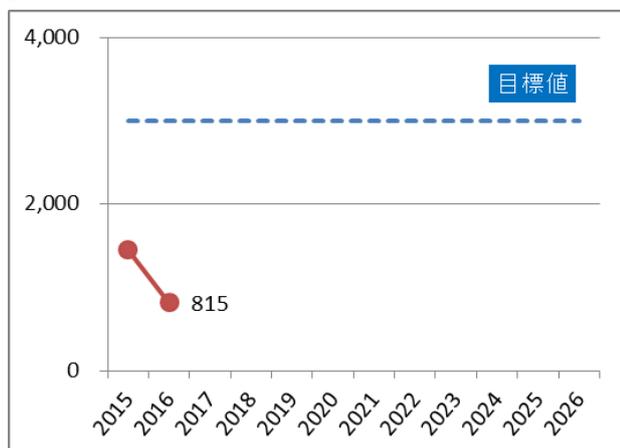
めざすべき姿

市民が人権について学ぶ場に参加し、さまざまな人権に関する理解を深めており、地域や家庭、職場などで、誰もがお互いを尊重し合えるまちとなっています。また、子どもや若い世代が戦争の悲惨さを理解することで、みんなで平和を守っていく意識が受け継がれています。

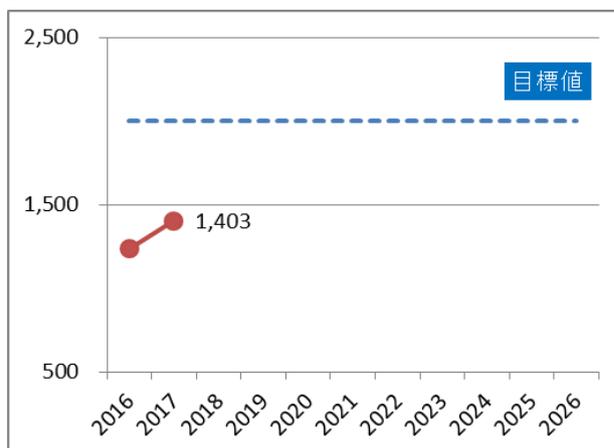
施策に関する指標

指標名	単位	現状値	目標値
① 人権啓発事業への参加者数	人	815 (2016年度)	3,000 (2026年度)
② 平和を考える戦争展への参加者数	人	1,403 (2017年度)	2,000 (2026年度)

①人権啓発事業への参加者数



②平和を考える戦争展への参加者数



目標実現のための主な施策・事業

事業名	担当課	計画期間における事業の方向性				
1 人権啓発事業	人権政策課	人権課題が多様化する中、職員や市民に対して研修の実施や映像ライブラリーの貸出し等の人権教育・啓発を行うことで、人権課題の解決に寄与できる人材の養成を図るとともに、人権相談のさらなる利用を促進します。また、今後の人権施策を総合的かつ効果的に推進していくため、人権行政推進基本計画の改定に取り組みます。				
	2018予算(千円)					
	8,264					
	区分(対前年度)	成果指標	単位	2020年度	目標値	750
	拡充	人権フェア・人権啓発講座の参加者数	人	2017年度	目標値	500
				実績値	-	
2 平和のつどい	人権政策課	戦争体験者が少なくなっている中、「平和を考える戦争展」や広島平和記念式典に市民代表を派遣する「親子平和の旅」を引き続き実施することで、戦争の悲惨さや平和の尊さを次世代へ継承します。また、学校や市民に対して、平和に関する映像ライブラリーを貸出すなど、平和学習を支援します。				
	2018予算(千円)					
	2,461					
	区分(対前年度)	成果指標	単位	2020年度	目標値	2,000
	継続	平和を考える戦争展の参加者数	人	2017年度	目標値	1,200
				実績値	1,403	
3 こども食堂運営支援事業	こども未来室	「こども食堂」を運営する団体に対して食材費等の経費を補助するとともに、ボランティアの養成や団体間の情報共有の場としてネットワーク会議を開催するなど、地域における子どもの居場所づくりと子どもの育成支援に取り組みます。				
	2018予算(千円)					
	3,776					
	区分(対前年度)	成果指標	単位	2020年度	目標値	6,140
	継続	こども食堂の参加者数	人	2017年度	目標値	4,800
				実績値	-	
4 人権文化センター事業	人権文化センター	人権尊重の開かれたコミュニティセンターとして、引き続き各種講座や総合相談事業を実施します。				
	2018予算(千円)					
	8,576					
	区分(対前年度)	成果指標	単位	2020年度	目標値	360
	継続	相談対応件数	人	2017年度	目標値	238
				実績値	-	

分野別施策2 みんなで支え合う健やかで心豊かな暮らしづくり

(3) 多様性の尊重による共生社会の形成

個別施策

14

男女共同参画と女性の活躍の推進

基本的な方向

男女共同参画社会の形成をめざし、市民や地域、事業所等への啓発活動や意識改革を図るとともに、あらゆる場において女性が活躍できる環境づくりを推進します。

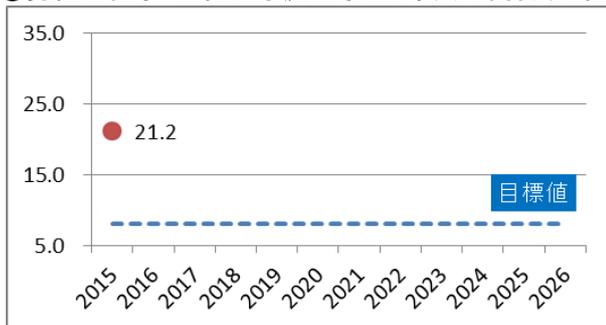
めざすべき姿

地域や家庭、職場などのさまざまな場面で、男女ともに家事や育児、仕事などの役割を担っており、男女がお互いを尊重し、誰もが意欲や希望に応じて、自分らしく活躍することができるまちとなっています。

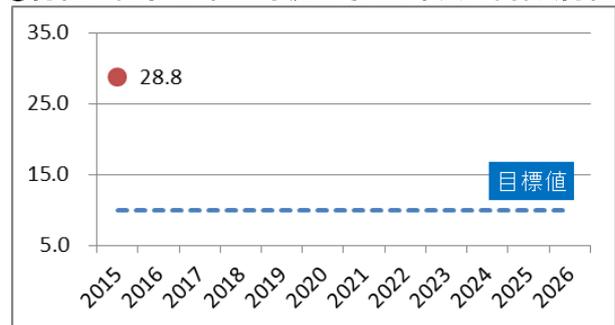
施策に関する指標

指標名	単位	現状値	目標値
① 男性は仕事・女性は家庭と考える市民の割合	%	女性:21.2 男性:28.8 (2015年度)	女性: 8.0 男性:10.0 (2026年度)
② 市審議会等における女性委員の登用率	%	22.8 (2016年度)	30.0以上 (2026年度)
③ 男女共同参画リーダー養成講座の修了生数	人	119 (2016年度)	150 (2026年度)

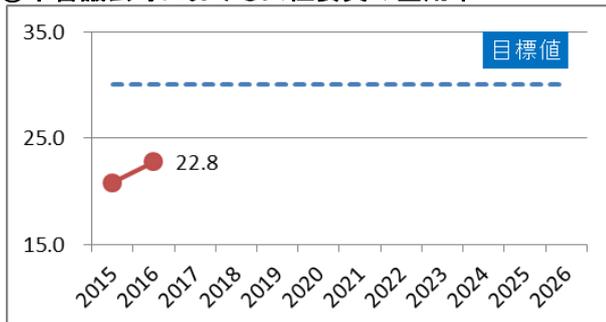
①男性は仕事・女性は家庭と考える市民の割合(女性)



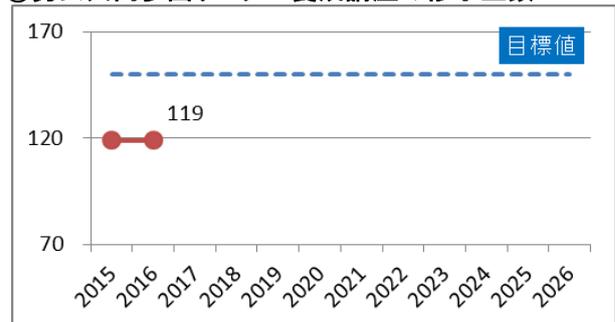
①男性は仕事・女性は家庭と考える市民の割合(男性)



②市審議会等における女性委員の登用率



③男女共同参画リーダー養成講座の修了生数



目標実現のための主な施策・事業

事業名	担当課	計画期間における事業の方向性				
1 男女共同参画推進事務	人権政策課	第3次男女共同参画計画に基づき、フォーラムや講座、啓発冊子など様々な手法とテーマ設定で男女共同参画や女性活躍推進への意識啓発やリーダーの育成に努めるとともに、男女共同参画センターの運営を通じて、グループ活動や交流を支援します。また、女性のための相談事業の実施やDV対策連絡会議の連携強化を図りながら、女性が直面する課題の解決をサポートし、必要な支援につなげます。				
	2018予算(千円)					
	2,160					
	区分(対前年度)	成果指標	単位	2020年度	目標値	30
	拡充	市審議会等における女性委員の登用率	%	2017年度	目標値	30
				実績値	-	

分野別施策2 みんなで支え合う健やかで心豊かな暮らしづくり

(3) 多様性の尊重による共生社会の形成

個別施策

15

多文化共生と国際交流のまちづくり

基本的な方向

市民と外国人市民が互いの文化や習慣の違いを認め合い、ともに生活を営むことができるよう、多文化共生のまちづくりを進めるとともに、姉妹都市をはじめ、多様な交流機会の充実を図るなど、国際交流を推進します。

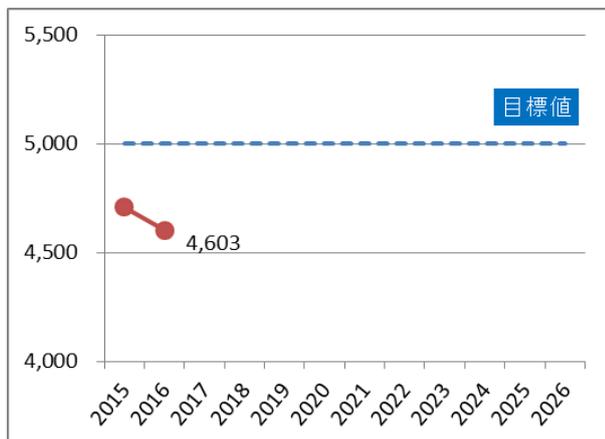
めざすべき姿

市民と外国人市民がさまざまな交流を通じて、国籍や文化的なルーツに関わらず、お互いを知り、認め合うことで、外国人市民にとっても、市民にとっても暮らしやすいまちとなっています。また、国際的な都市間の交流が進み、グローバル感覚を身につけた市民が増えています。

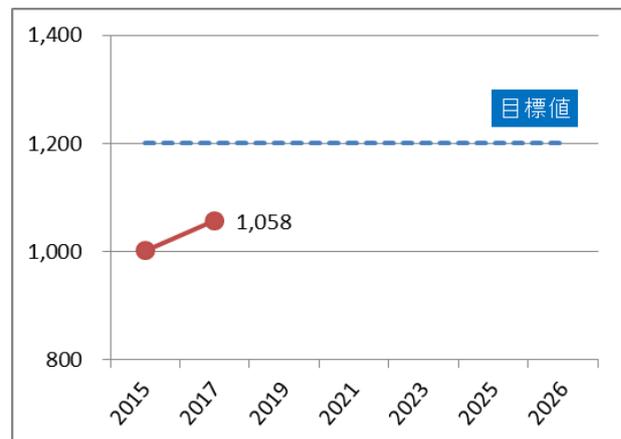
施策に関する指標

指標名	単位	現状値	目標値
① 多文化理解に向けた学習機会への参加者数	人	4,603 (2016年度)	5,000 (2026年度)
② 姉妹都市交流事業への参加者数	人	1,058 (2017年度)	1,200 (2026年度)

①多文化理解に向けた学習機会への参加者数



②姉妹都市交流事業への参加者数



目標実現のための主な施策・事業

事業名		担当課	計画期間における事業の方向性				
1	姉妹都市・友好都市交流推進事業	市民協働課	交換学生事業や英語弁論大会をはじめとする取組を通じて姉妹都市である米国ベスレヘム市との交流を深めます。また、中国彭州市との交流については、民間交流への移行について検討するとともに、韓国益山市との交流については、今後の方向性について検討します。				
		2018予算(千円)					
		712					
		区分(対前年度)	成果指標	単位	2019年度	目標値	1,200
		継続	姉妹都市交流事業への参加者数(2年毎に集計)	人	2017年度	目標値	1,190
				実績値	1,058		
事業名		担当課	計画期間における事業の方向性				
2	国際化施策推進事業	市民協働課	多文化共生推進指針の改定に取り組むとともに、窓口業務案内多言語版の改定・翻訳を行います。また、とんだばやし国際交流協会と協働し、地域に暮らす外国人市民、中国残留邦人等が円滑な市民生活を送れるよう支援するとともに、多文化理解に向けた市民講座を継続して実施します。				
		2018予算(千円)					
		5,707					
		区分(対前年度)	成果指標	単位	2020年度	目標値	4,970
		拡充	多文化理解に向けた市民講座参加者数	人	2017年度	目標値	4,910
				実績値	-		

分野別施策3 魅力のあるまちのにぎわいづくり

(1) 産業活性化によるにぎわいの創出

個別施策

16

雇用の促進

基本的な方向

安定した雇用の確保に向け、市内で起業・創業を希望する人への支援や、企業や商業施設の本市への立地促進による新たな雇用の創出に取り組むとともに、市内企業および就労希望者に対する支援を進めます。

めざすべき姿

企業・商業施設の誘致や起業・創業へのサポートにより、市内で働く場所や買い物ができる場所が増えていきます。また、市民が仕事に必要な能力を高める場や、企業との出会いの場を持つことができ、希望する仕事に就くことができる働きやすいまちとなっています。

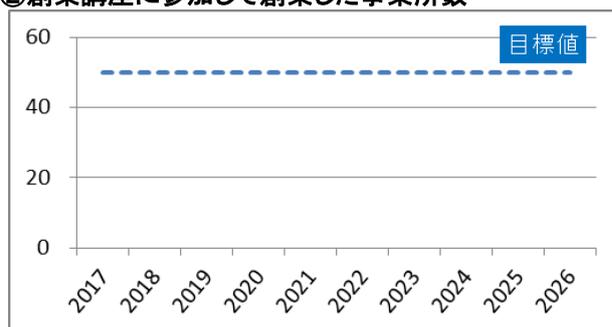
施策に関する指標

指標名	単位	現状値	目標値
① 市内事業所従業者数	人	33,407 (2016年)	38,000以上 (2026年)
② 創業講座に参加して創業した事業所数(10年間合計)	事業所	-	50 (2026年度)
③ 支援メニューによる企業・商業施設の立地件数(10年間合計)	件	-	20 (2026年度)

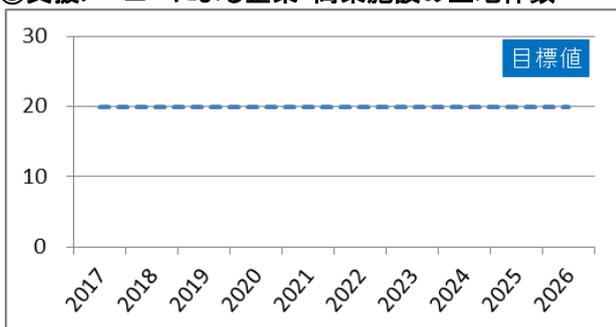
①市内事業所従業者数



②創業講座に参加して創業した事業所数



③支援メニューによる企業・商業施設の立地件数



目標実現のための主な施策・事業

事業名		担当課	計画期間における事業の方向性				
1	就労支援事業	商工観光課	市内の雇用促進に向け、地元企業と若者・子育て中の女性等を対象とした「企業マッチング」に引き続き取り組みます。				
		2018予算(千円)					
		5,787					
		区分(対前年度)	成果指標	単位	2020年	目標値	37,790
		継続	市内事業所従業者数	人	2017年	目標値	37,685
				実績値	-		
事業名		担当課	計画期間における事業の方向性				
2	創業支援事業	商工観光課	創業支援事業計画に基づき、近隣市町村との連携によるセミナー開催等に取り組みます。また、本市独自の創業支援補助金制度を継続するとともに、日本政策金融公庫の創業融資に係る利子補給の利用を促進します。				
		2018予算(千円)					
		7,200					
		区分(対前年度)	成果指標	単位	2020年度	目標値	5
		継続	創業支援セミナー受講による市内創業者数	人	2017年度	目標値	5
				実績値	-		

分野別施策3 魅力のあるまちのにぎわいづくり

(1) 産業活性化によるにぎわいの創出

個別施策

17

商工業の活性化

基本的な方向

商工業の活性化に向けて、商工会・商店会等の活動への支援や、中小企業の競争力強化・事業承継等に向けた支援に取り組みます。また、伝統工芸品産業への支援にも取り組み、地域経済の活性化を図ります。

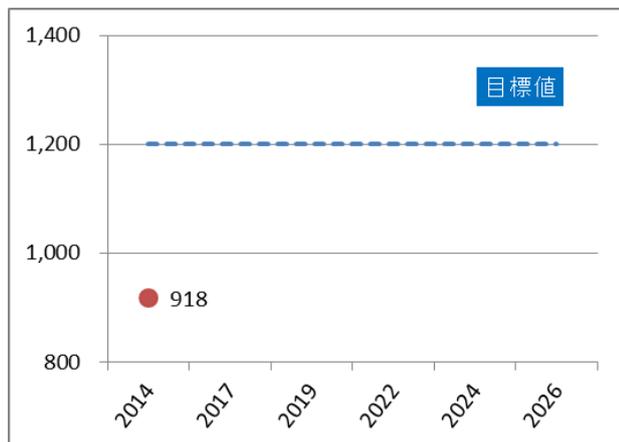
めざすべき姿

市内の商店・商店街が魅力的な商品販売することで、市内での消費が活発になっています。また、工場などの経営が安定し、地域経済が活性化しています。さらに、伝統工芸品が富田林ブランドとして多くの人に知られることで、伝統工芸品産業が次の世代にも引き継がれています。

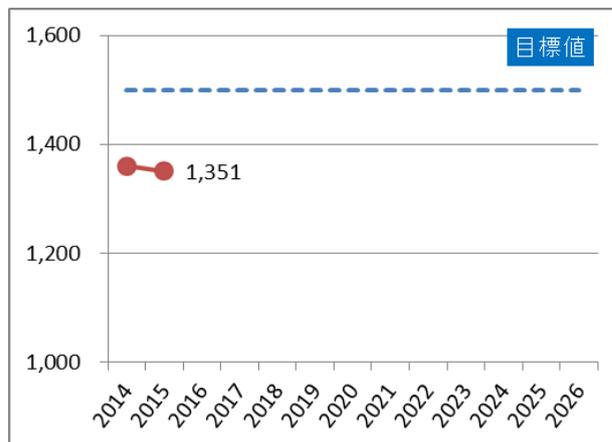
施策に関する指標

指標名	単位	現状値	目標値
① 年間商品販売額	億円	918 (2014年)	1,200 (2026年)
② 年間製造品出荷額	億円	1,351 (2015年)	1,500以上 (2026年)

①年間商品販売額



②年間製造品出荷額



目標実現のための主な施策・事業

事業名		担当課	計画期間における事業の方向性				
1	産業活性化事業	商工観光課	ものづくり企業の経営力・産業競争力の強化に向け、企業交流会やセミナー開催をはじめ、新製品や技術の研究・開発に対する補助・支援に引き続き取り組みます。				
		2018予算(千円)					
		6,310					
		区分(対前年度)	成果指標	単位	2020年度	目標値	20
		継続	セミナー参加者数	社	2017年度	目標値	20
				実績値	-		
事業名		担当課	計画期間における事業の方向性				
2	商業活性化総合支援事業	商工観光課	市内の中小小売業者で構成される団体による、商店街の魅力向上等の商業活性化に向けた事業に対し、引き続き経費の一部補助に取り組みます。				
		2018予算(千円)					
		3,600					
		区分(対前年度)	成果指標	単位	2020年度	目標値	252
		継続	商店会会員数	人	2017年度	目標値	246
				実績値	246		

分野別施策3 魅力のあるまちのにぎわいづくり

(1) 産業活性化によるにぎわいの創出

個別施策

18

農業の活性化

基本的な方向

6次産業化や農産物特産品のブランド化等による生産価値の向上や、新規就農者・後継者の確保に向けた取組を進めるとともに、商工業や観光との連携による地域の活性化を図り、農業の成長産業化を推進します。

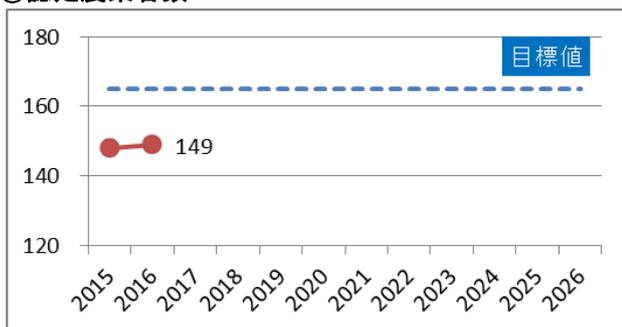
めざすべき姿

農産物の特産品がブランドとして、販売される場所や量が増えることで、多くの人々が、本市の新鮮・安全で美味しい農産物を味わうことができます。また、農業に携わる人や、新たに農業をはじめたい人への支援が行き届き、農業が地域の産業として維持されています。さらに、農を活かした体験や交流に参加する場があることで、市民にとって農業が身近なものとして感じられるまちとなっています。

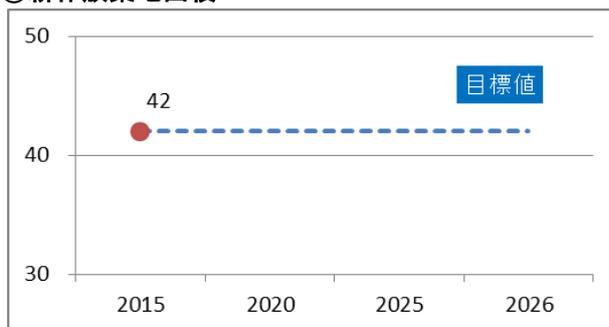
施策に関する指標

指標名	単位	現状値	目標値
① 認定農業者数	人	149 (2016年度)	165 (2026年度)
② 耕作放棄地面積	ha	42 (2015年)	42 (2026年)
③ 市民農園の開設面積	m ²	44,849 (2016年度)	50,000 (2026年度)

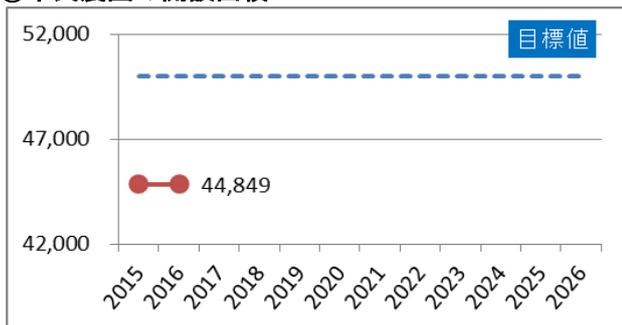
①認定農業者数



②耕作放棄地面積



③市民農園の開設面積



目標実現のための主な施策・事業

事業名	担当課	計画期間における事業の方向性				
1 中核農家総合支援事業	農業振興課	農家の高齢化や農家数の減少が進む中、担い手となる国版認定農業者の発掘に取り組むとともに、大阪版認定農業者における農業経営計画の実現に向けた支援を行います。また、農業への新規参入者や企業参入を促進し、多様な担い手の育成を図ることで、地域農業の維持発展に努めます。				
	2018予算(千円)					
	187					
	区分(対前年度)	成果指標	単位	2020年度	目標値	79
	継続	大阪版認定農業者数(国版を除く)	人	2017年度	目標値	73
				実績値	-	
事業名	担当課	計画期間における事業の方向性				
2 農を活かした産業連携による仕事創出事業	農業振興課	新たな仕事の創出や農産物の消費拡大に向け、農・工・商の産業間連携により、特産のえび芋をはじめとする本市農産物を活用した名物料理や土産物等の開発・普及に取り組むとともに、富田林寺内町や農業公園サバーファーム等の観光資源と連携し、交流人口のさらなる獲得を図ります。				
	2018予算(千円)					
	10,800					
	区分(対前年度)	成果指標	単位	2020年度	目標値	10
	継続	本事業により創出された雇用者数	人	2017年度	目標値	-
				実績値	-	
事業名	担当課	計画期間における事業の方向性				
3 新規就農総合支援事業	農業振興課	農業の担い手の発掘・育成に向け、新規就農者への資金交付を行うとともに、交付終了後に国版認定農業者への誘導を図ります。				
	2018予算(千円)					
	11,542					
	区分(対前年度)	成果指標	単位	2020年度	目標値	10
	継続	新規参入の資金交付を受け、農業を継続している人(累計)	人	2017年度	目標値	9
				実績値	-	
事業名	担当課	計画期間における事業の方向性				
4 鳥獣野菜被害補助対策事業	農業振興課	イノシシ等による農作物被害防止のため、防護柵の設置補助に加え、新たに捕獲活動に対する支援を行います。				
	2018予算(千円)					
	5,549					
	区分(対前年度)	成果指標	単位	2020年度	目標値	40
	拡充	有害鳥獣(イノシシ)の農作物被害面積	a	2017年度	目標値	60
				実績値	-	

分野別施策3 魅力のあるまちのにぎわいづくり

(2) 多くの人が訪れるにぎわいの創出

個別施策

19

地域資源を活かした観光の振興

基本的な方向

市民や団体、民間事業者等との連携により、寺内町を中心とした歴史的資源や豊かな自然環境の観光面での有効活用を図るとともに、インバウンドの獲得に向けた環境整備や情報発信の強化、周辺の観光拠点との結び付けによる広域的な取組等、観光振興を推進します。

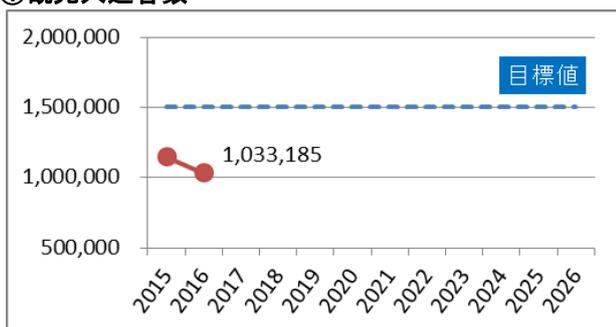
めざすべき姿

訪れ、ふれあい、感じることができる本市の歴史や自然の魅力が市内外に広く知られ、観光で訪れる人が増えています。また、外国語の案内などが整備されていることで、外国人観光客が本市の魅力を感じ、存分に楽しむことができるまちとなっています。

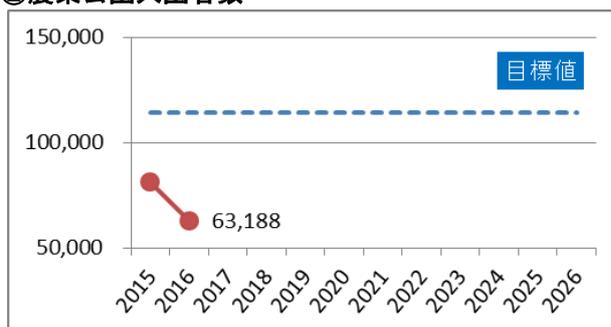
施策に関する指標

指標名	単位	現状値	目標値
① 観光入込客数	人	1,033,185 (2016年度)	1,500,000 (2026年度)
② 農業公園入園者数	人	63,188 (2016年度)	114,000 (2026年度)
③ 主要観光施設への外国人観光客数	人	1,017 (2016年度)	2,000 (2026年度)

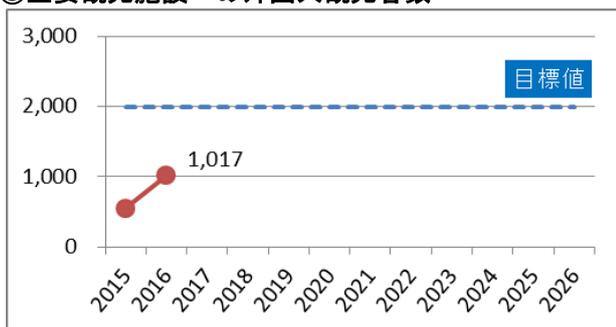
①観光入込客数



②農業公園入園者数



③主要観光施設への外国人観光客数



目標実現のための主な施策・事業

事業名		担当課	計画期間における事業の方向性				
1	農業公園管理運営事業	農業振興課	農業公園サバーファームにおける施設運営の自立性を高めるため、施設の魅力向上や集客力強化に向けた取組の研究を進めます。また、開園から25年を経過する中で、老朽化した施設の修繕・更新に取り組めます。				
		2018予算(千円)					
		113,903					
		区分(対前年度)	成果指標	単位	2020年度	目標値	102,000
		拡充	農業公園入園者数(有料)	人	2017年度	目標値	83,000
				実績値	-		
事業名		担当課	計画期間における事業の方向性				
2	観光振興事業	商工観光課	外国人観光客の増加や個人旅行の拡大等、観光需要の高まりに対応し、観光施策のさらなる推進を図るため、観光ビジョンの策定に取り組めます。また、交流人口のさらなる増加に向け、「金剛きらめきイルミネーション」を引き続き実施するとともに、地域イベントとの連携を図ります。				
		2018予算(千円)					
		13,557					
		区分(対前年度)	成果指標	単位	2020年度	目標値	1,500
		拡充	観光入込客数	千人	2017年度	目標値	1,300
				実績値	-		

分野別施策3 魅力のあるまちのにぎわいづくり

(2) 多くの人が訪れるにぎわいの創出

個別施策

20

人が集まる機会の創出

基本的な方向

文化・スポーツに関するイベントの開催や、地域主体で取り組むイベント等への支援を通じて、多くの人が集まる機会を創出し、市内外からの交流人口の増加を図ることで、地域のにぎわいづくりを推進します。

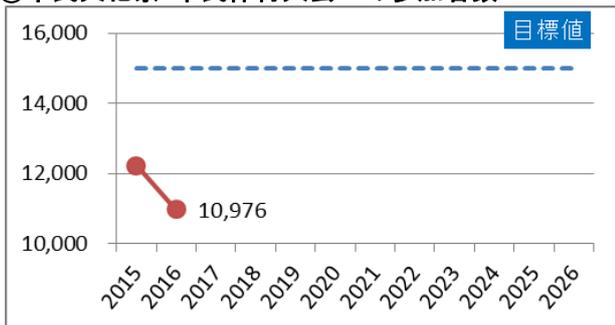
めざすべき姿

市民が文化・スポーツイベントなどに参加することで、さまざまな出会いや交流が生まれています。また、イベント等を地域が主催で行うことで、地域が元気になり、市内外から訪れた人たちに本市の魅力が伝わり、ふたたび訪れてみたい、住んでみたい、住み続けたいと思えるまちとなっています。

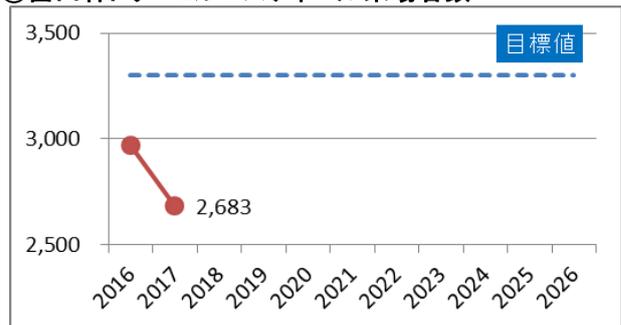
施策に関する指標

指標名	単位	現状値	目標値
① 市民文化祭・市民体育大会への参加者数	人	10,976 (2016年度)	15,000 (2026年度)
② 富田林ドリームフェスティバル来場者数	人	2,683 (2017年度)	3,300 (2026年度)
③ 地域主体のイベント来場者数	人	30,600 (2016年度)	34,000 (2026年度)

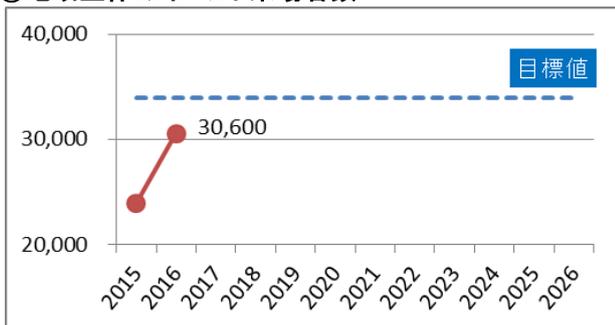
①市民文化祭・市民体育大会への参加者数



②富田林ドリームフェスティバル来場者数



③地域主体のイベント来場者数



目標実現のための主な施策・事業

事業名		担当課	計画期間における事業の方向性				
1	観光振興事業 (再掲)	商工観光課	外国人観光客の増加や個人旅行の拡大等、観光需要の高まりに対応し、観光施策のさらなる推進を図るため、観光ビジョンの策定に取り組みます。また、交流人口のさらなる増加に向け、「金剛きらめきイルミネーション」を引き続き実施するとともに、地域イベントとの連携を図ります。				
		2018予算(千円)					
		13,557					
		区分(対前年度)	成果指標	単位	2020年度	目標値	30,900
		拡充	地域主体のイベント来場者数 (じないまち四季物語・金剛バル)	人	2017年度	目標値	27,600
実績値	-						
事業名		担当課	計画期間における事業の方向性				
2	市民スポーツ活動推進事業(再掲)	生涯学習課	市民体育大会や市民マラソン大会等、多くの市民が幅広く参加できる事業を引き続き実施するとともに、「富田林ドリームフェスティバル」を近隣市町村との広域連携により開催し、市民のスポーツに対する関心を高め、スポーツによる地域活性化とスポーツを楽しむことができる環境づくり・地域づくりを進めます。				
		2018予算(千円)					
		4,983					
		区分(対前年度)	成果指標	単位	2020年度	目標値	3,050
		継続	富田林ドリームフェスティバル来場者数	人	2017年度	目標値	2,980
実績値	2,683						
事業名		担当課	計画期間における事業の方向性				
3	すばるホール管理運営事業	生涯学習課	すばるホールにおける安全・快適な施設運営に取り組むとともに、芸術鑑賞機会の提供や各種イベントの開催などを通じて、市民文化の振興を図ります。				
		2018予算(千円)					
		231,255					
		区分(対前年度)	成果指標	単位	2020年度	目標値	260,000
		継続	すばるホール施設利用者数	人	2017年度	目標値	260,000
実績値	-						

分野別施策4 安全・安心で美しく快適なまちづくり

(1) 安全・安心な暮らしの確保

個別施策

21

防災対策の推進

基本的な方向

防災訓練等を通じた市民の防災意識の高揚や、自主防災組織等の設置促進などにより、地域防災力の向上を図るとともに、情報伝達手段の確保や、食料品・生活必需品等の備蓄、耐震化を進めるなど、災害に強いまちづくりを推進します。

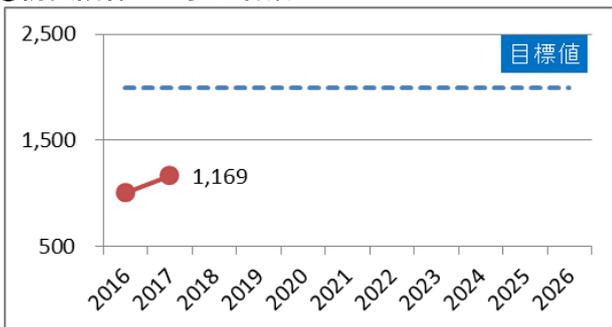
めざすべき姿

市民が防災訓練に積極的に参加し、家庭で食料を備蓄するなど、災害発生に備えた取組が地域に根付いています。また、避難所や防災拠点となる公共施設、民間住宅の耐震化が進んでいるほか、地域ごとに自主防災組織があり、災害時に自力で避難することが困難な人を支援するしくみが整い、災害に強く安全・安心なまちとなっています。

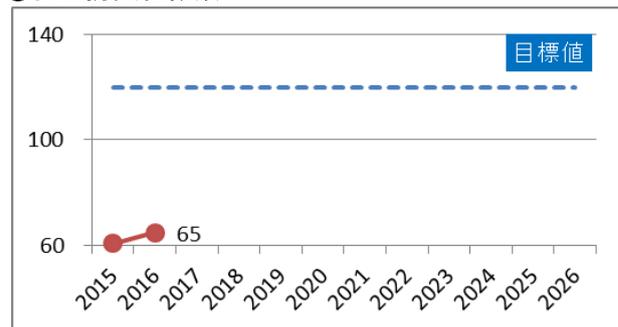
施策に関する指標

指標名	単位	現状値	目標値
① 防災訓練への参加者数	人	1,169 (2017年度)	2,000 (2026年度)
② 自主防災組織数	組織	65 (2016年度)	120 (2026年度)
③ 避難行動要支援者地域支援組織数	組織	43 (2016年度)	62 (2026年度)

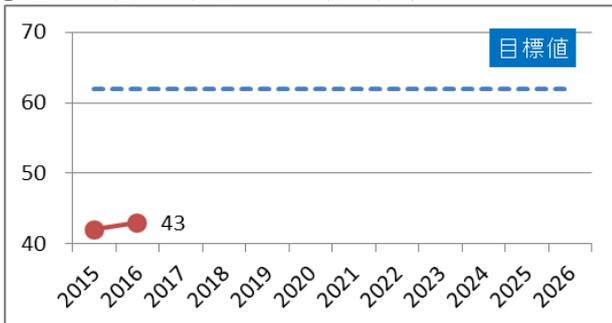
①防災訓練への参加者数



②自主防災組織数



③避難行動要支援者地域支援組織数



目標実現のための主な施策・事業

事業名	担当課	計画期間における事業の方向性					
1 防災対策事務	危機管理室	災害時に地域住民の生命や財産を守るため、実践的な総合防災訓練を実施するとともに、食料等の必要品目やブルーシート等を備蓄します。また、避難看板の更新や、地域で実施される防災訓練への補助、町会自治会単位の地域防災マップ作成支援を継続し、地域防災力の向上を図ります。さらに、避難者が災害情報を取得できるよう、公共施設等避難所へのテレビの整備を進めます。					
	2018予算(千円)						
	29,947	区分(対前年度)	成果指標	単位	2020年度	目標値	1,400
	拡充	富田林市防災訓練の参加者数	人	2017年度	目標値	1,100	
					実績値	1,169	
2 防災対策施設整備事業	危機管理室	河川浸水想定区域における情報伝達の強化を図るため、防災無線拡声子局を整備するとともに、本市の災害医療協力病院との災害時の連絡手段を確保するため、無線機を配備します。					
	2018予算(千円)						
	39,130	区分(対前年度)	成果指標	単位	2020年度	目標値	47
	拡充	防災無線拡声子局数	基	2017年度	目標値	44	
					実績値	-	
3 避難行動要支援者支援対策事業	地域福祉課	災害に強い地域づくりを進めるため、引き続き避難行動要支援者名簿の作成や地域支援組織の設置促進に取り組みます。					
	2018予算(千円)						
	781	区分(対前年度)	成果指標	単位	2020年度	目標値	50
	継続	避難行動要支援者地域支援組織数	組織	2017年度	目標値	48	
					実績値	-	
4 既存民間建築物耐震化推進事業	住宅政策課	市民の生命や財産を守るため、民間建物の耐震診断や耐震改修に係る費用の補助を行うとともに、さらなる耐震化の促進に向けた啓発等を進めます。					
	2018予算(千円)						
	13,152	区分(対前年度)	成果指標	単位	2020年度	目標値	89
	継続	市内住宅の耐震化率	%	2017年度	目標値	85.4	
					実績値	-	
5 常備消防活動事業	警備救急課	災害に強い地域づくりに向け、自主防災組織に対する消防訓練等の活動支援を行うことで、組織の充実や活性化を促進するとともに、さらなる組織の設置に向けた取組を進めます。また、ドローンの活用により、災害状況等の情報収集を行い、迅速で安全な消防活動による減災活動に努めます。さらに、全市立小学校への救急授業や、市民への応急手当の普及啓発に引き続き取り組みます。					
	2018予算(千円)						
	46,575	区分(対前年度)	成果指標	単位	2020年度	目標値	84
	継続	自主防災組織数	組織	2017年度	目標値	66	
					実績値	-	

目標実現のための主な施策・事業

事業名		担当課	計画期間における事業の方向性				
6	小学校防災機能強化事業	教育総務課	児童の安全・安心な学習環境の整備や、災害発生時における地域の避難所としての安全性確保を図るため、照明器具等の落下防止対策など、市立小学校の屋内運動場における非構造部材の耐震化を進めるとともに、内外装の老朽化対策についても取組を進めます。				
		2018予算(千円)					
		93,600					
		区分(対前年度)	成果指標	単位	2020年度	目標値	100
		継続	屋内運動場非構造部材耐震化率	%	2017年度	目標値	35.2
7	中学校防災機能強化事業	教育総務課	生徒の安全・安心な学習環境の整備や、災害発生時における地域の避難所としての安全性確保を図るため、照明器具等の落下防止対策など、市立中学校の屋内運動場における非構造部材の耐震化を進めるとともに、内外装の老朽化対策についても取組を進めます。				
		2018予算(千円)					
		74,700					
		区分(対前年度)	成果指標	単位	2020年度	目標値	100
		継続	屋内運動場非構造部材耐震化率	%	2017年度	目標値	30.0

分野別施策4 安全・安心で美しく快適なまちづくり

(1) 安全・安心な暮らしの確保

個別施策

22

防犯対策の推進

基本的な方向

市民や関係団体、警察等との連携を強化し、市民一人ひとりの防犯意識の向上を図るとともに、地域ぐるみでの見守り体制の強化や防犯環境の整備により、犯罪のない地域づくりを推進します。

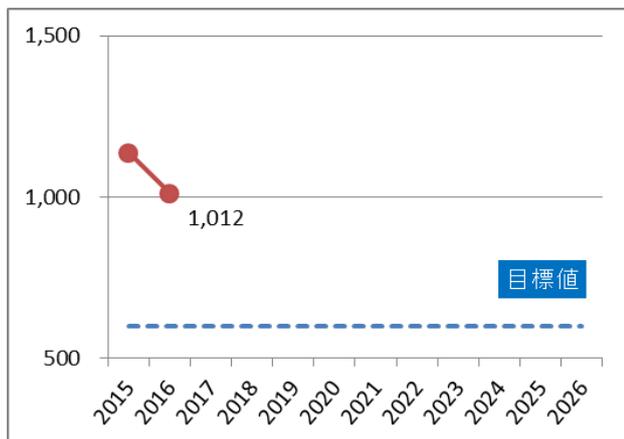
めざすべき姿

市民が子どもの見守り活動や地域主体の防犯活動に積極的に参加することで、地域の防犯力が高まっています。また、地域で犯罪を防ぐための環境が整備され、誰もが安心して暮らせるまちとなっています。

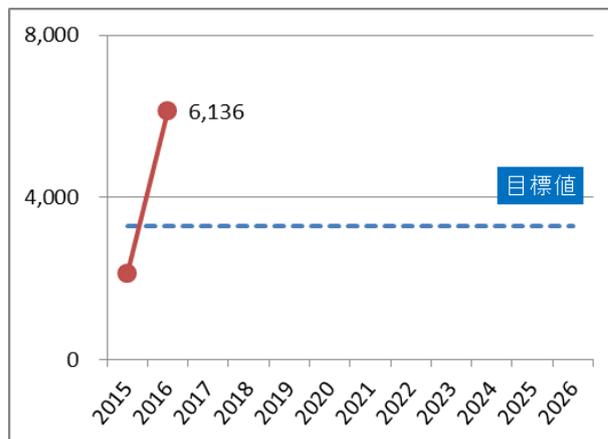
施策に関する指標

指標名	単位	現状値	目標値
① 犯罪認知件数	件	1,012 (2016年)	600 (2026年)
② 防犯教室への参加者数	人	6,136 (2016年度)	3,300 (2026年度)

①犯罪認知件数



②防犯教室への参加者数



目標実現のための主な施策・事業

事業名	担当課	計画期間における事業の方向性				
1 防犯対策事業	総務課	地域防犯力のさらなる向上に向け、防犯委員会等との連携強化を図るとともに、防犯教室や街頭キャンペーンを通じた市民防犯意識の高揚に取り組みます。また、青色回転灯パトロールカー運行助成金の制度周知に努め、全小学校区における地域参加型の取組を促進します。				
	2018予算(千円)					
	6,018					
	区分(対前年度)	成果指標	単位	2020年	目標値	897
	継続	犯罪認知件数	件	2017年	目標値	1,041
				実績値	-	
事業名	担当課	計画期間における事業の方向性				
2 防犯灯補助事業	市民協働課	町会・自治会が設置する防犯灯の設置等に関する経費を引き続き補助するとともに、LED化を促進します。				
	2018予算(千円)					
	39,323					
	区分(対前年度)	成果指標	単位	2020年度	目標値	10,981
	継続	防犯灯市内全灯数	灯	2017年度	目標値	10,829
				実績値	10,853	
事業名	担当課	計画期間における事業の方向性				
3 地縁団体防犯カメラ整備補助事業	市民協働課	安全・安心のまちづくりに向け、町会・自治会が設置する防犯カメラの設置に関する経費を引き続き補助します。				
	2018予算(千円)					
	10,000					
	区分(対前年度)	成果指標	単位	2020年度	目標値	165
	継続	町会等による防犯カメラ総設置台数	台	2017年度	目標値	111
				実績値	114	

分野別施策4 安全・安心で美しく快適なまちづくり

(1) 安全・安心な暮らしの確保

個別施策

23

消防・救急体制の強化

基本的な方向

緊急時における迅速・的確な対応により、市民の生命・身体・財産を守るため、消防・救急体制の充実を図るとともに、関係団体等との連携強化や、地域での啓発活動を通じて、市民の防火意識高揚や応急手当等の知識普及を推進します。

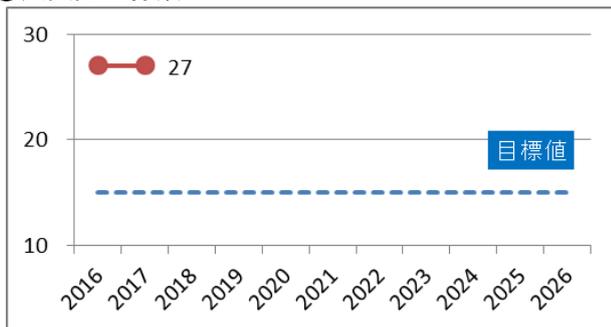
めざすべき姿

消防・救急体制が強化され、災害時も含めて安心できるまちとなっています。また、多くの方が消防団活動や消防訓練に参加することで、防火意識や地域の消防力が高まっています。さらに、子どもの頃から救急講習等を受け、緊急時に的確に対応できる市民が育ったまちとなっています。

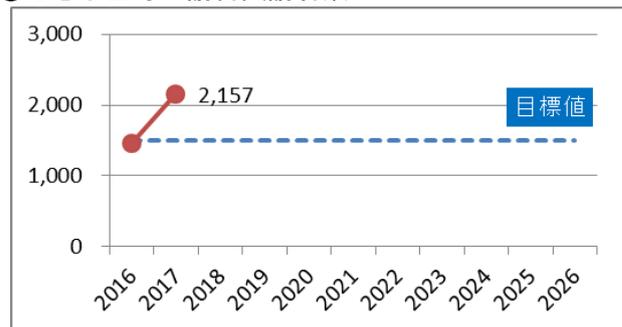
施策に関する指標

指標名	単位	現状値	目標値
① 火災発生件数	件	27 (2017年)	15 (2026年)
② 応急手当等の講習受講者数	人	2,157 (2017年)	1,500 (2026年)
③ 救急授業を実施している小学校数	校	16 (2017年度)	16(全市立小学校) (2026年度)

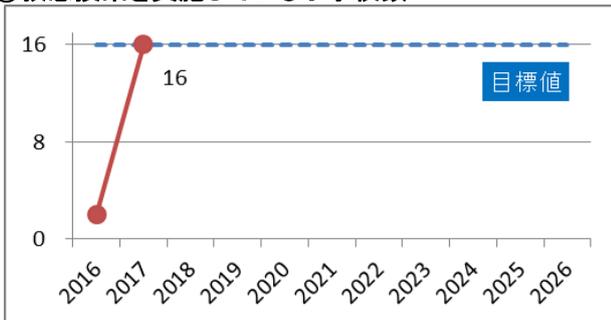
①火災発生件数



②応急手当等の講習受講者数



③救急授業を実施している小学校数



目標実現のための主な施策・事業

事業名	担当課	計画期間における事業の方向性				
1 非常備消防事業	消防総務課	地域防災の要となる消防団の活動支援を行い、地域防災力のさらなる強化を図ります。				
	2018予算(千円)					
	25,106					
	区分(対前年度)	成果指標	単位	2020年度	目標値	-
	継続	-	-	2017年度	目標値	-
				実績値	-	
事業名	担当課	計画期間における事業の方向性				
2 火災予防事業	予防課	防火標語の募集等により、市民の防火意識の高揚に努めるとともに、火災予防に向け、住宅用火災警報器と感震ブレーカーの設置・維持管理を促進します。また、重大違反対象物の早期是正を図るとともに、違反対象物の公表制度を活用し、市民の安心・安全の確保に努めます。				
	2018予算(千円)					
	1,149					
	区分(対前年度)	成果指標	単位	2020年	目標値	21
	拡充	火災発生件数	件	2017年	目標値	25
				実績値	27	
事業名	担当課	計画期間における事業の方向性				
3 消防施設整備事業	消防総務課	消防庁舎や消防団車庫、消防・救急車両の計画的な整備に取り組みます。また、2018年度においては、老朽化の進む金剛分署の改修工事を実施し、地域の消防防災拠点として整備します。				
	2018予算(千円)					
	63,984					
	区分(対前年度)	成果指標	単位	2020年度	目標値	-
	拡充	-	-	2017年度	目標値	-
				実績値	-	
事業名	担当課	計画期間における事業の方向性				
4 常備消防活動事業(再掲)	警備救急課	災害に強い地域づくりに向け、自主防災組織に対する消防訓練等の活動支援を行うことで、組織の充実や活性化を促進するとともに、さらなる組織の設置に向けた取組を進めます。また、ドローンの活用により、災害状況等の情報収集を行い、迅速で安全な消防活動による減災活動に努めます。さらに、全市立小学校への救急授業や、市民への応急手当の普及啓発に引き続き取り組みます。				
	2018予算(千円)					
	46,575					
	区分(対前年度)	成果指標	単位	2020年度	目標値	-
	継続	-	-	2017年度	目標値	-
				実績値	-	

分野別施策4 安全・安心で美しく快適なまちづくり

(2) 快適に暮らせる環境づくり

個別施策

24

快適な都市空間づくり

基本的な方向

富田林らしいまち並みを将来に引き継ぐことができる、計画的な土地利用を推進するとともに、地域の実情に応じた活性化を図り、すべての市民が快適に暮らせるまちづくりを進めます。

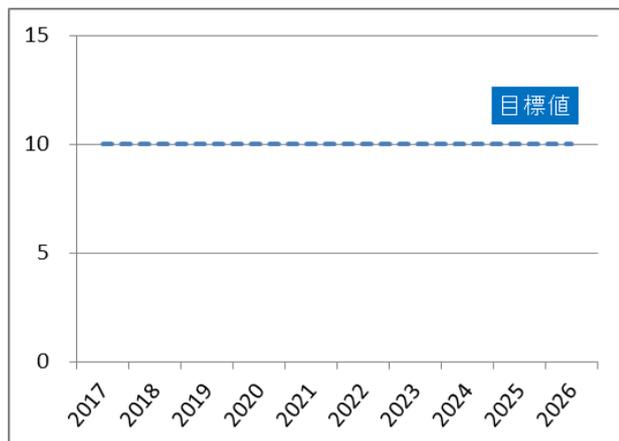
めざすべき姿

良好な住環境や景観等が整い、地域ごとの特性を活かしたまちづくりが行われることで、市民が憩い、暮らしやすさを感じる、富田林らしいまち並みが形成されています。

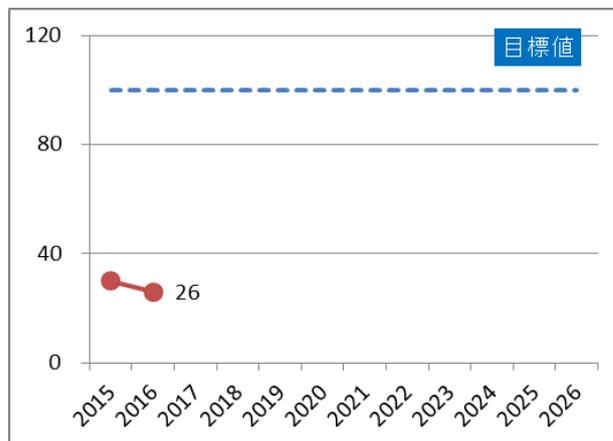
施策に関する指標

指標名	単位	現状値	目標値
① 金剛地区における住民主体の活動数	件	-	10 (2026年度)
② 景観について考える機会への参加者数	人	26 (2016年度)	100 (2026年度)

①金剛地区における住民主体の活動数



②景観について考える機会への参加者数



目標実現のための主な施策・事業

事業名		担当課	計画期間における事業の方向性					
1	都市計画管理事務	まちづくり推進課	都市計画の基本的な指針である都市計画マスタープランを改定し、計画的なまちづくりを推進します。また、広域幹線道路沿い等の市街化調整区域においては、地区の特性にふさわしい良好な都市環境の形成を図るよう、集客施設の立地など、有効な土地利用を検討します。さらに、景観まちづくりに関する市民意識の向上に向け、講座等の開催に引き続き取り組みます。					
		2018予算(千円)						
		6,215	区分(対前年度)	成果指標	単位	2020年度	目標値	6
		継続	都市計画決定の数(市街化調整区域における地区計画)	件	2017年度	目標値	5	
						実績値	5	
2	金剛地区再生指針推進事業	まちづくり推進課	金剛地区再生指針に基づき、住民等が主体となったソフト面の取組を活性化し、地区の魅力向上を図るとともに、住宅問題や都市機能の再整備など、ハード整備の方向性についても検討を進めます。					
		2018予算(千円)						
		2,699	区分(対前年度)	成果指標	単位	2020年度	目標値	4
		継続	金剛地区における住民主体(金剛地区まちづくり会議)の活動数	件	2017年度	目標値	1	
						実績値	-	

分野別施策4 安全・安心で美しく快適なまちづくり

(2) 快適に暮らせる環境づくり

個別施策

25

暮らしを支える都市基盤の整備

基本的な方向

老朽化が進む道路・上下水道等の都市基盤について、計画的な維持管理・更新に取り組むとともに、災害発生時の備えとしての耐震化や、上下水道事業の経営安定化に向けた取組を推進します。

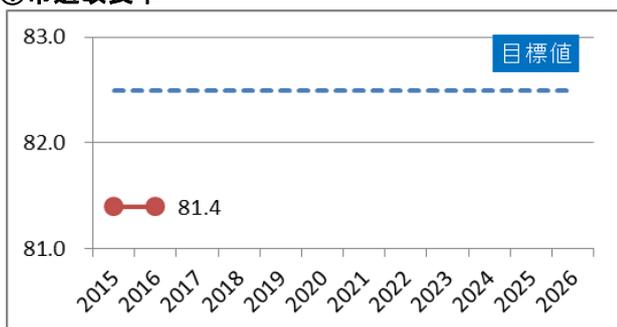
めざすべき姿

安全でアクセス性の良い道路や、安全で安心な水、生活排水処理施設を利用することで、市民が暮らしの中で快適さを感じることができる生活環境が整ったまちとなっています。

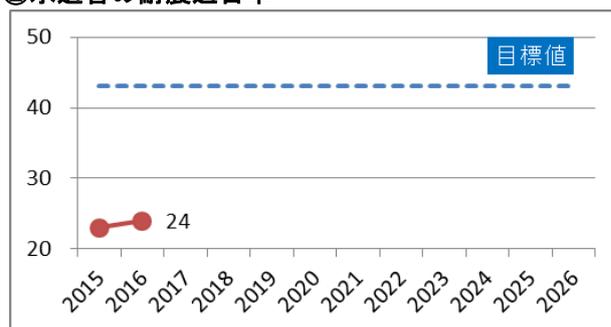
施策に関する指標

指標名	単位	現状値	目標値
① 市道改良率	%	81.4 (2016年度)	82.5 (2026年度)
② 水道管の耐震適合率	%	24 (2016年度)	43 (2026年度)
③ 下水道普及率	%	89.8 (2016年度)	96.5 (2026年度)

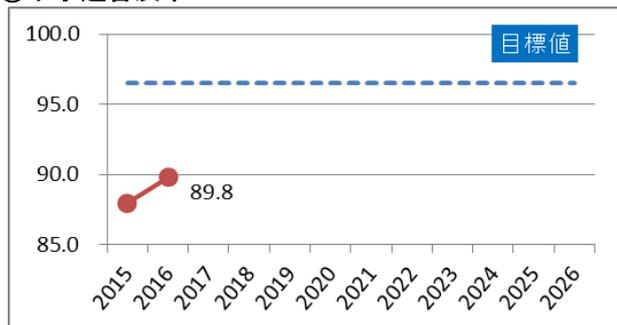
①市道改良率



②水道管の耐震適合率



③下水道普及率



目標実現のための主な施策・事業

事業名	担当課	計画期間における事業の方向性				
1 広域幹線道路調査事務	道路交通課	八尾富田林線の早期整備や、大阪南部高速道路、狭山河南線の事業化促進に向け、関係機関と連携しながら取組を進めます。				
	2018予算(千円)					
	79					
	区分(対前年度)	成果指標	単位	2020年度	目標値	-
	継続	-	-	2017年度	目標値	-
				実績値	-	
事業名	担当課	計画期間における事業の方向性				
2 橋梁維持補修事業	道路交通課	2017年度に実施した市内橋梁の総点検結果に基づき、橋梁の計画的な整備を進めます。				
	2018予算(千円)					
	54,646					
	区分(対前年度)	成果指標	単位	2020年度	目標値	17
	拡充	橋梁長寿命化対策進捗率	%	2017年度	目標値	7
				実績値	-	
事業名	担当課	計画期間における事業の方向性				
3 桜井1号線鉄道高架事業	道路交通課	府道美原太子線(粟ヶ池バイパス)の早期完成に向け、近鉄長野線の鉄道高架事業に大阪府と共同で取り組み、2018年に暫定踏切による供用開始をめざします。				
	2018予算(千円)					
	234,144					
	区分(対前年度)	成果指標	単位	2020年度	目標値	82
	継続	鉄道高架化工事の整備率	%	2017年度	目標値	27
				実績値	-	
事業名	担当課	計画期間における事業の方向性				
4 公共下水道維持管理事業	下水道課	下水道施設の適切な維持管理に努めるとともに、南河内4市町村における下水道事務の広域化・共同化により、適切な技術継承と効果的な事務体制の構築による市民サービスの向上に努めます。				
	2018予算(千円)					
	139,871					
	区分(対前年度)	成果指標	単位	2020年度	目標値	-
	継続	-	-	2017年度	目標値	-
				実績値	-	
事業名	担当課	計画期間における事業の方向性				
5 下水道普及促進事業	下水道課	公共下水道における未普及地の解消に向け、接続啓発や接続相談に取り組めます。				
	2018予算(千円)					
	1,080					
	区分(対前年度)	成果指標	単位	2020年度	目標値	96
	継続	水洗化率	%	2017年度	目標値	93
				実績値	-	

目標実現のための主な施策・事業

事業名	担当課	計画期間における事業の方向性				
6 浄化槽市町村整備推進事業	下水道課	BOD数値の高い浄化槽について、住民への使用状況の確認・指導や、市設置型浄化槽の適切な維持管理を実施し、水質向上に努めるとともに、本体不良については積極的な入替工事を行います。				
	2018予算(千円)					
	54,840					
	区分(対前年度)	成果指標	単位	2020年度	目標値	5.0
	継続	管理浄化槽排水BOD平均値	mg/l	2017年度	目標値	5.0
				実績値	-	
事業名	担当課	計画期間における事業の方向性				
7 流域関連公共下水道整備事業	下水道課	第2期長寿命化計画に基づき、PFI方式による民間活用の手法を検討しながら、管の更生・更新を進めます。また、雨天時における污水管への浸入水対策についても取組を進めます。				
	2018予算(千円)					
	736,544					
	区分(対前年度)	成果指標	単位	2020年度	目標値	94
	継続	下水道普及率	%	2017年度	目標値	91
				実績値	-	
事業名	担当課	計画期間における事業の方向性				
8 管路更新耐震化事業	水道工務課	水道事業財務及び事業計画に基づき、計画的な管路の更新・耐震化を進めます。				
	2018予算(千円)					
	861,974					
	区分(対前年度)	成果指標	単位	2020年度	目標値	32
	継続	水道管の耐震適合率	%	2017年度	目標値	27
				実績値	-	
事業名	担当課	計画期間における事業の方向性				
9 アセットマネジメントに基づいた施設の機能維持	水道工務課	水道事業財務及び事業計画において抽出した更新対象設備について、点検記録・事故記録及び修繕履歴等の分析によるアセットマネジメントのレベルアップを図り、実態に即した更新基準年数の見直しを検討するとともに、結果に基づく施設の更新に取り組みます。また、配水池については、劣化調査結果に基づく塗装を行い、予防保全による長寿命化を図ります。				
	2018予算(千円)					
	374,784					
	区分(対前年度)	成果指標	単位	2020年度	目標値	71.2
	継続	法定耐用年数超過設備率	%	2017年度	目標値	68.5
				実績値	-	

分野別施策4 安全・安心で美しく快適なまちづくり

(2) 快適に暮らせる環境づくり

個別施策

26

住宅政策の推進

基本的な方向

誰もが安心して快適に住み続けられる良好な住環境づくりを推進するとともに、市営住宅の計画的な建替えや改修、空き家の適正管理や有効活用、移住・定住者のさらなる確保に向けた取組を推進します。

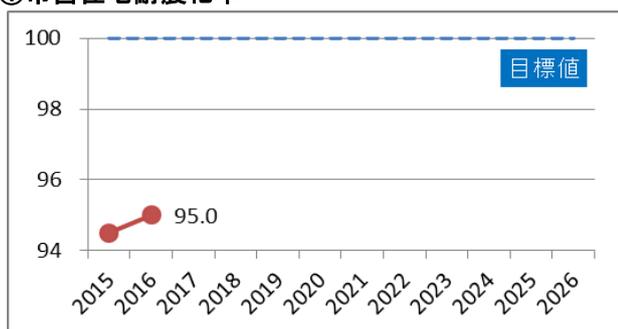
めざすべき姿

若い世代から高齢者まで、あらゆる世代の市民が暮らしやすい良好な住環境となっており、暮らしの場としての魅力が高まっていることで、市外の人にとっては移住先として、市民にとっては定住の地として、本市を選ぶ人が増えています。

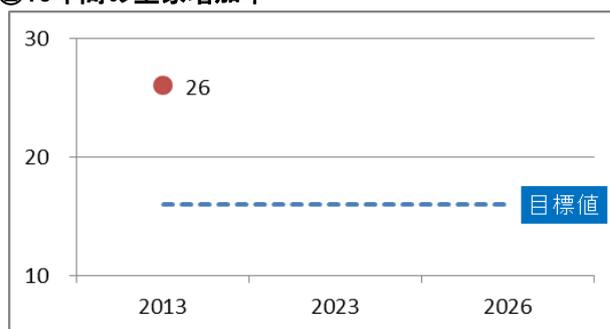
施策に関する指標

指標名	単位	現状値	目標値
① 市営住宅耐震化率	%	95.0 (2016年度)	100 (2026年度)
② 10年間の空家増加率	%	26 (2013年)	16 (2026年度)
③ 年間転出超過人数	人	535 (2016年度)	0 (2026年度)

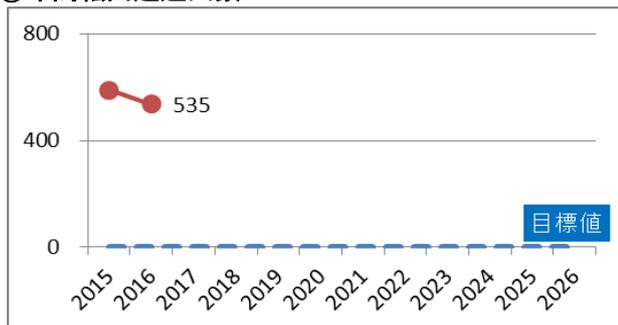
①市営住宅耐震化率



②10年間の空家増加率



③年間転出超過人数



目標実現のための主な施策・事業

事業名		担当課	計画期間における事業の方向性				
1	近居同居促進事業	住宅政策課	親世帯との近居・同居を目的とした住宅取得に対する補助を引き続き行うことで、市内への移住・定住を促進するとともに、子育てや介護等において、親子世帯で支え合い、互いに安心して暮らせる環境づくりにつなげます。				
		2018予算(千円)					
		39,881					
		区分(対前年度)	成果指標	単位	2020年度	目標値	200
		継続	本給付金制度を活用された転入世帯数	世帯	2017年度	目標値	50
				実績値	-		
事業名		担当課	計画期間における事業の方向性				
2	空家対策事業	住宅政策課	空き家放置による周辺環境への悪影響を防ぐため、空き家の所有者に対して適正管理を促すとともに、その処遇についての意向調査を実施します。また、空き家対策に係る条例制定や、相続財産管理人選任申立の活用など、本市独自の空き家対策を推進します。				
		2018予算(千円)					
		7,710					
		区分(対前年度)	成果指標	単位	2020年度	目標値	6
		拡充	空家増加率(過去の増加率を抑制する指標)	%	2017年度	目標値	2
				実績値	-		
事業名		担当課	計画期間における事業の方向性				
3	若松地区公共施設再整備事業	住宅政策課	若松地区における老朽化した市営住宅の第2期建替工事を引き続き進めます。				
		2018予算(千円)					
		1,389,450					
		区分(対前年度)	成果指標	単位	2020年度	目標値	100
		継続	若松地区における市営住宅建替進捗率	%	2017年度	目標値	-
				実績値	42		

分野別施策4 安全・安心で美しく快適なまちづくり

(2) 快適に暮らせる環境づくり

個別施策

27

交通政策の推進

基本的な方向

高齢者をはじめ、誰もが利用しやすい公共交通網の形成や、移動しやすい環境づくりのためのバリアフリー化を進めるとともに、交通マナーの啓発や、交通安全対策の充実に向けた取組を推進します。

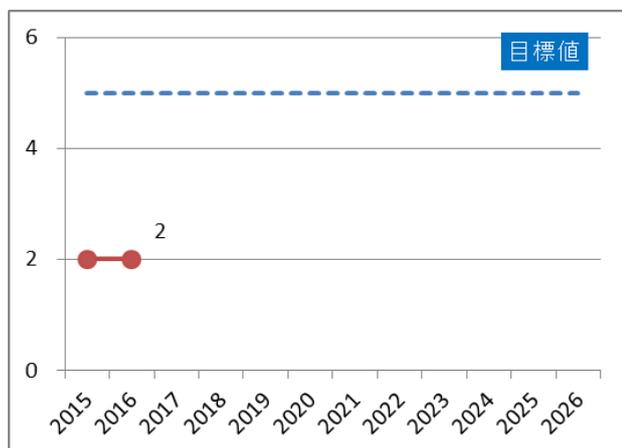
めざすべき姿

市内の電車・バスなどの公共交通等の利用が活発になり、交通環境のバリアフリー化が進むことで、誰にとっても利用しやすく、移動しやすいまちとなっています。また、市民の交通マナーや安全意識が高まり、交通事故が起りにくいまちとなっています。

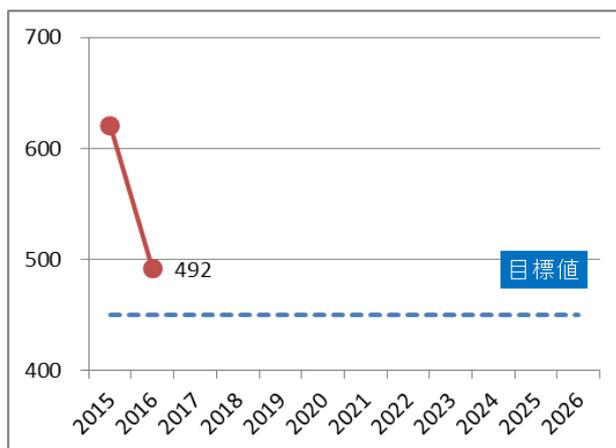
施策に関する指標

指標名	単位	現状値	目標値
① 地域交通サービスに取り組む団体数	団体	2 (2016年度)	5 (2026年度)
② 交通事故件数	件	492 (2016年度)	450 (2026年度)

①地域交通サービスに取り組む団体数



②交通事故件数



目標実現のための主な施策・事業

事業名	担当課	計画期間における事業の方向性				
1 レインボーバス 等運行事業	道路交通課	レインボーバス車両を更新するとともに、交通不便地域や公共施設へのアクセス等も含め、将来のコミュニティバスのあり方について、利用者・市民の意見等も踏まえながら、検討を行います。				
	2018予算(千円)					
	18,434					
	区分(対前年度)	成果指標	単位	2020年度	目標値	57
	拡充	コミュニティバス(レインボーバス)利用者数	千人	2017年度	目標値	57
				実績値	-	
事業名	担当課	計画期間における事業の方向性				
2 放置自転車等防 止対策事業	道路交通課	放置自転車の撤去等に係る業務委託内容の見直しを行い、財政負担の縮減に取り組むとともに、良好な都市環境の確保に向け、市民との協働による放置自転車対策の手法について検討を進めます。				
	2018予算(千円)					
	6,711					
	区分(対前年度)	成果指標	単位	2020年度	目標値	28,000
	見直し	自転車駐車場利用台数	台	2017年度	目標値	28,000
				実績値	-	
事業名	担当課	計画期間における事業の方向性				
3 交通政策検討事 務事業	道路交通課	モータリゼーションの進展や人口減少の進行に伴い公共交通の衰退が進む一方で、高齢化のさらなる進行に伴い移動に困難を抱える人の増加が懸念される中、地域住民が主体となった地域公共交通の取組支援やきっかけづくりの場として地域勉強会を開催します。また、既存公共交通網の維持に向け、交通会議による交通事業者等との協議を継続します。				
	2018予算(千円)					
	1,218					
	区分(対前年度)	成果指標	単位	2020年度	目標値	2,437
	継続	路線バス乗降者数(近鉄バス・南海バス)	千人	2017年度	目標値	2,437
				実績値	-	
事業名	担当課	計画期間における事業の方向性				
4 交通等バリアフ リー基本構想推 進事業	まちづくり推進課	高齢者や障がい者、妊婦、ベビーカー等を使用する子育て中の人などが安心して移動できるよう、市内全駅のバリアフリー化に向けて、近鉄川西駅の整備を事業者とともに進めます。				
	2018予算(千円)					
	4,772					
	区分(対前年度)	成果指標	単位	2020年度	目標値	100
	拡充	バリアフリー化された市内の鉄道駅舎の割合	%	2017年度	目標値	85
				実績値	-	

分野別施策4 安全・安心で美しく快適なまちづくり

(3) 環境にやさしく美しい地域づくり

個別施策

28

低炭素社会の構築

基本的な方向

低炭素社会の実現に向けた取組を全市的に進めるため、省エネルギー化やクリーンエネルギーの利用促進、4Rの推進等、環境負荷の少ない地域づくりを進めるとともに、市民や事業所等との協働により、環境美化に向けた取組を推進します。

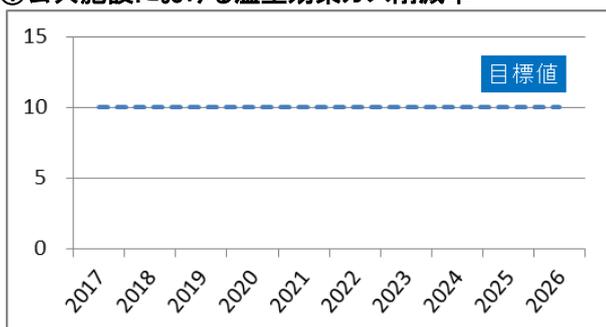
めざすべき姿

市民や事業所が省エネルギー化やクリーンエネルギーの利用、ごみの減量やリサイクルに取り組み、市全体で環境に配慮した地球にやさしい暮らし方や事業活動が行われています。また、多くの市民が市内の河川などの自然環境を美化する活動に参加しており、まちの美しさが維持されています。

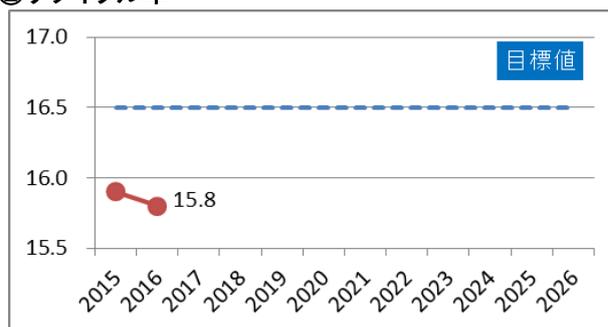
施策に関する指標

指標名	単位	現状値	目標値
① 公共施設における温室効果ガス削減率	%	-	10 (2026年度)
② リサイクル率	%	15.8 (2016年度)	16.5 (2026年度)
③ 石川大清掃への参加者数	人	6,683 (2016年度)	7,000 (2026年度)

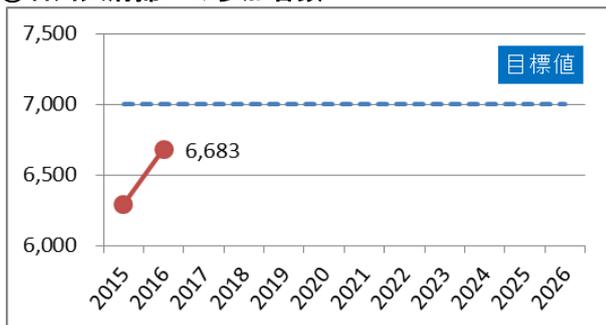
①公共施設における温室効果ガス削減率



②リサイクル率



③石川大清掃への参加者数



目標実現のための主な施策・事業

事業名		担当課	計画期間における事業の方向性				
1	公害対策事業	みどり環境課	低炭素社会の構築に向け、第4次地球温暖化対策実行計画の策定に取り組むとともに、家庭用燃料電池エネファームや住宅用太陽光発電システムの設置に対して引き続き補助を行い、クリーンエネルギーの利用を促進します。				
		2018予算(千円)					
		22,997					
		区分(対前年度)	成果指標	単位	2020年度	目標値	261
		拡充	太陽光発電システム及び家庭用燃料電池(エネファーム)の設置費補助金交付件数	件	2017年度	目標値	241
				実績値	-		
事業名		担当課	計画期間における事業の方向性				
2	環境美化推進事業	みどり環境課	「環境にやさしく美しい地域づくり」の実現に向け、石川大清掃の開催をはじめ、市民や団体、事業所等との協働による環境美化活動を推進します。				
		2018予算(千円)					
		913					
		区分(対前年度)	成果指標	単位	2020年度	目標値	-
		継続	-	-	2017年度	目標値	-
				実績値	-		
事業名		担当課	計画期間における事業の方向性				
3	ごみ減量対策事業	衛生課	ごみの減量に向け、引き続きリユース展等の啓発活動に取り組み、市民意識の向上を図ります。				
		2018予算(千円)					
		6,875					
		区分(対前年度)	成果指標	単位	2020年度	目標値	16.2
		継続	リサイクル率	%	2017年度	目標値	15.9
				実績値	-		

分野別施策4 安全・安心で美しく快適なまちづくり

(3) 環境にやさしく美しい地域づくり

個別施策

29

自然・歴史環境の保全

基本的な方向

過去から受け継がれてきた豊かな自然環境や歴史的資源を、将来へ継承していくため、市民や団体等との協働による保全活動などに取り組むとともに、身近な緑の維持・管理を進めます。

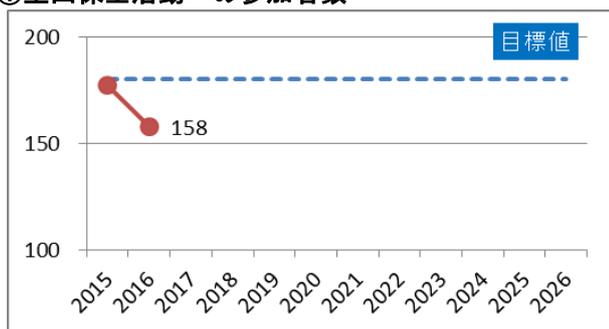
めざすべき姿

多くの市民が自然を守る活動や身近な緑化活動、文化財などの歴史・文化を保護する活動に参加しており、誰もが豊かな自然・歴史・文化にふれ、癒しを感じながら暮らすことができるまちとなっています。

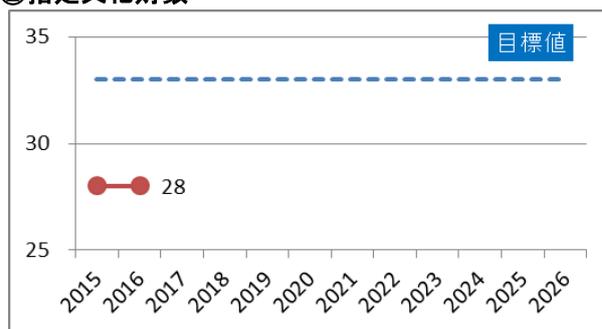
施策に関する指標

指標名	単位	現状値	目標値
① 里山保全活動への参加者数	人	158 (2016年度)	180以上 (2026年度)
② 指定文化財数	件	28 (2016年度)	33 (2026年度)
③ 市民一人あたりの公園面積	m ² /人	16.1 (2017年度)	16.3 (2026年度)

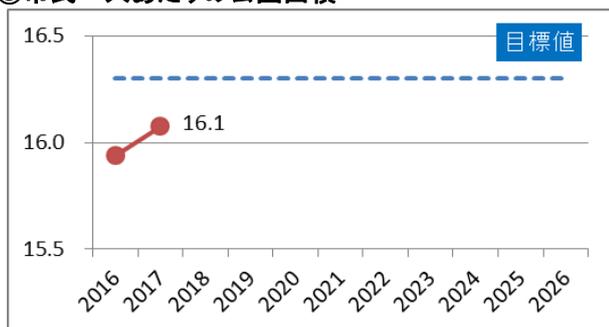
①里山保全活動への参加者数



②指定文化財数



③市民一人あたりの公園面積



目標実現のための主な施策・事業

事業名	担当課	計画期間における事業の方向性				
1 街路樹管理事業	道路交通課	街路樹の適切な維持管理に取り組むとともに、2017年度に実施した街路樹健全度調査の結果に基づき、倒木の危険がある街路樹の伐採を行います。				
	2018予算(千円)					
	96,600					
	区分(対前年度)	成果指標	単位	2020年度	目標値	0
	拡充	街路樹に関する苦情件数	件	2017年度	目標値	0
				実績値	-	
2 緑化推進一般管理事務	みどり環境課	豊かな自然環境を将来に引き継ぐため、緑の基本計画を改定します。				
	2018予算(千円)					
	6,073					
	区分(対前年度)	成果指標	単位	2020年度	目標値	-
	拡充	-	-	2017年度	目標値	-
				実績値	-	
3 グリーンハーモニー事業	みどり環境課	緑化フェアの開催等を通じ、緑の大切さへの関心を高め、緑豊かな富田林市を次世代へ引き継ぐことができるよう、市民の緑化意識の高揚に努めます。				
	2018予算(千円)					
	5,837					
	区分(対前年度)	成果指標	単位	2020年度	目標値	7,000
	継続	緑化フェアの延べ来園者数	人	2017年度	目標値	6,500
				実績値	7,000	
4 文化財管理事業	文化財課	文化財保護条例に基づき、市指定文化財の指定作業を進めます。また、市管理の文化財における説明看板について、計画的な修繕を行います。				
	2018予算(千円)					
	5,524					
	区分(対前年度)	成果指標	単位	2020年度	目標値	2
	継続	市指定文化財件数	件	2017年度	目標値	0
				実績値	-	
5 埋蔵文化財調査事業	文化財課	埋蔵文化財の保護や、発掘調査成果の記録保存を行います。また、大阪府等の関係機関と協議しながら、史跡新堂廃寺跡等の整備に向けた取組を進めます。				
	2018予算(千円)					
	8,610					
	区分(対前年度)	成果指標	単位	2020年度	目標値	5
	継続	埋蔵文化財調査実施件数	件	2017年度	目標値	5
				実績値	-	

目標実現のための主な施策・事業

事業名	担当課	計画期間における事業の方向性				
6 寺内町保存事業	文化財課	富田林寺内町全域における重要伝統的建造物群保存地区指定に向けた取組を進め、対象エリアの一体的な保存を図るとともに、地元関係団体と連携・協働を進めながら、伝建地区拡大に伴う啓発事業や興正寺別院修理に向けた取組を進めます。また、災害に強い地域づくりに向け、富田林寺内町に特化した防災計画の策定に取り組みます。				
	2018予算(千円)					
	4,739					
	区分(対前年度)	成果指標	単位	2020年度	目標値	12.9
	継続	重要伝統的建造物群保存地区の面積(国選定)	ha	2017年度	目標値	11.2
				実績値	-	
事業名	担当課	計画期間における事業の方向性				
7 寺内町整備事業	文化財課	重要伝統的建造物群保存地区内における伝統的建造物等の修理・修景を進めることで、歴史的な景観保全に努め、富田林寺内町の文化財的価値の向上を図ります。				
	2018予算(千円)					
	20,964					
	区分(対前年度)	成果指標	単位	2020年度	目標値	5
	継続	修理・修景物件の件数	件	2017年度	目標値	3
				実績値	-	
事業名	担当課	計画期間における事業の方向性				
8 街なみ環境整備事業	文化財課	富田林寺内町地区内における一般建造物の修景を進めることで、歴史的な景観形成に努めます。				
	2018予算(千円)					
	10,004					
	区分(対前年度)	成果指標	単位	2020年度	目標値	3
	継続	修景物件の件数	件	2017年度	目標値	2
				実績値	-	

経営的施策

1

効率的・効果的な行財政運営

基本的な方向

多様化する市民ニーズや社会状況の変化に対応しながら、行政事務の効率化や健全な財政運営、都市間連携等により、将来にわたって持続可能な行財政運営を推進するとともに、市民サービスの向上を図ります。

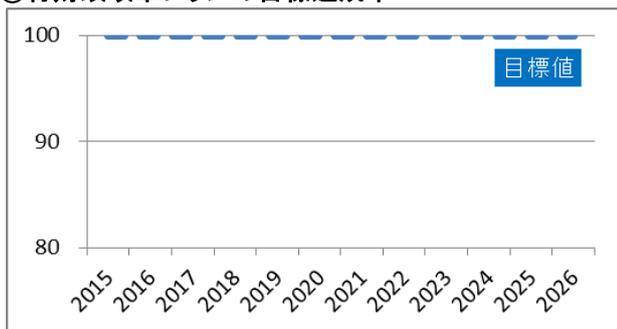
めざすべき姿

ICTや民間企業のノウハウが有効活用され、財政状況の見える化が進んでいるなど、透明性の高い、効率的・効果的な行財政運営が行われることで、市民のニーズに応えることができる質の高い行政サービスが持続的に提供されています。

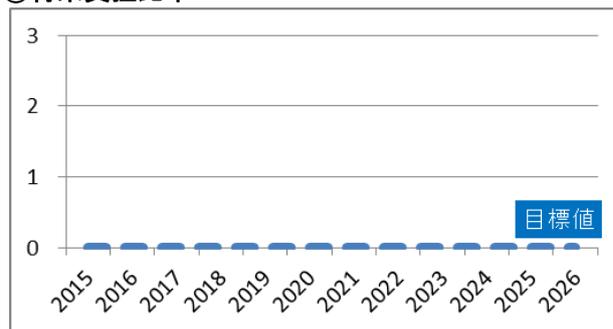
施策に関する指標

指標名	単位	現状値	目標値
① 行財政改革プランの目標達成率	%	-	100 (2026年度)
② 将来負担比率	%	—(※) (2016年度)	—(※) (2026年度)
③ 新たな都市間連携の取組数(10年間合計)	件	-	10 (2026年度)

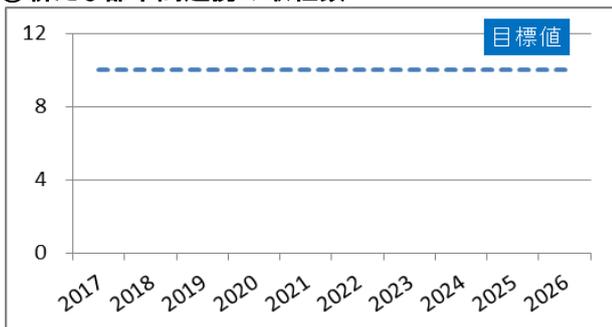
①行財政改革プランの目標達成率



②将来負担比率



③新たな都市間連携の取組数



※現状値・目標値の「—」は、将来負担比率が算定されず、現時点において今後支払うべき負担等が将来の財政を圧迫する可能性が低いことを示す

目標実現のための主な施策・事業

事業名	担当課	計画期間における事業の方向性				
1 とんだばやしふるさと寄附金事務	都市魅力創生課	返礼品の拡充を行い、寄附金の増加につなげます。また、地域の特産品である返礼品を、より効果的にPRするための方策について検討を進めます。				
	2018予算(千円)					
	79,619					
	区分(対前年度)	成果指標	単位	2020年度	目標値	62,000
	拡充	ふるさと寄附金額の増加	千円	2017年度	目標値	40,000
				実績値	-	
事業名	担当課	計画期間における事業の方向性				
2 財政管理事務	財政課	今後更新時期を迎える老朽化した公共施設やインフラにかかる将来費用を踏まえ、様々な財源の確保と、税等の一般財源の適切な配分を行います。また、地方公会計による財務書類及びその基礎データとなる固定資産台帳について、毎年度決算を基に作成及び更新作業を行うとともに、作成した財務書類等のより効果的な活用を進めます。				
	2018予算(千円)					
	10,112					
	区分(対前年度)	成果指標	単位	2020年度	目標値	-
	継続	財源を超えない予算査定(実績のみ把握)	千円	2017年度	目標値	-
				実績値	39,800,000	
事業名	担当課	計画期間における事業の方向性				
3 総合調整事務	政策推進課	効率的・効果的な執行体制の整備に向け、機構・定数・事務分掌の適正化に努めます。また、広域連携については、南河内6市町村による共同処理を引き続き進めるとともに、既存事務の広域化や新たな取組における都市間連携を図るなど、スケールメリットを活かした体制の整備に努めます。				
	2018予算(千円)					
	218					
	区分(対前年度)	成果指標	単位	2020年度	目標値	1
	継続	新たな都市間連携数(各年度)	事業	2017年度	目標値	1
				実績値	-	
事業名	担当課	計画期間における事業の方向性				
4 行政管理事務	行政管理課	公の施設の管理運営を効果的に行うため、指定管理者制度を継続しながら、第三者による業務評価を引き続き実施し、さらなる業務改善や市民サービスの向上につなげます。また、事務事業評価を全予算事業において実施することで、効果的・効率的に事業を推進するとともに、持続可能で健全な行財政運営を堅持するため、次期行財政改革プラン策定の検討を進めます。				
	2018予算(千円)					
	412					
	区分(対前年度)	成果指標	単位	2020年度	目標値	0
	継続	将来負担比率	%	2017年度	目標値	0
				実績値	-	
事業名	担当課	計画期間における事業の方向性				
5 電子市役所基盤整備事業	政策推進課	情報セキュリティのさらなる向上に向け、専門的な知見を活用した職員研修や各業務システムの情報セキュリティ監査を実施します。また、老朽化したコンピュータやネットワークの計画的な入替を進めるとともに、効果的なIT調達を行うためのガイドラインの策定に取り組みます。				
	2018予算(千円)					
	57,316					
	区分(対前年度)	成果指標	単位	2020年度	目標値	0
	拡充	内部事務処理を行う情報システムのシステムダウン回数	回	2017年度	目標値	0
				実績値	-	

目標実現のための主な施策・事業

事業名	担当課	計画期間における事業の方向性				
6 市民税課税事務	課税課	個人住民税に係る給与支払い報告書や確定申告書、市府民税申告書の収集・確認を行い、引き続き適正な課税を推進します。また、2018年度から、大阪府及び府内全市町村と連携し、特別徴収が未実施の事業者に対し、普通徴収からの切り替え勧奨に取り組みます。				
	2018予算(千円)					
	27,640					
	区分(対前年度)	成果指標	単位	2020年度	目標値	5,847,660
	拡充	市民税(個人分)課税額	千円	2017年度	目標値	5,984,520
				実績値	-	
7 市税徴収事務	納税課	市民負担の公平性を確保するため、未納者への速やかな督促・催告を行うことで、新たな滞納の発生を抑制するとともに、過年度分の滞納についても、個々の事情に即した適切な対応を行い、滞納の縮減を図ります。また、ペイジー口座受付サービスやモバイルレジの継続周知に努め、納税者の利便性向上による自主納付の促進につなげます。				
	2018予算(千円)					
	81,101					
	区分(対前年度)	成果指標	単位	2020年度	目標値	96.5
	継続	市税徴収率	%	2017年度	目標値	96.4
				実績値	-	
8 債権管理事務	債権管理課	市民負担の公平性を確保するため、高度の専門知識・経験を有する職員を活用した適正な債権管理を推進するとともに、研修等を通じた債権所管課における回収ノウハウの構築に努めます。				
	2018予算(千円)					
	1,434					
	区分(対前年度)	成果指標	単位	2020年度	目標値	1,160
	継続	一般会計及び国民健康保険事業、介護保険事業、後期高齢者医療保険事業の未収額	百万円	2017年度	目標値	1,285
				実績値	-	
9 広域福祉事業	地域福祉課(広域福祉課)	南河内6市町村による円滑な福祉分野のスケールメリットを活かした共同処理を推進し、早期の身体障害者手帳の交付等、市民サービスの向上に努めます。				
	2018予算(千円)					
	107,089					
	区分(対前年度)	成果指標	単位	2020年度	目標値	-
	継続	-	-	2017年度	目標値	-
				実績値	-	
10 広域まちづくり事業	地域福祉課(広域まちづくり課)	南河内6市町村による円滑なまちづくり分野のスケールメリットを活かした共同処理を推進し、許可等行政処分の迅速化など、市民サービスの向上に努めます。				
	2018予算(千円)					
	64,760					
	区分(対前年度)	成果指標	単位	2020年度	目標値	-
	継続	-	-	2017年度	目標値	-
				実績値	-	

経営的施策

2

計画的な財産管理

基本的な方向

持続可能な行財政運営のため、公共建築物について、将来見通しに基づく総量の最適化を図るとともに、予防的な保全による長寿命化、民間活力の活用等によるライフサイクルコストの縮減に計画的に取り組めます。

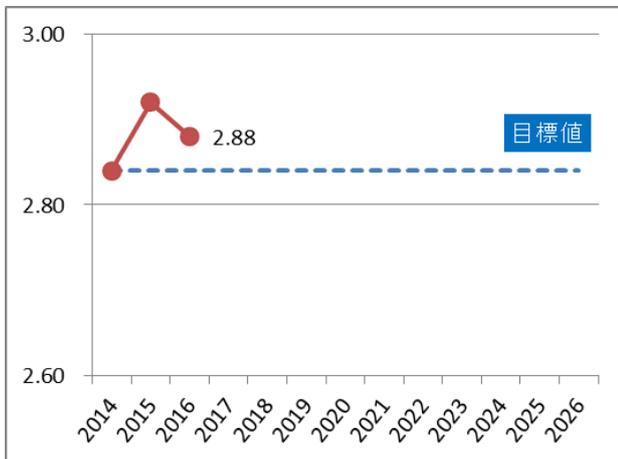
めざすべき姿

市内の公共施設の耐震化や長寿命化がはかれることで、市民の誰もが安心して快適に利用できる施設になっています。また、公共施設の計画的な管理により、良好な施設サービスが提供されています。

施策に関する指標

指標名	単位	現状値	目標値
① 市民一人あたりの公共建築物延べ床面積	m ² /人	2.88 (2016年度)	2.84 (2026年度)

①市民一人あたりの公共建築物延べ床面積



目標実現のための主な施策・事業

事業名		担当課	計画期間における事業の方向性				
1	市有財産管理事務	行政管理課	公共施設等総合管理計画及び公共施設再配置計画に基づく個別施設計画を策定し、「総量の最適化」「長寿命化」「ライフサイクルコストの縮減」等の公共施設マネジメントを推進します。				
		2018予算(千円)					
		5,120					
		区分(対前年度)	成果指標	単位	2020年度	目標値	2.84
		継続	市民一人当たりの公共建築物延べ床面積	m ² /人	2017年度	目標値	2.84
				実績値	-		
事業名		担当課	計画期間における事業の方向性				
2	庁舎整備事業	総務課	利用者の安全や庁舎保全上、必要性の高いものから順に庁舎の整備等に取り組みます。また、庁舎耐震調査結果による課題を踏まえながら、日々の行政機能はもとより、災害時に防災拠点として機能できるよう、財政面も視野に入れた、あらゆる改善策の検討を進めます。				
		2018予算(千円)					
		31,000					
		区分(対前年度)	成果指標	単位	2020年度	目標値	-
		拡充	-	-	2017年度	目標値	-
				実績値	-		

経営的施策

3

明日を担う職員の育成

基本的な方向

多様化する行政課題や市民ニーズに対応し、市民に親しまれ、信頼される市役所をめざし、職員における市民等との協働意識や、資質、能力の向上に向けた職員の人材育成に取り組みます。

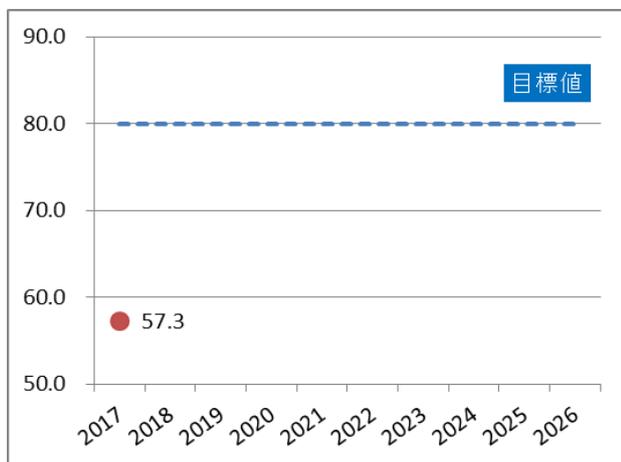
めざすべき姿

市職員が各職場でそれぞれの資質や能力を十分発揮しており、市民や団体、事業所等との協働によるまちづくりを進め、市民と行政の信頼関係が構築されたまちとなっています。

施策に関する指標

指標名	単位	現状値	目標値
① 市役所への市民満足度	%	57.3 (2017年度)	80以上 (2026年度)

①市役所への市民満足度



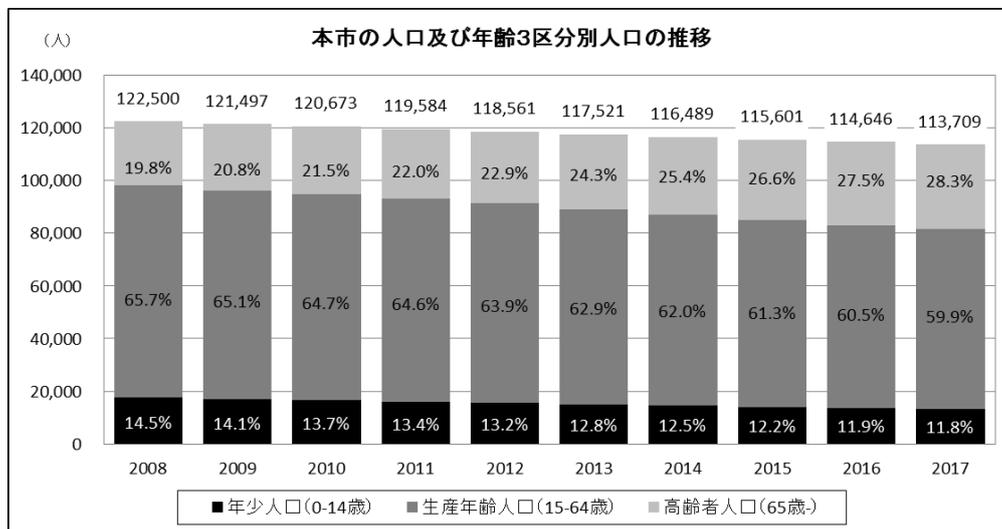
目標実現のための主な施策・事業

事業名		担当課	計画期間における事業の方向性				
1	人事管理事務	人事課	複雑化・多様化する行政課題や市民ニーズに対応できるよう、各種研修を通じ職員の資質・能力の向上と市民との協働意識の醸成に取り組みます。また、女性の活躍を推進するとともに、メンタルヘルスケアの充実やマッセOSAKA等の研修への参加、自主研究グループの発足などにより、自主的に能力向上や自己研鑽を図り、職員自らがレベルアップできる環境整備に努めます。さらに、人事評価制度については、公平公正を担保しながら、客観性・透明性を高め、人材育成に繋げるよう適正な運用を図ります。				
		2018予算(千円)					
		17,147					
		区分(対前年度)	成果指標	単位	2020年度	目標値	95
		継続	職員の研修習得度	%	2017年度	目標値	90
				実績値	92		

本市の現況

1. 人口の状況

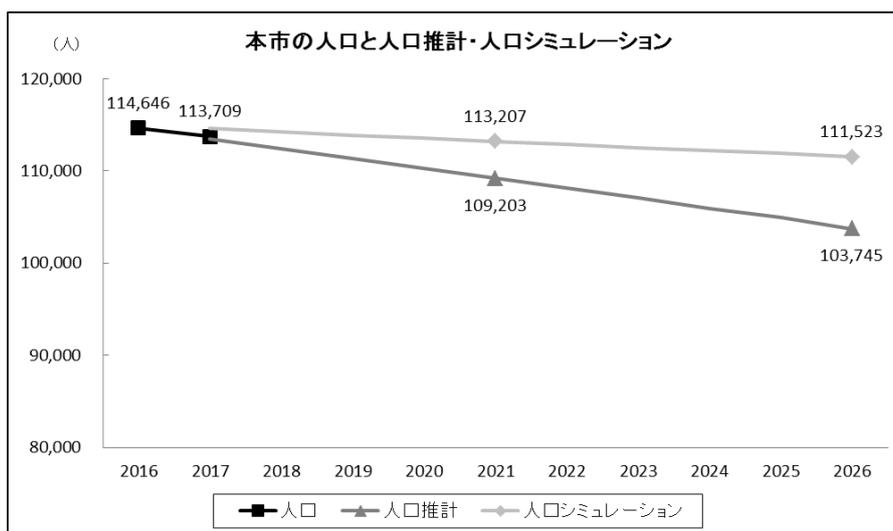
(1) 人口の推移



単位：人、各年4月1日現在

	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017
人口	122,500	121,497	120,673	119,584	118,561	117,521	116,489	115,601	114,646	113,709
年少人口(0-14歳)	17,740	17,102	16,564	16,051	15,628	15,090	14,589	14,088	13,695	13,363
生産年齢人口(15-64歳)	80,491	79,122	78,127	77,197	75,736	73,927	72,260	70,813	69,381	68,150
高齢者人口(65歳-)	24,269	25,273	25,982	26,336	27,197	28,504	29,640	30,700	31,570	32,196

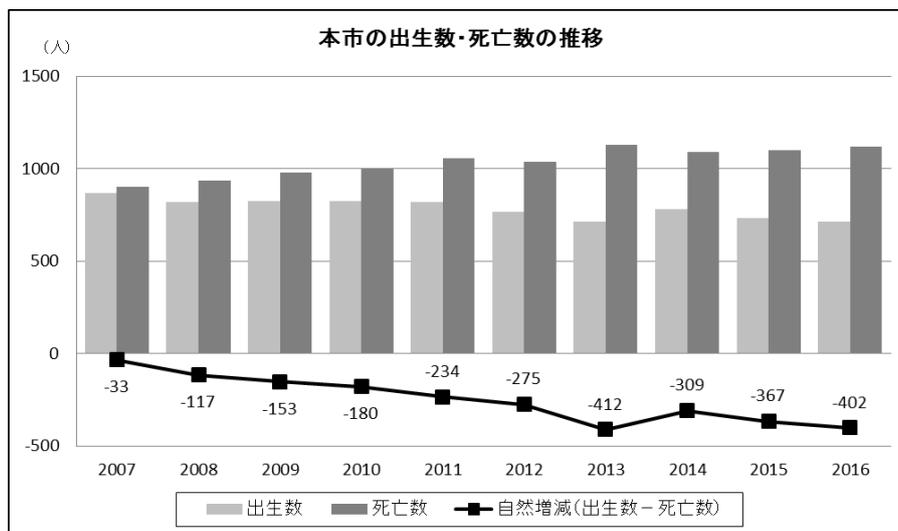
(2) 人口の推移と人口推計・人口シミュレーション



単位：人、各年4月1日現在

	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026
人口	114,646	113,709	-	-	-	-	-	-	-	-	-
人口推計	-	113,481	112,404	111,319	110,266	109,203	108,125	107,045	105,967	104,916	103,745
人口シミュレーション	-	114,628	114,205	113,846	113,564	113,207	112,859	112,510	112,194	111,905	111,523

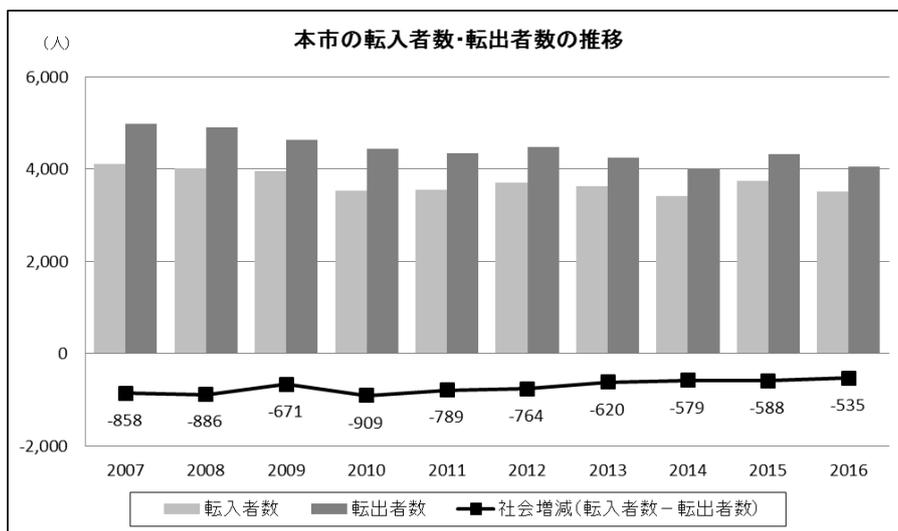
(3) 自然動態



単位：人、各年度

	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016
出生数	868	821	825	826	821	765	716	780	734	716
死亡数	901	938	978	1,006	1,055	1,040	1,128	1,089	1,101	1,118
自然増減(出生数-死亡数)	-33	-117	-153	-180	-234	-275	-412	-309	-367	-402

(4) 社会動態

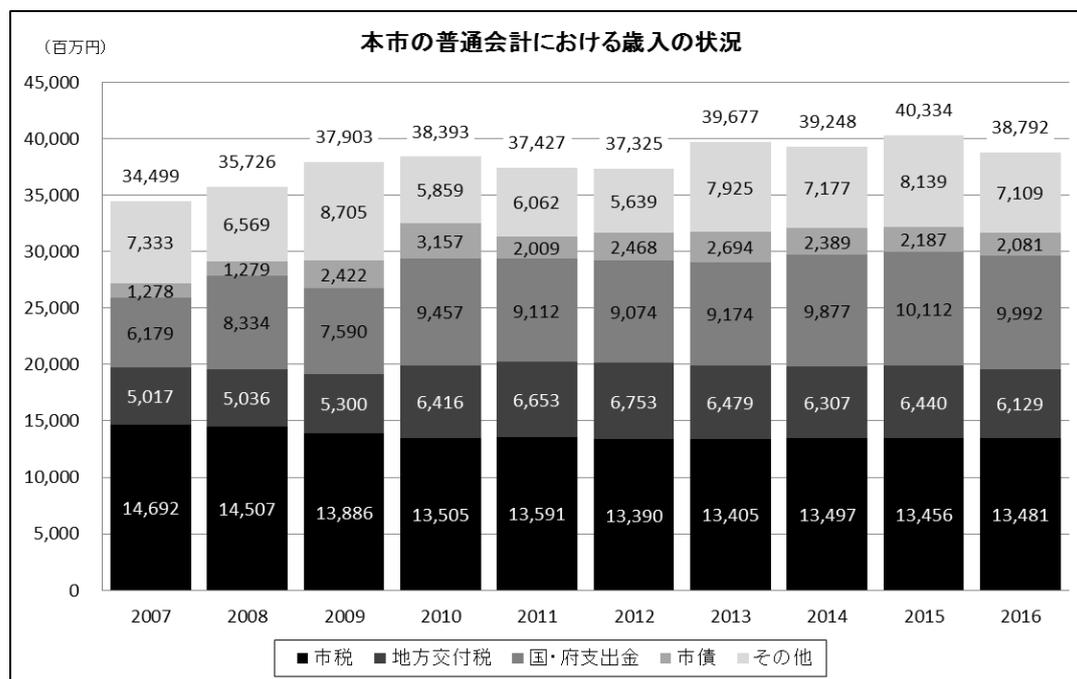


単位：人、各年度

	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016
転入者数	4,119	4,023	3,963	3,526	3,550	3,713	3,622	3,418	3,746	3,516
転出者数	4,977	4,909	4,634	4,435	4,339	4,477	4,242	3,997	4,334	4,051
社会増減(転入数-転出数)	-858	-886	-671	-909	-789	-764	-620	-579	-588	-535

2. 財政の状況

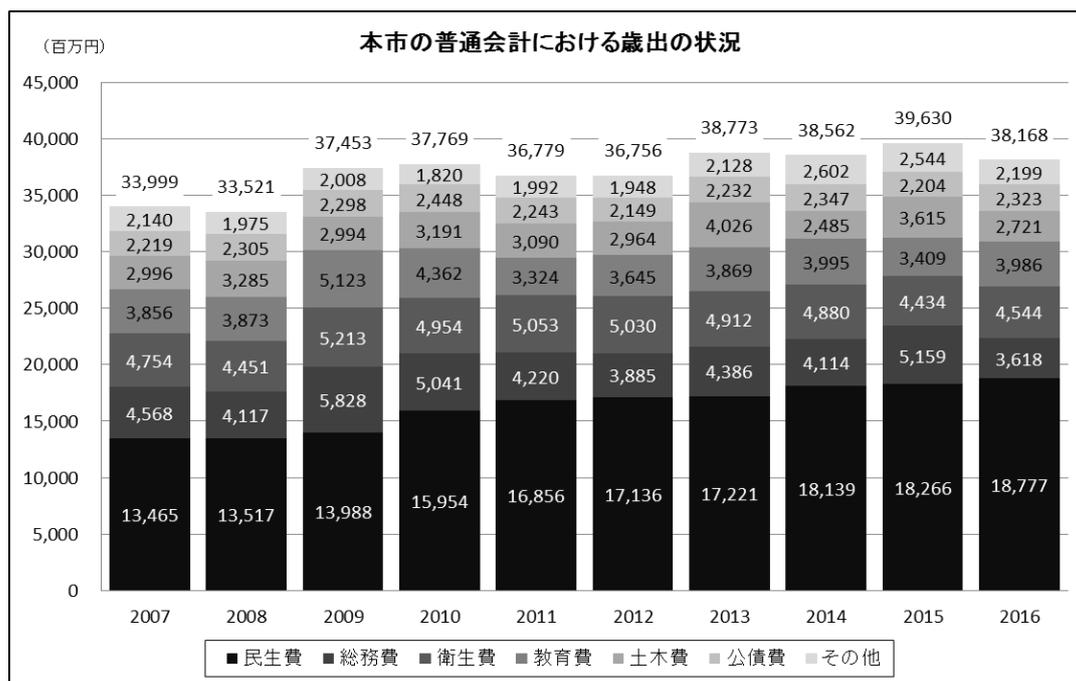
(1) 普通会計の歳入



単位：百万円、各年度

	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016
市税	14,692	14,507	13,886	13,505	13,591	13,390	13,405	13,497	13,456	13,481
地方交付税	5,017	5,036	5,300	6,416	6,653	6,753	6,479	6,307	6,440	6,129
国・府支出金	6,179	8,334	7,590	9,457	9,112	9,074	9,174	9,877	10,112	9,992
市債	1,278	1,279	2,422	3,157	2,009	2,468	2,694	2,389	2,187	2,081
その他	7,333	6,569	8,705	5,859	6,062	5,639	7,925	7,177	8,139	7,109
歳入合計	34,499	35,726	37,903	38,393	37,427	37,325	39,677	39,248	40,334	38,792

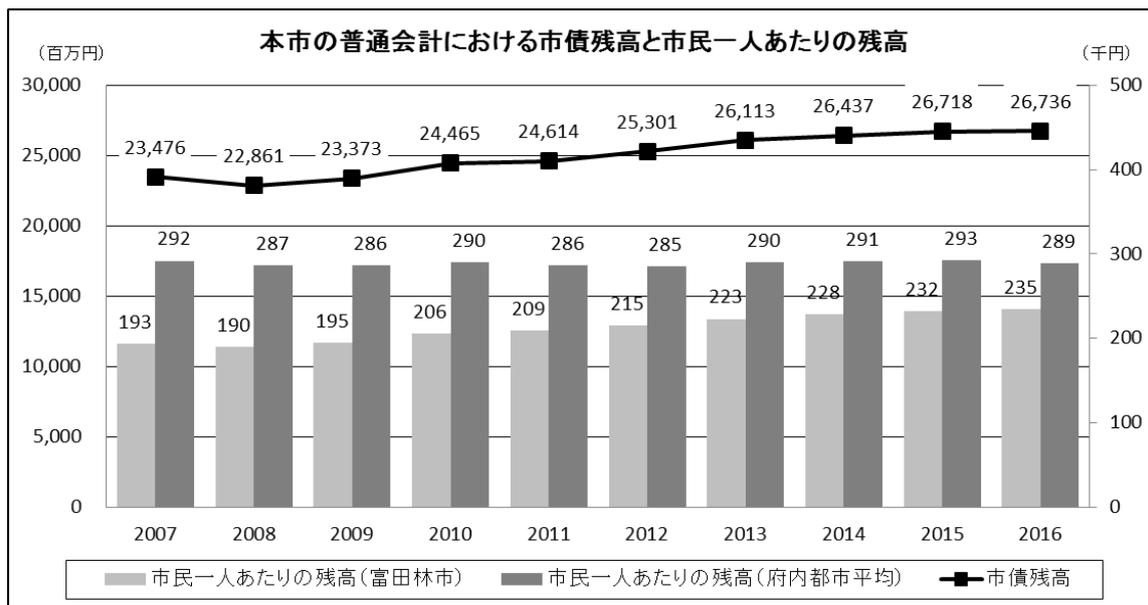
(2) 普通会計の歳出



単位：百万円、各年度

	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016
民生費	13,465	13,517	13,988	15,954	16,856	17,136	17,221	18,139	18,266	18,777
総務費	4,568	4,117	5,828	5,041	4,220	3,885	4,386	4,114	5,159	3,618
衛生費	4,754	4,451	5,213	4,954	5,053	5,030	4,912	4,880	4,434	4,544
教育費	3,856	3,873	5,123	4,362	3,324	3,645	3,869	3,995	3,409	3,986
土木費	2,996	3,285	2,994	3,191	3,090	2,964	4,026	2,485	3,615	2,721
公債費	2,219	2,305	2,298	2,448	2,243	2,149	2,232	2,347	2,204	2,323
その他	2,140	1,975	2,008	1,820	1,992	1,948	2,128	2,602	2,544	2,199
歳出合計	33,999	33,521	37,453	37,769	36,779	36,756	38,773	38,562	39,630	38,168

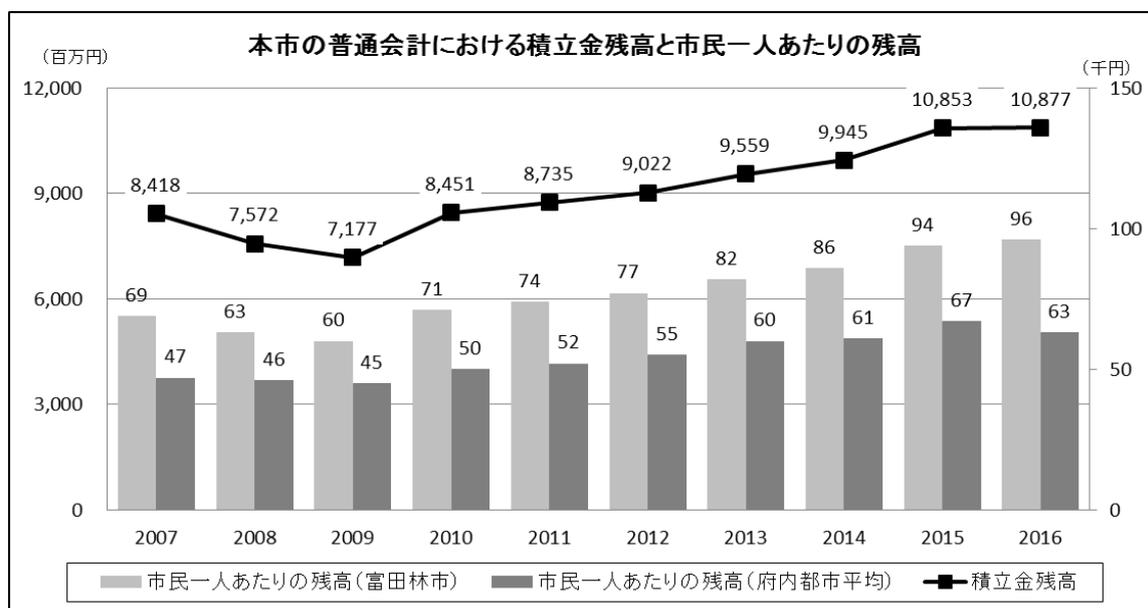
(3) 普通会計における市債残高



単位：百万円、各年度

	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016
市債残高	23,476	22,861	23,373	24,465	24,614	25,301	26,113	26,437	26,718	26,736

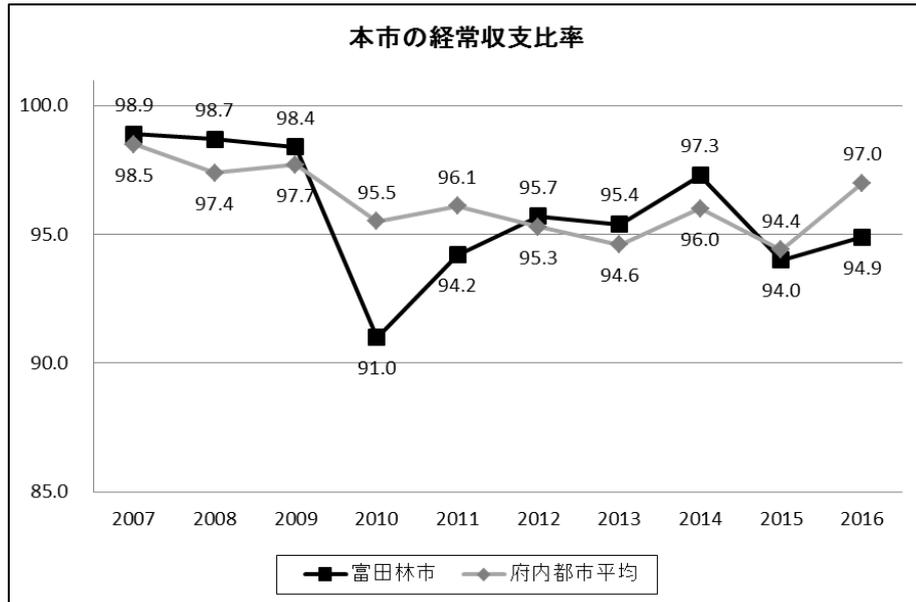
(4) 普通会計における積立金残高



単位：百万円、各年度

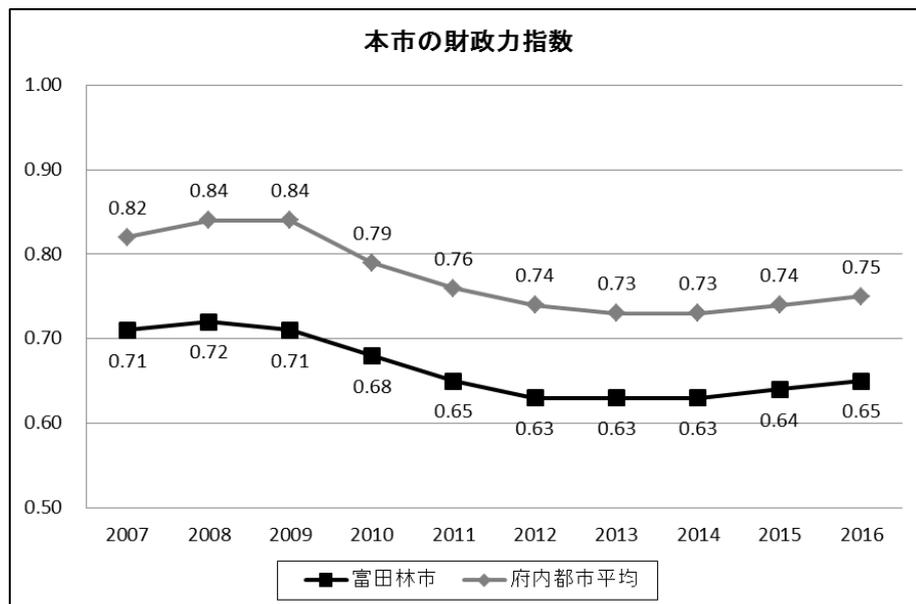
	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016
積立金残高	8,418	7,572	7,177	8,451	8,735	9,022	9,559	9,945	10,853	10,877

(5) 財政指標



各年度

	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016
富田林市	98.9	98.7	98.4	91.0	94.2	95.7	95.4	97.3	94.0	94.9
府内都市平均	98.5	97.4	97.7	95.5	96.1	95.3	94.6	96.0	94.4	97.0



各年度

	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016
富田林市	0.71	0.72	0.71	0.68	0.65	0.63	0.63	0.63	0.64	0.65
府内都市平均	0.82	0.84	0.84	0.79	0.76	0.74	0.73	0.73	0.74	0.75

※府内都市平均：府内の市町村のうち政令市（大阪市、堺市）および町村を除いた平均値